

第七十三回 支那事變特別稅法案特別委員會議事速記錄第四號

貴族院

昭和十三年三月二十四日(木曜日)午前十時十一分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ開會致シマス、昨日ニ引續キマシテ内容ニ付テノ御質問ノ御繼續ヲ願ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 昨日大河内子爵ノ、各國ノ燐寸稅ノ沿革ト云フコトデアリマスカラ、簡単ニ申上ゲマス、「イギリス」ガ之ヲ設ケマシタノハ大戰中デアリシテ一千九百十六年デゴザイマス、一千九百六年中ニ設ケタモノデゴザイマス、「アメリカ」ハ一千九百三十二年世界不況ノ眞中ニ設ケラレタモノデアリマシテ、製造者ニ對スル消費稅ノ一種トシテ課稅シテ居リマス、ソレカラ「フランス」ハ一千八百七十二年ニ此ノ稅ヲ設ケマシテ其ノ翌年ノ千八百七十二年ニ全廢トナシテ居リマス、現在モ其ノ通リデアリマス、「ドイツ」ハ千九百九年ニ此ノ燐寸稅ヲ設ケマシタ、「イタリー」ハ千八百九十五年ニ稅ヲ設ケマシテ千九百十六年ニ全廢ニナツタノデゴザイマス、以上御報告申上ゲマス

○男爵松平外與麿君 此ノ本邦内ニ於テ募

集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案ヲ見ルト「本邦内ニ於テ募集シタル命令ノ定ム

ル外國債ハ云々」トアリマスガ、此ノ命令ノ定ムルト云フノハドウ云フ國ノ國債ヲ定メラレル方針デアリマスカ、命令ニ御決メニナル範圍ヲ伺ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) ズニ命令ヲ以テ定メタイト思ヒマスルノハ、政府ニ對シテ現在國債ヲ提供致シマス場合ニハ、額面デ以テ國債ヲ提供スルコトニナツテ居リマス、從テ此ノ外國ガ本邦内ニ於テ募集致シマ

シタ外國債ニ付キマシテモ、國債ト同待遇ヲ與ヘルト云フコトニナレバ、其ノ外國債ハ額面デ取ッテヤラケレバナラナイノデゴザイマス、而シテ此ノ内地ニ於キマシテ當リ滿洲國ダケト云フコトニナルノデアリハ御承知ノ通リ、政府ニ對スル保證金其ノ

他ノ擔保ニ提供シタ國債ハ、額面デ買入レ償却ヲ爲ス途ガ開イテアルノデアリマスガ、リデアリマス、「ドイツ」ハ千九百九年ニ此ノ燐寸稅ヲ設ケマシタ、「イタリー」ハ千八百九十五年ニ稅ヲ設ケマシテ千九百十六年下ツテ居リマシテ、其ノ募集ヲ致シマシタ國

擔保權ヲ實行スルト云フ場合ニ、其ノ値ガ云フヤウナ規定ガナイト云フト、額面デ取ッタ外國債ニ付キマシテハ、サウ云フ旨ノ法律ヲ出スコトニナツテ居リマスノデ、サウ云フ命令ヲ置キマスレバ、該當スル國ハ差當リ滿洲國ダケト云フコトニナルノデアリハ御承知ノ通リ、政府ニ對スル保證金其ノ

マス

○男爵松平外與麿君 了承致シマシタ、ソレデハ更ニ、假ニ滿洲國以外ニ於テモ所謂外國政府ノ國債ヲ額面デ擔保ニ取リマシタ場合ニ於テ、愈、日本ノ政府ガ必要ニ應ジテノ外國債ハ順次適用サレル御方針デスカ

ノ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ度ノ事變

稅ニ於キマシテ、大體消費稅ノ稅質ヲ帶ビ

テ居ルモノハ砂糖ノ外ニ、尙物品稅ニ相當

アルノデゴザイマシテ、就中酒類ノ如キハ

其ノ例デゴザイマス、砂糖ハ廣ク家庭ニ於

テ日常使用サレテ居リマスケレドモ、生

活必需品ト申スヨリハ、マア日用品デゴザ

イマスガ、大體嗜好品ニ屬スル部分ガ多イ

タ爲ニ時價ガ下ツテ居リマスト云フト、擔保權實行ノ際ニ損失ヲ生ズルト云フコトニナ

リマス、ソコデ外國ガ本邦内ニ於テ募集致シマシテモ、其ノ外國ニ於テ日本政府ガ擔保權ヲ實行スルヤウナ場合ニ於テハ、額面デ以テ其ノ外國ニ於テ買入レ償却ヲシテ、日本政府方額面デ取ッタ爲ニ損ヲサセナイ

ト云フヤウナ規定ヲ置イテ貰ヒタイ、サウシタ外國債ニ付キマシテモ、國債ト同待遇

本ノ國債ト同ジヤウナ待遇ヲ與ヘタイト云フコトヲ命令ヲ以テ書キタイト思ヒマス、

處デ滿洲國ニ於キマシテハ、サウ云フ旨ノ法律ヲ出スコトニナツテ居リマスノデ、サウ

云フ命令ヲ置キマスレバ、該當スル國ハ差

當リ滿洲國ダケト云フコトニナルノデアリ

ハ御承知ノ通リ、政府ニ對スル保證金其ノ

マス

○男爵松平外與麿君 了承致シマシタ、ソ

レデハ更ニ、假ニ滿洲國以外ニ於テモ所謂

政府ノ命令ニ定メタル規定ニ從フト云フ所

ノ外國債ハ順次適用サレル御方針デスカ

ノ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 建前トシテハソ

レニ該當サヘ致シマスレバ、適用ニナルト

云フコトニナルノデゴザイマスガ、差當リ

ト致シマシテハ、チヨット想像出來ナイヤウ

ナ狀況ニゴザイマス

○男爵松平外與麿君 此ノ特別稅法案ニ付テ御尋ネ致シマスガ、此ノ間モ大河内サンヨリ色々御話モアリマシタデスガ、消費稅ハ所謂消費者ニ轉嫁スルノデ、增稅ヲスルト、非常ニ物價其ノ他家庭經濟上ニ困ルト云フ

御心配カラ、努メテ國民生活ノ必需品ハ之ニ觸レナカツタト云フ政府ノ御說明ダツタ思フ、此ノ砂糖消費稅ダケヲ特ニ御取上ニナツタ、假ニ是ダケノ稅率ヲ上ゲテモサウ物價ニ影響ナシ、又一般ノ家庭生活ニモ困難ヲ感ジナイ、又需要供給ノ關係カラ見テモ差支ナイト云フ意味ニ於テ、特ニ砂糖消費稅ヲオ上ゲニナツタノデアリマスカ、或ハアルノデゴザイマスカ、其ノ外ニ理由ガアルノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ度ノ事變

稅ニ於キマシテ、大體消費稅ノ稅質ヲ帶ビ

テ居ルモノハ砂糖ノ外ニ、尙物品稅ニ相當

アルノデゴザイマシテ、就中酒類ノ如キハ

其ノ例デゴザイマス、砂糖ハ廣ク家庭ニ於

テ日常使用サレテ居リマスケレドモ、生

活必需品ト申スヨリハ、マア日用品デゴザ

イマスガ、大體嗜好品ニ屬スル部分ガ多イ

ノデハナカラウカト存ズル次第ゴザイマシテ、從ツテ從來ニ於キマシテモ、砂糖消費稅ニ於キマシテハ相當ノ稅率ニ於テ課稅サレテ居ルノデアリマス、事變下ノ增稅ヲ致シマスル場合ニ於キマシテ、酒稅其ノ他トノ權衡上、此ノ程度ノ增徵ヲ致スモ敢テ差支ハナイデハナカラウカ、又其ノ結果ト致シマシテ砂糖消費ガ著シク減退スルト云フコトモナカラウ、斯ウ考ヘル次第ゴザイマス。

○男爵松平外與麿君 只今ノ御答辯デ分リマシタガ、砂糖ハ嗜好品デアルト云フ御斷定ハ如何カト思ツテ、是ハ議論ニナリマスガ、砂糖ハ必ズシモ嗜好品トハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、更ニ他ノ方面デ伺ヒマス、此ノ二十六條ノ入場稅ノ關係ノ第二種ノ一二ノ點デアリマスガ、是ハ命令要綱ノ一ニ、第二種ノ場所ノ入場料ハ舞踏料、競技料、會費共ノ他名義ノ何タルヲ問ハズ設備利用ノ爲ニ支拂フ金額ニ依ルコト、斯ウ云フコトガアリマスガ、サウスルト例ヘバ其ノ場所ニ食堂モ經營サレ、或ハ此ノ頃ノ運動ノ「ゴルフ」ニ於キマシテハ、「グリーン」入場料ノ外ニ「キヤディ」ニ對スル金モアリマスシ、サウ云フコトモ食堂ノ費用トカ、サウ云フモノ全部引括メテ、ソレノ一割ヲ取ルト云

フ御考デアリマスカ、單純ニ入場料ト云フコトダケニ限定サレルノデスカ、如何ゴザイマスルカ、ドウモ此ノ御説明ヲ見ルト設備ノ利用ノ爲ニ支拂フト云フコトハ、大部廣汎ニ瓦ルヤウニ感ジガ致シマスガ、其ノ點ヲ一ツ……

○政府委員(大矢半次郎君) ソレハ直接其ノ設備ヲ利用スルガ爲ニ支拂フ料金ゴザイマシテ、今御話ノゴザイマシタ食堂ニ行ッテ食事ヲスルト云フヤウナモノハ、計算ニ入レナイ積リゴザイマス

○男爵松平外與麿君 ソレカラ尙其ノ二十八條ノ是ハ、衆議院デ十九錢ヲ二十三錢ニ修正シタノデアリマスガ、此ノ入場料ノ十九錢ヲ御定メニナツタ根據ハドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ物品稅ヲハ勿論發表ニナツテ居リマセヌカラ分リマセヌケレドモ、自然ニ分ルコトデアラウト思ヒマスガ、之ニナリマスルト結局斯ウ云フコトニナリハシナイカト云フコトヲ心配スルノデス、從來製品ヲ課稅ノ最低價格、ソレニ近イヤウニ一般ノ品物ヲ釣上げテ來ル

カデモ高イモノヲ、一般的ニソレニ釣ラレ

テ消費者ガ買フヤウニナリハシナイカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ比較的物價ト云フモノガ、シマシテハ、是ヨリモ多少免稅點ヲ上ニ置イタ方ガ適當デハナイカト存ジマシテ十九錢ト致シタ次第ゴザイマス、其ノ結果ト致シマシテ、活動寫真館ノ入場者ノ如キハ大體四割程度免稅ニナル見込デゴザイマス此ノ三十八條ニ載セラレタ各物品稅ノ品目種類別デアリマスガ、之ノ課稅最低價格見込ト云フモノヲ參考ニ拜見致シタノデアリマスガ、成ル程相當是モオ上ゲニナツタモノハ高價品デアリマシテ、謂ハゞ相當資產階級ノ者ガ消費スルカラ一般ノ大衆ト云フ者ニハ心配ハナイト云フ御議論ハ、一應御尤ダト思ヒマスケレドモ、此ノ課稅最低價格

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ入場料ヲ支拂フベキ者ニ對シマシテ、總ニニ課稅スルト云フコトニ致シマスルト云フト、比較的料金ノ低イ所デ入場シマス所ノ一般大衆ノ負擔ヲ重クスルト云フ點ガゴザイマシテ、其ノ點ヲ考慮致シテ大體二十錢内外ヲ免稅點ニシタラ妥當デハナカラウカト斯ウ存ジタ次第ゴザイマス、現在地方稅ト致シマスルガ、是等ニ於キマシテモ、多クノ地

自然其ノ趨勢カラ見レバ、今迄ヨリハ幾ラ

價格ノ大勢ヲ動カシテ行クト云フ力ハナカラウトスウ思ツテ居ル次第アリマス

○男爵松平外與麿君 私ハドウモ只今ノ反對ニ考ヘルノデアリマスガ、免稅點以上ノ物ハ固ヨリソレニ連レラレテ下ル傾向ガアリハシナイカト言ヒマスガ、大體其ノ品目ヲ拜見シマスト、是位ノ物ヲ買フ方々へ下ラウガ、又上ラウガ餘り苦ニナサラヌト思フ、實際上ソレデスカラ、上ノ物ガ下ルヨリモ下ノ物ガ幾ラカ釣上ルト云フ心配ノ方ガ多イノデナイカト考ヘマス、是へ意見ノ相違ニナリマスガ、一應意見ヲ述べマシテ質問ヲ打切りマス

○橋本辰二郎君 委員長
○委員長(子爵前田利定君) 今ノニ關聯シテ居リマス、御通告ガゴザイマスカラ……

○橋本辰二郎君 ソレデハ私モ通告致シマス

○委員長(子爵前田利定君) 河田君ノ次ハ大和田君デアリマス
○河田烈君 若シ政務次官ガ御見エニナリマセヌデモ、或ハ私ノ質問ガ、多少政務次官ノ方デ宜シイナラバ、後デドウカ御答辯ヲ願ヒマス、三四點ゴザイマスガ……
○委員長(子爵前田利定君) 政務次官ハ直ゲ來ラレマス

○河田烈君 初メノ分ハ主稅局長デ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵前田利定君) 兎ニ角御質問ナスツテ……

○河田烈君 初メノ第一ノ質問ハ、戴キマシタ所得稅法改正案ニ伴フ來年ノ財源デアリマスガ、收入ヲ掲グラレタ區分表ヲ戴キマシタガ、二三、法人資本稅、砂糖消費稅、共ニ同ジ割合ニ當リマスガ、問題ヲ簡單ニスル爲ニ所得稅ニ付テ伺ヒマスガ、所得稅ノ中即チ支那事變特別稅法創設、臨時利得稅法改正ニ依ル所得稅ノ增額ガアリマス、

是ハ一億一千二百萬圓ガ所得稅ノ分トシテ御見込ニナツテ居リマスガ、此ノ豫算ニ對シマシテ自然増減ノアッタ場合ニ、此ノ自然増減ハ支那事變特別稅法創設及臨時利得稅法改正ニ依ル増減ニ伴フ自然增收ト、他ノ所得稅ノ自然増減トハ區分ガ出來ルノデアリ

マセウカ、出來レバ、出來ルト致シマシテ又伺ヒマスガ、多分私ハ出來ナイノデナイカトスウ思ヒマス、處方此ノ増減ノ中デ、

臨時部ニ計上セラレタル所ノ臨時利得稅以下數稅ハ是ハ全ク新ラシイ稅ナルガ故ニ、

此ノ方ハ自然増減ガ是ダケ獨立シテ掲載シ

テアル、此ノ經常收入ニ計上セラレタル所ノ所得稅ト、臨時部ニ計上セラレタル所ノ

新シイ新規ノ稅トノ自然増減ガ各、生ジタ場合ニ、是等ハ皆一般會計ニ一遍入ツテ、ソレ

カラ後三億六百萬圓ト云フモノガ、臨時軍事費特別會計ノ繰入ニナツテ居ツテ、コチラニ繰入レラレテ始メテ、特別會計ノ收入ニ

ナルヤウニナツテ居リマスガ、簡單ニ申上ゲマスト事件稅、事件稅ト申シマスガ、事件稅マシタガ、ソレハ割合ニ依リマシテ繰入額

ノ事件ニ伴フ稅制改正ニ伴フ自然增減ガ、一部ハ自然增減ガ明瞭ニナリ、一部ハ基本稅法ノ適用ニ依ツテ一緒ニ籠タ場合ニ、例へバ今申上ゲタ所得稅ノ經營部ノ所得ノ方ニ計上セラレタル所ノ自然增減ハ、其ノ儘

一般財源ノ中ニ繰入レラレテシマヒ、臨時部ノ方ニ計上セラレタ方ノ分ハソレニ伴ツテ繰入額ノ増減ヲ生ズル、斯ウ云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、一面逆ノ方カ

ラ申スト、今度ノ稅法改正ニ伴フ自然増減ハ、一部分ハ計算シテ明瞭ニナル分ハ、臨

時軍事費特別會計ノ繰入額ノ一般會計カラノ歲出ヲ増減セラレルガ、一部分ハソレノ

増減ガ出來ナイ爲ニ一般財源ニ繰入レラレ

テシマフ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○河田烈君 成ル程サウ云フヤリ方ハ分リマシタ、サウスルト稅法ノ上カラ見ルト、

是ハ支那事變費其ノ他ノ事件ニ要スル經費ノ財源デアルト云フ説明ノ、其ノ名目ノ説明ヲ固ク取ツテ見ラレテ居ル上カラ見ルト、

其ノ點ハ事件稅ト思ツテ居タモノノ一部ノ増減ガ、一般ノ増減ニ歸スルト云フ心配ナ

イヤウニ、只今ノヤウナ御説明ノ方法ヲ取ラレタ思フノデアリマス、其ノ點ハ稅法ノ御説明ニ對スル上カラ見ルト、事件費ノ財

源トシテ稅法ヲ増減スル、增徵スルノデア

ルト云フ大旆ノ下ニ掲グラレタ趣旨カラ云フト、誠ニ御尤ト思ヒマスガ、基本稅ナル

モノニ對シテ不明ナモノハ按分スルト云フ
ノハ、理論カラ云フト如何カト思ヒマス、
ソレハ意見ニ瓦リマスカラ、ソレハ能ク分
リマシタ、ヤリ方ハ分リマシタ、其ノ點ハ
ソレデ宜シウゴザイマス、今度ハ相續稅法
ノ御改正ガアリマシテ、第何條デゴザイマ
シタカ、五千圓ヲ超過スル所ノ保険金ハ、
相續財產ノ價額ニ算定スルト云フ御原案デ
アツタガ、衆議院ノ修正ニ依ッテ五千圓ニ満
タザルモノハ除外スル、斯ウ云フ風ニ修正
サレマシタ、成ル程衆議院ノ修正ハ常識的
ニ單純ニ考ヘテ見マスト、四千九百九十九
圓ノ保険金ノ人ハ除外サレルガ、五千圓ニ
ナルト、五千圓全體ガ相續財產額ニ算定セ
ラレルト云フノハ、不理デアルト云フ所
カラ出テ來タダラウト思ヒマス、常識的ニ
單純ニソレダケ考ヘマスト、寧ロ修正案ノ
方ガ理論的ノヤウニモ取レマス、是ハ多分
ハツキリシタコトハ覺エマセヌガ、政府當局
ニ於テモ衆議院デ御説明ニナッテ居タヤウ
ニ思ヒマスケレドモ、併シ相續稅法一般ノ
建前カラ云フト、相續稅ヲ課セラレル財產ハ
單リ保険金ノミナラズ、不動產ト云ヒ、有價證
券ト云ヒ、制限額ニ達セザルモノハ相續稅ヲ
課セラレナイケレドモ、ソレニ超過スル、一旦超
過スルト云フト、第一、圓、第一ノ一圓カラ全

部ニ掛ケラレルト云フ建前ニナッテ居ルヤウニ
記憶シマス、間違ツテ居タラ御訂正ヲ願ヒマ
スガ、相續稅ノ相續財產ノ算定ノヤリ方ヲ
見ルト、單リ保険金ダケガ矛盾、理論ニ反
スルヤニ取ラレルノデアリマス、併シナガ
ラソレダカラ此ノ衆議院ノ修正案ガ私惡イ
ト云フ譯デハアリマセヌ、之ヲドウシヨウ
ト云フ譯デハアリマセヌガ、政府ガ、衆議院
ノ修正ニ反對シテ貴族院ガ同様ナ意見デア
ルナラバ政府ハ、異存ハナイト云フ御話デ
アリマスガ、是ハドウ云フモノデアリマセ
ウカ、相續稅法、他ノ相續財產價額ノ算定
カラ云ヒマスト、今度ノ衆議院ノ修正ハソ
ニ喰違ヒガアルノデアリマス、其ノ理論
ハ何レニ致シマシテモ、又他ノ見地カラ之
ヲ見マシテ、一體今度問題ニ、修正ニナッテ
問題ニナッテ居ル所ノ保険金ノミナラズ相
續財產ノ價格算定ノ相續稅法ノ今ノ、從來
ノヤリ方、現行法ノヤリ方、不動產デモ有
價證券デモ、或制限額ニ達スル迄ハ稅ヲ課
セナシ、ソレヲ超過スル全部ヲ課スルト
云フ此ノ建前ハ他ノ稅法、具體的ニ云フト
リマスマイカ、所得稅法ニ於テハ、第三種
雲々此ノ建前ハ他ノ稅法、具體的ニ云フト
五千圓ヲ超過スル相續財產ハ相續稅ヲ課セ
ラレルケレドモ、稅率ハ減ラシテ居ル、丁度
五千圓ヲ超過スル相續稅率ハ減ラシテ居ル、
第三種ノ所得稅ガ、千二百圓以下ノ所得ニ
スルノガ、最モ合理的デアツテ、所得稅法ト
超過部分ノミヲ財產ノ價額ニ加算スルト云
フ風ニ修正シタノデゴザイマス、衆議院ニ於

非常ニ複雜ニナッテ居リマスガ、簡單ニ所得
稅法ノ基本法ノミニ付テ云フト、千二百圓
スガ、相續稅ノ相續財產ノ算定ノヤリ方ヲ
見ルト、單リ保険金ダケガ矛盾、理論ニ反
スルヤニ取ラレルノデアリマス、併シナガ
ラソレダカラ此ノ衆議院ノ修正案ガ私惡イ
ト云フ譯デハアリマセヌ、之ヲドウシヨウ
ト云フ譯デハアリマセヌガ、政府ガ、衆議院
ノ修正ニ反對シテ貴族院ガ同様ナ意見デア
ルナラバ政府ハ、異存ハナイト云フ御話デ
アリマスガ、是ハドウ云フモノデアリマセ
ウカ、相續稅法、他ノ相續財產價額ノ算定
カラ云ヒマスト、今度ノ衆議院ノ修正ハソ
ニ喰違ヒガアルノデアリマス、其ノ理論
ハ何レニ致シマシテモ、又他ノ見地カラ之
ヲ見マシテ、一體今度問題ニ、修正ニナッテ
問題ニナッテ居ル所ノ保険金ノミナラズ相
續財產ノ價格算定ノ相續稅法ノ今ノ、從來
ノヤリ方、現行法ノヤリ方、不動產デモ有
價證券デモ、或制限額ニ達スル迄ハ稅ヲ課
セナシ、ソレヲ超過スル全部ヲ課スルト
云フ此ノ建前ハ他ノ稅法、具體的ニ云フト
リマスマイカ、所得稅法ニ於テハ、第三種
雲々此ノ建前ハ他ノ稅法、具體的ニ云フト
五千圓ヲ超過スル相續財產ハ相續稅ヲ課セ
ラレルケレドモ、稅率ハ減ラシテ居ル、丁度
五千圓ヲ超過スル相續稅率ハ減ラシテ居ル、
第三種ノ所得稅ガ、千二百圓以下ノ所得ニ
スルノガ、最モ合理的デアツテ、所得稅法ト
超過部分ノミヲ財產ノ價額ニ加算スルト云
フ風ニ修正シタノデゴザイマス、衆議院ニ於

ナッテ行クト云フコトガ、一番合理的デナイ
カト考ヘラレルノデアリマス、是ハ今起ツタ
問題デヤナイト思ヒマスケレドモ、所得稅
法竝ニ相續稅法ニ手ヲ觸レザル場合ニ於テ
強ヒテ、ソレダケノ改正ト云フヤウナ機會
セラレルガ、其ノ課スル標準課率ハ、稅率
ト云フ譯デハアリマセヌ、之ヲドウシヨウ
ト云フ譯デハアリマセヌガ、政府ガ、衆議院
ノ修正ニ反對シテ貴族院ガ同様ナ意見デア
ルナラバ政府ハ、異存ハナイト云フ御話デ
アリマスガ、是ハドウ云フモノデアリマセ
ウカ、相續稅法、他ノ相續財產價額ノ算定
カラ云ヒマスト、今度ノ衆議院ノ修正ハソ
ニ喰違ヒガアルノデアリマス、其ノ理論
ハ何レニ致シマシテモ、又他ノ見地カラ之
ヲ見マシテ、一體今度問題ニ、修正ニナッテ
問題ニナッテ居ル所ノ保険金ノミナラズ相
續財產ノ價格算定ノ相續稅法ノ今ノ、從來
ノヤリ方、現行法ノヤリ方、不動產デモ有
價證券デモ、或制限額ニ達スル迄ハ稅ヲ課
セナシ、ソレヲ超過スル全部ヲ課スルト
云フ此ノ建前ハ他ノ稅法、具體的ニ云フト
リマスマイカ、所得稅法ニ於テハ、第三種
雲々此ノ建前ハ他ノ稅法、具體的ニ云フト
五千圓ヲ超過スル相續財產ハ相續稅ヲ課セ
ラレルケレドモ、稅率ハ減ラシテ居ル、丁度
五千圓ヲ超過スル相續稅率ハ減ラシテ居ル、
第三種ノ所得稅ガ、千二百圓以下ノ所得ニ
スルノガ、最モ合理的デアツテ、所得稅法ト
超過部分ノミヲ財產ノ價額ニ加算スルト云
フ風ニ修正シタノデゴザイマス、衆議院ニ於

ケル修正ノ理由ハ、此ノ度一時恩給其ノ他退職ニ依ル給與ニ對シテモ、所得稅ヲ課稅スルコトニナッテ居ルガ、此ノ場合ニ五千圓ヲ超ユルモノニ對シテ、五千圓ヲ控除シタル殘額ヲ課稅標準ニ取ッテ居ル、是ハ誠ニ道理ノアルヤリ方デ、從來ノ我ガ國ノ所得稅法、相續稅法ニナイ所ノヤリ方デアルガ、ヤリ方トシテハ合理的デアルカラシテ相續稅法ニ於テモ、保險金ヲ相續財產ニ加算スル場合ニ同ジヤウナヤリ方ヲスペキモノデハナイカト云フノデゴザイマス、政府ト致シマシテ、一時恩給其ノ他退職ニ依ル給與ハ申ス迄モナク、數十年勤務シテ、最後ニ退職スル場合ニ只一回支給ヲ受ケルモノデアツテ、而モ退職後ヘ、其ノ給與金ヲ基ニ致シマシテ老後ノ生活ヲ營ンデ行クト云モノデゴザイマスカラシテ、普通毎年々々入ッテ來ル所得トハ大ニ趣ヲ異ニシテ居ル、現在ノ第三種所得稅ノ稅率ハ、毎年々々入ッテ來ル所得ヲ目標ニ致シテ稅率ヲ盛ダテ居ル、斯クノ如キモノト同一ニ見ル譯ニハ行カナイカラシテ、ソコデ全ク別個ノ級ヲシテ稅率モ別ニシ、更ニ五千圓ヲ控除スルト云フコトモ致スノデゴザイマス、然ルニ生命保險ノ方ニ於キマシテハ、相續人ハ被相續人ノ死亡ニ依ッテ保險金ヲ受取

ルノデアリマスカラ、是ハ相續人ノ取得スル點カラ考へテ見ルト云フト、保險金デアツテモ、其ノ他ノ土地、有價證券、銀行預金等デアッテモ、何等其ノ間ニ違ヒハ無イノデゴザイマス、而シテ相續稅法ノ現行法ノ建前ト致シマシテハ、仰セノ通り五千圓ニ満タナイ場合ニハ、家督相續ニ於テハ相續稅ハ課稅シナイ、五千圓以上ノ場合ニハ、其ノ金額ニ對シテ課稅スル建前ニ取ッテ居ルノデアリマスカラシテ、生命保險金ヲ相續財產ニ加算スル以上ハ、何等其ノ他ノ財產ニ對シテ課稅スル場合ト取扱ヲ區分スペキ理由ガナイノデアル、從ツテ五千圓以上ノ場合ニハ、全額ニ付テ課稅スルト云フ建前ヲ取ルノハ本則デアルト、斯ウ申シテ居ルノデゴザイマス、衆議院ニ於キマシテハ、兎ノ角日本ノ現行法ノ第三種所得稅ノ建前、相續稅ノ建前ハ當ヲ得ナイ、第三種所得稅ニ於キマシテハ、千二百圓ハ免稅點ニナリマシテ、千一百圓ニ満タナイ場合ニハ全然ノ金額ニ對シテ超過累進率ニ依ッテ課稅スル、從ツテ免稅點以下ノモノト、免稅點チヨックリノモノトノ間ニ於テ租稅ノ負擔ヲ考へルト云フト、却テ免稅點以上ノ方ガ手取ガ少

タルノデアリマスカラ考へテ見ルト云フト、保險金デアリマス、政府ニ於テモ同ジヤウニ行ツテ居ルノデアリマシテ、第ニ付テノ御意見ハ誠ニ道理アル御意見デアル、從ツテ將來一般稅制ノ改正ヲヤラナケレバナラヌ如キ場合ニ於テハ、十分此ノ點ハ考究致シマセウ、併シ現在ト雖モ此ノ建前ヲ取ッテ居ル關係上、免稅點以上ノモノニ對スル稅率モ其ノ點ヲ考慮シテ盛ラレテ居ルシダ、從ヒマシテ將來免稅點以上ノモノニ付テ控除主義ヲ取ル場合ニハ、此ノ稅率ノ盛リ方ガ自ラ餘程變ツテ來ナケレバナラナシダ、現行法ノ儘ニシテ稅率モ其ノ儘ニシテ置イテ、生命保險金ヲ相續財產ニ加算スル場合ニ、此ノ五千圓ヲ控除スルト云フノハドウシテモ現行法ノ上ニ於テハ不釣合デアル、一時恩給其ノ他退職ニ依ル給與ニ付テ、五千圓控除スルト云フノハ前ニ申上ゲタ理由ニ依リマシテ、現行法ノ第三種所稅ノ超過累進率ニ依ッテ課稅スル場合ニ於テ免稅點以下ノモノト、免稅點チヨックリノモノトノ間ニ於テ租稅ノ負擔ヲ考へ得稅ノ超過累進稅率其ノモノヲ直チニ適用スルノハ、ドウシテモ時代ニ合ハナイカラシテヤルノデアル、生命保險ノ場合トハ全

カラ是ハ改メナケレバナラヌ、幸ニ此ノ度一時恩給其ノ他ノ退職ニ依ル給與ニ付テ、眞ニ結構ナ例ヲ開イタノデアルカラシテ、等デアッテモ、何等其ノ間ニ違ヒハ無イノデゴザイマス、ソレカラ河田サンガ、先程相續稅ノ稅率ノ盛リ方ト違ツテ居ルヤノ御話ガゴザイマス、而シテ相續稅法ノ現行法ノ建前ト致シマシテハ、仰セノ通り五千圓ニ満タナイ場合ニハ、家督相續ニ於テハ相續稅ハ課稅シナイ、五千圓以上ノ場合ニハ、其ノ金額ニ付テ百分ノ一トナッテ居リマス、ソレカラ相續稅ノ方ニ於キマシテモ、以下ノ金額ニ付テ百分ノ一トナッテ居リマス、ソレカラ相續稅ノ方ニ於キマシテモ、三千圓以下ノ金額家督相續ノ第一種ニ於テハ千分ノ六トナッテ居ルノデアリマシテ、此ノ方法ヲ取ラナイコトハ全ク同様デアリマシテ、又ソレ以上漸次金額ノ多クナルモノニ超過累進率ヲ取ッテ居ルノハ、全ク同ジヤリ方ヲシテ居ルノデゴザイマス、要スルニ衆議院ニ於キマシテ生命保險ニ付テ控除主義ヲ取ルト云フノハ、現行法ノ下ニ於テハ政府ト致シマシテハ、其ノ理由ニ乏シイカト思ヒマス、但シ從來生命保險ハ相續財產ノ中ニ加算シテ居ナカッタノヲ、此ノ度相續財產ニ加算スルコトニ致シマス其ノ理論ヲ貫徹致シマスレバ、生命保險ハ五千圓ニ満タナイ場合デモ千圓ノ場合デモ、二千圓ノ場合デモ、他ノ一般相續財產ト合計致シマシテ、五千圓以上ナレバ、全額ニ對シテ課

稅シテモ宜イ譯デアリマス、併シ從來保險金ハ、相續財產ニ加算シテ居ナイト云フ點モ考慮致シマシテ、一舉ニシテ之ヲ一般ノ相續財產ト同視スルノハ如何カト存ジマシテ、政府ニ於キマシテハ五千圓以上ノ場合ニ、金額ニ對シテ課稅スルト云フ建前ヲ取ツタノデゴザイマスガ、衆議院ニ於テハ前ニ申上ゲタ理由デ控除主義ヲ取リマシタ、其ノ理由ハ、現行法ノ下ニ於テハドウモ適當デハナイト思ヒマスケレドモ、從來免稅シテ居ルモノヲ、此ノ度相續財產ニ加算スルコトニナツタ過渡期ニ於キマシテ、先ヅ五千圓ノ控除ヲスルノモ宜イデハナカラウカト云フ御趣旨ナラバ、是ハ程度ノ問題ニナリマシテ、其ノ意味ニ於テ政府ハ、貴族院ニ於キマシテモ、此ノ衆議院ノ修正ニ御贊成ニナレバ、ソレニ依ッテ實行シテ行キタイ、斯ウ存ジテ居ル次第ゴザイマス

○河田烈君 今政府委員ノ御説明デ、私、

相續稅法第八條ヲ讀ミ違ヘテ居リマシテ、

ソレハ全ク誤解デゴザイマシタ、ソレハ其ノ通リデゴザイマス、ソレカラ矢張リ相續稅法ト所得稅法トノ關係デゴザイマスガ、

今度ハ生命保險金ヲ相續財產ノ價額ニ算定

セラレルト云フ新法ガ出來マシテ、其ノ標

準ガ五千圓ト云フコトニナツテ居リマスガ、

是ハ何條デシタカ、所得稅法ノ第十六條ノ三デシタカ、保險料ノ控除ノ規定ガゴザイマス、アレガ二百圓デゴザイマス、其ノ二百圓ト押ヘラレタ當時ハ、是ハ尤モ生命保險ノ掛金ト云フモノハ、人間ノ年齢等ニ依リマスカラ二百圓ノ掛金ノ人ガ、幾ラノ保険金ニナツテ居ルカト云フコトハムヅカシイト思ヒマスケレドモ、凡ソ何千圓位カノ保険金ヲ先ヅ普通ト見テ、茲ニ二百圓トナックテ居タノデハナイカト想像シマスガ、サウシマスト保險料ノ控除ノ額ガ二百圓ト云フ標準ハ、今回ノ相續稅法ノ改正ニ依ッテ相續財產ニ算定サレル所ノ五千圓ト云フ金額トハ何等關係ナイモノデアリマスカ、ソレニ關聯スベキモノデハナイカト思ヒマスガ、

ト云フ御趣旨ナラバ、是ハ程度ノ問題ニナリマシテ、其ノ意味ニ於テ政府ハ、貴族院ニ於キマシテモ、此ノ衆議院ノ修正ニ御贊成ニナレバ、ソレニ依ッテ實行シテ行キタイ、斯ウ存ジテ居ル次第ゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 第三種所得ヲ計算スル場合ニ於キマシテ、生命保險ノ保険料二百圓ヲ限度トシテ控除スルト云フノハ、

確カ大正十二年ニ於キマシテ議員提出法律案トシテ成立シタモノト存ジテ居リマス、是ハ保險獎勵ノ意味カラ來テ居ルモノト存ジマスガ、此ノ度ノ生命保險五千圓以上ノ居ルノデアッテ、直接關聯ハ無イト思ヒマスガ、兩者ノ法制ガ出來ル時ニヘ、關聯ヲ持タガトモ考ヘテイナイノデゴザイマス

○河田烈君 多分、兩者ノ出發點ガ違ッテ居ルノデアッテ、直接關聯ハ無イト思ヒマスガ、兩者ノ法制ガ出來ル時ニヘ、關聯ヲ持タガトモ考ヘテイナイノデゴザイマス

○河田烈君 多分趣旨ハサウダラウカト想像シタノデアリマスガ、免許制ヲ布ク以上ハ、製造場ト賣ル場所ト別々ニ免許スベキガ法制ノ建前カラ至當デハナイカ、免許ニナツテ、取締ガ出來ルカラ、製造場ニ於テ販賣スル場合ハ除外スルト云フコトハ、大變細カイ規定ニナツテ居ツテ、餘分ノ規定ノヤ

ラ第三ニ極メテ小サイ問題デスガ、此ノ酒造稅法デスガ、酒ノ販賣業ヲ製造場ト同ジ場所ニ於テスル場合ニヘ、此ノ限リニアラズト云フ確カ除外例ガ設ケラレテ居ツタト思フ、是ハ小サイコトデアリマスガ、特ニトニナツテ居ルノデゴザイマス、而シテ保険料ヲ第三種所得カラ毎年二百圓ヲ限度トシテ控除スルノト、此ノ生命保險ヲ五千圓以上ノ場合ニ相續財產ニ加算スルノトハ、聊カ矛盾スル嫌ガアルノデハナイカト云フ點ニナリマスルト云フト、是ハ所得稅ノ方ニ於キマシテハ保險獎勵ノ意味ニ於キマシテ、大體此ノ程度ヲ所得金額カラ控除シテ行カウト云フ趣旨デゴザイマシテ、一方ニ於テ相續稅ノ場合ニ於キマシテハ、相續人ハ被相續人カラ財產ヲ承繼スルト云フ點ニ著眼シテ居ルノデアリマシテ、兩者ハ其ノ立脚點ヲ多少異ニシテ居ルノデゴザイマス、必ズシモノレガ一致スベキモノト受ケテ居リマス、政府ノ嚴重ナル監督ノ下ニ營業シテ居ルノデゴザイマスカラ、此ノ販賣免許ヲ更ニ二重ニ受ケルト云フコトハ、其ノ必要ガ無イト認スマシテ除外シタ次第デアリマス

○河田烈君 多分趣旨ハサウダラウカト想像シタノデアリマスガ、免許制ヲ布ク以上ハ、製造場ト賣ル場所ト別々ニ免許スベキガ法制ノ建前カラ至當デハナイカ、免許ニナツテ、取締ガ出來ルカラ、製造場ニ於テ販賣スル場合ハ除外スルト云フコトハ、大變

ウニ思ヒマス、是以上ハ小サイコトデアリ
マスカラ申上ゲマセヌ

○政府委員(大矢半次郎君) チヨット補足
シテ申上ゲマス、是ハ製造者ガ其ノ製造場
ニ於テ爲ス販賣業デ、他ニ製造場ト別ノ場
所ニ於テ販賣業ヲ致ス場合ハ勿論、免許ヲ
致ス譯デアリマス

○河田烈君 モウ詳シイ事ハ求メル譯デハ
アリマセヌガ、別ノ場所デ賣ル場合ハ當然
デアリマスガ、藏デ製造シテ居ル、直グ店
ガ喰付イテ居ル場合ハ別ニ免許スルカト云
フコトガ起ルデセウ、是ハ是以上細カイ事
ハ申上ゲマセヌ、甚ダ恐縮デアリマスガ、
丁度政務次官、主計局長モ御出デニナリマ
スノデ、直接此ノ稅法ニハ關係無イノデス
ガ、此ノ稅法改正ト伴ヒマスノデ、一言、
追第一號ト臨時軍事費特別會計ノ追加トノ
關係ヲ、關聯ヲシテ居リマスカラ、直接此
委員會ニ掛ケラレタ問題デアリマセヌガ、
關聯ガアリマスノデ、簡單ノ質問ヲチヨット
御許シ願ヒタイト思ヒマス、此ノ今度ノ追
加第一號ト臨時軍事費特別會計トノ關係ヲ
見マスト、歲入ノ補填ト申シマスカ、事件費ハ
皆一般會計ニ入レラレテ、ソレカラ三億一千
七百萬圓ヲ臨時軍事費ニ入レテ、三億一千七
百萬圓、是ハ稅バカリデハアリマセヌ、外ノ

モノモ入ッテ居ルガ、稅ニ關係スル所ハ三億
六百萬圓デアリマス、一般會計ノ外ハ臨時軍
事費特別會計三億一千七百萬圓ニナッテ居ル
ヤウデアリマスガ、其ノ中デ一般會計ノ方
ヲ見マスト、追加豫算ヲ見マスト、公債ガ
七千萬圓デシタカ、公債ガ其ノ財源ニナッテ
居ル、ソレカラ臨時軍事費ニ於テモ矢張
リ公債ガ四十億デシタカ、公債財源ニナッテ
居ル、追加第一號ノ方ヲ見マスト、其ノ公
債ハ歲入補填公債デアル、臨時軍事費ハ各

種ノ臨時軍事費ヲ掲ゲテラレテ、其ノ不足
四十四億五千三百萬圓ト云フモノヲ公債及
繰替借入金ニ入レラレテ、一般會計ヨリノ
繰入ガ三億一千八百萬圓、三億一千八百萬
圓ノ方ノ一般會計ヲ見マスト、是ハ稅ガ大
部分ニナッテ居リマスガ、其ノ外ニ矢張り公
債ガ七千何百萬圓カアルヤウデアリマスガ、
是ハ歲入補填公債ニナッテ居ル譯デアリマ
ス、此ノ臨時軍事費ノ歲入補填ノ爲ニ此ノ
公債ニ依ル爲、此ノ公債四十四億五千三百
萬圓ト云フノハ臨時軍事費ニ對シテ補助ス
ルヤウニナッテ居ツテ、一部ハ一般會計ニ繰
入レル、一般會計ノ方ノ歲入補填公債トシ
テ繰入レラレテ居ル、斯ウ云フ風ニ分ケラ
レテ居リマス、是ハドウ云フ關係デスカ

號ニアリマス軍事費ニ繰入レル關係ノ、豫
算ノ中ニアル赤字公債即チ歲入補填ノ財源
ニ充テル爲ノ公債七千三百餘萬圓ガ、軍事
費公債ノ利子ノ半分ヲ此處ヘ掲ゲテ居ルノ
デアリマス

○河田烈君 サウ致シマスト、臨時軍事費
ノ方ハ、臨時軍事費ニ實際ニ使用スルモノ
ヲ掲ゲテアル譯デスカ

○政府委員(太田正孝君) 左様デゴザリマ
ス

○西野元君 今ノ御質問ニ關聯シテ……色々
伺ヒタイ所ガアリマシタケレドモ、大變
時間ガ切迫致シマシタカラ、總テ省略致シ
マスガ、先刻河田君カラ御質問ニナリマシ
タコトニ關聯シテ伺ヒタイト思ヒマスガ、
支那事變特別稅、若シクハ前ノ北支事件特
別稅、是等ノ稅ノ收入ノ區分ヲスルノニハ
何ヲ標準トシテ御決メニナッタノデスカ、河
田君ノ御尋ト私ノ御尋ト少シ意見ハ或ハ違
テ居ルカモ知レマセヌガ、先刻御尋ニナッタ
コトニ關聯シテ伺ヒタイ、ドチラノ會計ノ…

シテ伺ヒマス、北支事件特別稅ノ收入ハ昨
年ハ臨時軍事費特別會計ト云フ獨立ノ會計
トシテ御制定ニナッタヤウニ記憶シテ居リ
マス、間違ツテ居レバ取消シマスガ、斯ウ云
フ風ナ趣旨デ御制定ニナッタ考ヘテ居ル、
今回肩書ヲ書キ換ヘマシタ支那事變特別稅
ノ稅收入ハ、之ヲ一般會計ノ收入トシテ居
ラレルカト思ヒマスガ、單純ナル論議ノ問
題トシテハ、餘リニ稅收入ノ所屬ノ會計ト
云フモノノ區分ガ不明瞭ト思ヒマスガ、私
ハ今回ノハ正シイト思ヒマスガ、昨年ノ取
扱ハ不條理デアルト今デモ私ハ確信シテ居
リマス、其ノ點カラ申シマスレバ今度前ノ
ヲ御改メニナッテ、私ニ言ハセレバ良クナッ
タノデアル、ソレハ當然ダト思ヒマスガ、
即チ朝令暮改ト云フコトモアルト思ヒマス
ガ、是ハ稅法ノ附則ニモ特ニ或部分ノモノ
ハ、臨時軍事費特別會計ノ收入トスルノ云フ
コト迄御書キニナルヤウナ方法ヲ御執リニ
ナッタ理由ヲ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(太田正孝君) 率直ニ申上ゲマ
スト云フト、西野サンノ仰シヤッタ通リデゴ
ザイマシテ、實ハ昨年ノ時ノヤリ方ハ少シ
ニシテ御決メニナッタカラソ同ヒタイ、是ハ稅
法ノ規定ニモ關聯スル、或ハ私ノ申上ゲル
コトガ徹底シマセヌケレバ、モウ一つ補足

アリト云フ意味ニ於テ變ヘタ次第デゴザイ

マス、大變朝令暮改ノヤウデゴザイマスガ、政府ニ於當時豫算技術ノ上デ少シ議論ガアリマシテ、變則デアリマシタガ、北支事變ニ當嵌メテ直接入レルト云フヤウナコトヲ致シタノデアリマスガ、今回ハ御意見通リニ改メルコトニシマシタ、率直ニ言ヒマスレバサウ云フヤウニナッタ次第デゴザイマシタ

○西野元君 モウ質疑ハゴザイマセヌ

○委員長(子爵前田利定君) 大和田サンニ御諸リシマスガ、主稅局長ヲ呼ンデ居リマスケレドモ參リマセヌカラ……

○大和田健三郎君 西野サンノ仰シヤッタ臨時利得稅ニ付テ、チヨット伺ッテ見タイト思ヒマスガ……

○委員長(子爵前田利定君) 通告者ガゴザイマスカラ後ニ願ヒ、橋本サンニ御願ヒ致シマス

○橋本辰二郎君 私ハ質疑ヲ致ス前ニ、審議ノ進行ニ付キマシテ發言ヲシテ置キタイト思ヒマス、若シ時ガ許シマスナラバ私等ハ尙數日ニ瓦ツテ質疑ヲ續ケマシテ、自己ノ疑惑ヲ解キタイト思ヒマス、此ノ考ハ、委員各位ノ共通スル御考デアラウト思ヒマスガ、委員長ノ御注意モアリマシタノデ、自分ノ申シタイコトヲ十分壓縮致シマシテ、成ルベク十分ノ一位ノ程度ニ縮メマシテ、成ルベク

簡潔ニ質問ヲシタイト思ヒマス、政府ニ於テモ、成ルベク誠意ヲ以チマシテ簡單ニ御答辯アラムコトヲ切望致シテ置キマス、先づ私ノ御尋ネシタイト云フコトヘ、所得稅ノ算定ニ關スルコトデアリマスガ、其ノ前ニ、只今河田委員ヨリ御尋ネ致サレマシタ保険ノコトニ付キマシテ、一應御尋ネ致シタイ、御承知ノ通り保險ト云フモノハ元博愛主義ニ出發シタモノデアリマスガ、今日ニ於キマシテハ、主人ノ收入ニ依ツテ一家ノ生計ヲ支ヘテ居夕者ハ、萬一主人ガ亡クナッタ時ニハ忽チ路頭ニ迷ヒ、扶助料ノアル人、又ハ相當資產ノアル人ニ於キマシテモ、相續稅ガ非常ニ多額ニ上ル爲ニ、假ニ財產ハアリマシテモ金錢ト云フモノヲ持ッテ居ル人ハ少イノデアリマス、此ノ相續稅ノ納稅ノ引當トシテ、保險ニ加入スル人ガ多いノデアリマシテ、之ニ稅ヲ掛ケルト云フコトハ少シク私等ハ、酷デハナイカト思ヒマスルガ、マアソレハ私ノ意見ト云フコトハ少シク私等ハ、酷デハナイカト思ヒマス、若シ時ガ許シマスナラバ私等ハ尙數日ニ瓦ツテ質疑ヲ續ケマシテ、自己ノ疑惑ヲ解キタイト思ヒマス、此ノ考ハ、委員各位ノ共通スル御考デアラウト思ヒマスガ、委員長ノ御注意モアリマシタノデ、自分ノ申シタイコトヲ十分壓縮致シマシテ、成ルベク十分満足ヲスルコトハ出來マセヌガ、

保険金ヲ相續稅ニ加ヘタ所以ノモノハ收入ヲ増加スルト云フ爲デアリマスカ、此ノ時局カラノ必要ニ應ジテ、若シクハ是ハ負擔ノ均衡ノ爲デアルカ、若シクハ當時節柄保険金ノ幾分カ貯金ノ性質ヲ帶ビテ居ルガ爲ニ、是ニモ課稅シナケレバイカヌト云フ時代思想ニ出ズルモノデアリマスカ、其ノ點ヲ先キニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 今回ノ相續稅ノ改正ハ、一括シテ部分的改正ト云フ中ニ入ッテ居リマスルガ、今ノ屬地主義ヲ屬人主義ニ改メマスナド、相續稅ニ關シマシテハ隨分根本ニ觸レタ點モアルノデアリマス、併シ全體トシテハ部分的ノ改正デゴザイマスガ、斯様ナ意味ニ於キマシテ相續稅ニ付テ、生命保險ノ保險金ニ課稅スルコトニナリマシタノハ、收入主義デアルカ、或ハ負擔均衡ノ租稅本來ノ意味デアルカ、斯ウ申シマスト云フト、無論收入ニ關係ナインデハゴザイマセヌガ、主トシテ負擔均衡ノ關係カト出テ居ルノデゴザイマス、資產ノ蓄積手段トシテ之ヲ課稅外ニ置クコトハ宜クナイ致シマシテ、假ニ新タル稅ヲ創設スル時ニハ其ノ必要ナル所以ヲ國民ニ周知セシメテ、國民ノ納得ヲ得ルト云フコトガ必要デアラウト思フ、只今ノ應答ヲ聽イテミマスルト、其ノ點ニ於テハ、ドウモ私等ハハ特別ノ批ヒヲシタ譯デアリマス

○橋本辰二郎君 次ニ退職慰勞金デアリマスガ、退職慰勞金ニ課稅スルト云フコトニハ私等ハ異議ハゴザイマセヌガ、昔カラ是ハ當然課稅スベキモノト信ジテ居ッタノデアリマス、是モ只今ノ政務次官ノ、保険金ニ對スルト同ジ御見解ノ、負擔ノ均衡ト云フ點ヨリ出發シタノデアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 左様デアリマス○橋本辰二郎君 私ハ所得稅ノ算定ノコトニ付キマシテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、過日來、同族會社ノ加算稅ノコトニ付キマシテ、少シク質疑ガアリマシタガ、何分我々ノ納得スル程度ニ達シテ居リマセヌノイテ思ヒマス、デ主稅當局ニ於キマシテハ、單ニ稅收入ノ御目的ノヤウデ、詰リ職業意識ヨリシテ色々ノ御考ヲ持ッテ居ルカモ知レマセヌガ、政務次官ハ長ク民間ニ居ラレマシテ民間ノ聲フ御聽キニナッテ居ラレマセウシ、又是ガ果シテ適當デアルカドウカト云フコトニ付キマシテモ、十分ナ御考ヲ御持チニナッティラッシヤルト思ヒマシテ、先づ之ニ付キマシテ、政務次官ノ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス、此ノ同族會社ニシテ保全ヲ主トスルモノト、普通ノ法人ト等シク事業ヲ經營スルモノトハ、其ノ取扱ヲ區別

ヲシテヤラナケレバナラヌト云フ此ノ主張ハ、多年民間ノ主張デアリ、又民間ヲ代表スル所ノ全國ノ商工會議所ノ是ガ意見デアルノデアリマス、是ハ詰リ事業ニ關係アル所ノ國民全般ノ輿論デアルノデアリマス、然ルニ今日尙且之ニ對シマシテ、加算稅ト云フモノヲオカケニナッテ居リマスガ、是ハ脫稅ノ意味ニ依ッテ、法人組織ニシタモノニ對スル所ノ一種ノ是ハ懲罰的ナ課稅、少シ是ハ言葉ガイケマセヌガ、先づサウ言ウテ置キマスガ、懲罰的ナ課稅ノ意味モ或ハ含ンデ居ルカト思ハレマスケレドモ、是ハ考ヘヨウニ依リマシテハ、餘程此ノ考ハ間違テ居ルト思ヒマス、事業ノ性質ニ依ッテハ個人ニ於テ、無限ノ責任ヲ負擔スルコトヲ非常ニ危険ヲ感ズル事業ガ非常ニ澤山アル、例ヘバ爆發物ノ如キ危險ノ事業ヲ營ムモノ、若シクハ船舶業ノ如キ、是ハ保險會社ノ責任以外ニ於テ、重大ナル責任ヲ持タナケレバナラヌ事業ニ付キマシテハ、之ヲ個人ノ營業ニスルト云フコトハ、自己ノ全財産ヲ總テ失フト云フ危險ニ頻シマスル爲ニ、是ハ總テ有限責任ト云フ組織ノ下ニ經營シテ居ルモノハ多々アルノデアリマス、デ單ニ出資ガ同族ニナルガ爲ニ、之ニ加算稅ヲ適用スルト云フコトハ、ドウモ私ハ穩當ヲ得

スト思ヒマス、過日モ申上ゲテ置キマシタ通り、日本ノ事業會社ノ實質ヲ調べテ見マシタナラバ、是ハ同族會社ノ系統ヲ帶ビザルモノハ殆ド無イト云ッテモ可ナリト思ヒルモス、マア稀レニハアリマセウケレドモ、其ノ大部分ト云フモノハ悉ク同族會社ノ系統ヲ持ッテ居ルノデ、若シ此ノ加算率ヲ適用スルト云フコトニナリマスナラバ、日本ノ法人ノ大部分ハ此ノ適用ヲ受ケナケレバナシト居フノデアリマス、然ルニ少數ノ同族會社ダケガ、此ノ適用ヲ受ケルト云フコトハ、如何ニモ其ノ當ヲ得ザル所ノヤリ方デアルト考ヘマスルガ、之ニ關シマシテ政務次官ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 同族會社ノ加算稅ノ規定ガ新タニ設ケラレマシタ大正十年カラ、御示シノ問題ハ起ツテ居リマシテ、私共ハ各地ニ於キ、各方面ノ方カラ承リ、只トカ、或ハ公定相場ノアリマスモノトカ、或ハ相當ナ配當ヲシテ居ルモノデゴザイマス、或ハ相當ナ配當ヲシテ居ルモノデゴザウ云フ點ニ付テハ、

今又橋本サンカラ縷々申述ベラレテ之ヲ拜聴シテ居リマス、問題ハ同族會社ト云フモノノ形ガ、資金ノ半額以上ガ、言ハマ一人ノ勢力下ニアルト云フヤウナモノヲ捉ヘテノモノト、事業ヲヤッテ居ルモノトノ區別ヲシテ居ルノデアリマスガ、一面ニ保全的

マシタガ、衆議院ニ於キマシテハ此ノ點ニ付テ非常ニ力ヲ用ヒテ居リマシテ、數日ニ

當局ハヤッテ來テ居ルノデゴザイマスガ、其ノ點ガ、ドウモ今云ッタ事業ノ方面ニ大變入スル所ノ數ハ澤山アルガ、其ノ中ニ加算稅ノ課稅ヲ受ケタルモノハ一割位デアル、斯ウ云マス、マア稀レニハアリマセウケレドモ、其ノ大部分ト云フコトニナリマスナラバ、日本ノ法人ノ大部分ハ此ノ適用ヲ受ケナケレバナシト居フノデアリマス、然ルニ少數ノ同族會社ダケガ、此ノ適用ヲ受ケルト云フコトハ、如何ニモ其ノ當ヲ得ザル所ノヤリ方デアルト考ヘマスルガ、之ニ關シマシテ政務次官ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○橋本辰二郎君 衆議院ノ私、速記錄ヲ見

ナラヌト云フヤウナコトモ度々アル、實ニソレハナタ方ハ御承知ハナイカ知ラヌガ、地方ノ稅務署ノ吏員ト云フモノハ、俺ハ國家ノ代表者ダ、俺ノ言フコトニ反抗スルト云フコトハ不都合ダト、頭ゴナシニ司法警察官ガ罪人ヲ糾弾スルヤウナ態度ヲ以テ臨ンデ居ル、アナタ方ハ實際此處ニ居ラズ部下カラ良イ報告バカリ受ケテ何モ御承知ガナイノデス、ソレデ此ノ加算稅ノ如キニ付キマシテモ、ソレハ隨分無理ナコトガ行ハレテ居ルノハ實際デアリマス、ソレデ此ノ際、法人ノ所得ニ對スル課稅ガ非常ニ重クナッタ此ノ際ニ於テ、事業會社ニ對シテハ、普通ノ法人ト同一ノ取扱ヲ同族會社ニ對シテモ與フルコトノ御取扱ニ、御改メニナリマシテ、此ノコトヲ全國ノ稅務署ニ通報セラレルト云フコトガ私ハ適當デアラウト思ヒマスルガ、ドンナモノデアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 御言葉誠ニ恐れ

入りマシタ、稅務官吏ガ稅法ヲ施行スルニ付キマシテ威張ッタリ、今御示シノヤウナコトガアルコトハ誠ニトンデモナイコトデゴザイマシテ、殊ニ時局柄財的ノ御奉仕ヲ國民ニ御願ヒシタイ、又生産擴充ナドノ關係ニ於キマシテモ、事業界ニ對シテ滑カニヤツテ行カナケレバナラヌノニ、サウ云フ

コトガアツテハイケマセヌノデ、財務當局トシテ相戒ムルハ勿論ノコト、元々本法ノ規定ガ「所得稅ニ加算スルコトヲ得」トナツテ居リマスル關係ト、統一シテ、是ガ御示シ署デ違フトカ云フコトノナイヤウニ然ルベノヤウニ各地ニバラ／＼ニナルトカ、稅務署ニ伺ツテ居リマスガ、是ガ段々多クナルト私ノヤウニ各地ニバラ／＼ニナルトカ、稅務署ニ伺ツテ居リマスガ、若シ是以上殖エル時ニハ、ハ非常ニ國民全體ノ負擔ガ殖エルヤウニ考ヘテ居リマスガ、若シ是以上殖エル時ニハ、事業會社ト保全會社トノ關係ニ付キマシテハ、先程極ク抽象的ナコトヲ申シマシタガ、一定ノ標準ニ依リマシテ御示シノヤウナ點ノ非難ノナイヤウニ、稅本來ノ目的ニ向ツテ改メテ行キタイト思フノデゴザイマス、改メルト申シマスカ、統一スルト申シマスカ、相戒メテ行キクト申シマスカ、此ノ事變ニ際シマシテ特ニ其ノ點ヲ財務當局トシテ注意シテ行キタイト思フノデゴザイマス

○委員長(子爵前田利定君) 橋本君、チヨツト御願ガゴザイマスガ、大和田委員カラ地

方局長ニ對スル質疑ガアリマスノデ、地方局長ガ見エマシタカラ先ニドウゾ……ヒマス

○大和田健三郎君 極ク簡單デアリマスガ、

○委員長(子爵前田利定君) 地方局長ト云此ノ稅法ノ方デチヨツト伺ツテ置キタイト思

○政府委員(坂千秋君) 地方財政補給金ノ

コトガアツテハイケマセヌノデ、財務當局トシテ相戒ムルハ勿論ノコト、元々本法ノ規定ガ「所得稅ニ加算スルコトヲ得」トナツテ居リマスル關係ト、統一シテ、是ガ御示シ署デ違フトカ云フコトノナイヤウニ然ルベノヤウニ各地ニバラ／＼ニナルトカ、稅務署ニ伺ツテ居リマスガ、是ガ段々多クナルト私ノヤウニ各地ニバラ／＼ニナルトカ、稅務署ニ伺ツテ居リマスガ、若シ是以上殖エル時ニハ、ハ非常ニ國民全體ノ負擔ガ殖エルヤウニ考ヘテ居リマスガ、若シ是以上殖エル時ニハ、馬場財政ノ時ノヤウニ戸數割ヲ全廢シナケレバ、國民全體ノ負擔ガ殖エテ行クバカリデナク、今度交付金制度ヲ廢サレタ時ニ町村ガ非常ニ困リハシナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデスガ、其ノ點ヲ第一ニ伺ツテ置キタイノデゴザイマス、ソレカラ第二點ハ、此ノ義務教育國庫負擔金ト云フノガアツテルガ、昨日ドナタカカラモ御話ガアリマシタガ、義務教育デアリマスルカラ其ノ教員ノ俸給ヲ全額國庫デ負擔シテ、若シ財政ガ許サナケレバ現在ノ程度デモ、之ヲ國庫カラ町村へ出サズニ、町村カラ國庫ニ納付セテ國庫デ負擔スルヤウニナレバ、町村ノ豫算ガ非常ニ小サクナッテ宜イト思フノデアリマスガ、此ノ交付スルト云フコトガ豫算ヲ大キクシテ、非常ニ全體カラ見テ負擔ガ

コトガアツテハイケマセヌノデ、財務當局トシテ相戒ムルハ勿論ノコト、元々本法ノ規定ガ「所得稅ニ加算スルコトヲ得」トナツテ居リマスル關係ト、統一シテ、是ガ御示シ署デ違フトカ云フコトノナイヤウニ然ルベノヤウニ各地ニバラ／＼ニナルトカ、稅務署ニ伺ツテ居リマスガ、是ガ段々多クナルト私ノヤウニ各地ニバラ／＼ニナルトカ、稅務署ニ伺ツテ居リマスガ、若シ是以上殖エル時ニハ、ハ非常ニ國民全體ノ負擔ガ殖エルヤウニ考ヘテ居リマスガ、若シ是以上殖エル時ニハ、馬場財政ノ時ノヤウニ戸數割ヲ全廢シナケレバ、國民全體ノ負擔ガ殖エテ行クバカリデナク、今度交付金制度ヲ廢サレタ時ニ町村ガ非常ニ困リハシナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデスガ、其ノ點ヲ第一ニ伺ツテ置キタイノデゴザイマス、ソレカラ第二點ハ、此ノ義務教育國庫負擔金ト云フノガアツテルガ、昨日ドナタカカラモ御話ガアリマシタガ、義務教育デアリマスルカラ其ノ教員ノ俸給ヲ全額國庫デ負擔シテ、若シ財政ガ許サナケレバ現在ノ程度デモ、之ヲ國庫カラ町村へ出サズニ、町村カラ國庫ニ納付セテ國庫デ負擔スルヤウニナレバ、町村ノ豫算ガ非常ニ小サクナッテ宜イト思フノデアリマスガ、此ノ交付スルト云フコトガ豫算ヲ大キクシテ、非常ニ全體カラ見テ負擔ガ

ルト云フコトニ致シマスコトハ、色々影響スル所多カラウト思フノデアリマス、町村デハ矢張リ半分自分ノ所デ持ツト云フコト較的安イ教員デモ我慢シマスガ、全額國庫負擔ニナリマスノデ、教員給ニシマシテモ、比自分ノ方ニモ高イ良イ教員ヲ廻シテ貰ヒタイト云フコトニナリハシナイカト思ヒマス、是ハ私コニ即答申上ゲ兼ネルノデアリマスジ、色々影響ガ大キイノデアリマスカラ、其ノ程度デ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○大和田健三郎君 地方交付金制度ハ、都市ト農村ノ負擔ノ權衡ヲ保ツ爲ニハ非常ニ役立チマスガ、交付サレタ金ガ、都市カラ徵收シテ農村ノ負擔ヲ減ズルト、ドッテモノレガ爲ニ負擔ハ殖エナイト云フコトハ算盤上ノ話デ、實際ハ交付ヲ受ケル町村ノ豫算ハドウシテモ大キクナル、現在参考書ヲ頂戴シテ見マスト、十二年度ノ戸數割ハ相當ニ豫算カラ見レバ減額シテ居リマスガ、其ノ減額ノ程度ハ前年度ノ戸數割ニ比較シテ果シテ減額シテ居ルカ、私ハ斯様ナコトヲ慣レテ、段々町村ノ負擔増加率ト云フモノハ殖エテ來ルトスウ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論國勢ノ發展ニ伴ツテ豫算ハ増加ハシマ

スガ、其ノ増加ノ程度ガ交付金ヲ貰フ時ノ增加ノ程度ト、貰ハナイ時ノ増加ノ程度ヲ當テニシテ豫算ガドウシテモ段々ト殖エテ行シ、町村ノ負擔ト云フモノハ必ズ此ノ制度デ永イ間續ケタナラバ非常ナ負擔ニナルト思フ、ソレハ自分で出シタ金ヲ貰フノデアリマスカラ、國民全體カラ云ツタナラバ必ズ負擔ハ殖エルモノト私ハ考ヘテ居リマス、地方局長ノ御話デハ決シテ殖エナイ、片一方カラ取ッテ片一方ニヤルノデ、全體カラ見タラ殖エナイト云フコトハ算盤上ノ話デ、實際カラ云ツタナラバ段々殖エテ行クモノト私ハ考ヘテ居リマスガ、其ノ點今一應……

○政府委員(坂千秋君) 交付金ヲ貰ヒマス爲ニ、其ノ貰フ交付金ヲ當テニシテ豫算ハ不必要ニ増嵩スル虞ガアル、從ツテソレデハ結局國民ノ負擔ノ實質上ノ増加ニナルモノデハナイカト、斯ウ云フ御尋デアリマス、交付金制度ガアリマシテ、其ノ爲ニ戸數割ヲ高ク見積ツテ置クト、幾ラカ餘計交付金ガ貰ヘルノデナカラウカト、斯ウ云フ一つノ考ヘ方モアリマシテ、其ノ爲ニ若干ノ作爲ト豫算ヲ挾ミマシテ篤ト懇談致シマシテ、ガ豫算編成面ニ現レテ來ル傾向ガアルデハ

スガ、其ノ増加ノ程度ガ交付金ヲ配當致シマス場合ニ、ドノ程度ノ、何時ノ戸數割ヲ捉ヘテ過重ノ負擔ト見ルカト云フ配當ノ標準、此ルガ、サウ云フ若干ノ傾向ガアルコトハ、是ハ遺憾ニ考ヘテ居リマス、事實或程度アリマス、併シ是ハ豫算ノ使ヒ方ノ方ヲルコトヲ色々ナ方面カラ聞カサレテ居ルノ少シ制限シナケレバイケナイ、豫算ノ歳出ニ不必要ナ經費ヲ計上サレルト云フヤウナノ話デ、實際カラ云ツタナラバ段々殖エテ失ハレテ居ルデハナイカ、斯ウ云フ非難ト方ヲシテ居ル所トガアツテ、其ノ間ノ權衡ガ申シマスカ御批評ヲ受ケルコトガ段々アルノデアリマスガ、是モ誠ニ御尤ナ點ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、併シ交付金交付ノ場合ニ於キマシテ、豫算ノ歳出ヲ嚴密ニ審査シ、一萬一千有餘ノ團體ヲ一つノ標準デ當テ嵌メルト云フコトハ、恐ラク非常ニ困難ナコトデアリマス、唯實際ハ縣廳デ此ノ交付金ヲ交付致シマス場合ニハ、町村長ニ御集リヲ願ヒマシテ、縣廳ノ係リノ者ニ付金制度ガアリマシテ見タラ、ソレヨリモ多クナッテ居ルト、斯ウ云フ風ニナリハシナイカト思フノデアリマスガ、ソレ以上、其ノ點ハ止メテ置キマシテ、モウ一つ御伺ヒシタインハ、此ノ交付金制度ヲ、一般稅制ノ整理ヲスル時ニ、交付金制度ニ代ルベキ、交付金制度ヲヨリ以上ニ殖ス場合ニハ、戸數割ヲ

廢止スルト云フヤウナ御考へ今日ハナノ

デアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(坂千秋君) 交付金ヲ餘計増ス
場合ニハ戸數割ヲ廢スルト申シマシテモ、
戸數割ハ御承知ノ通リニ非常ニ巨額ナル地

方ノ歲入デアリマスルノデ、ソレニ必要ナ

爲ノ財源トシテ非常ニ困難デアラウト思フ
ノデアリマス、從ヒマシテ戸數割ヲ全廢サ

レルカドウカト云フコトハ、恐ラク根本的
ニ中央地方ヲ通ジテノ稅制整理ノ場合デア

リマセヌト、實現ガナカノ容易デナカラ
ウト思フノデアリマス、尙申添ヘテ置キマ
スガ、現在地方ノ豫算ガ増シテ居ルト申シタ

場合ニ私ノ言葉ガ足リナカッタカモ知レマ
セヌガ、サウ云フ所謂作爲的ト申シマシタ

ノハ、一般雜種稅ガ一圓ニ付テ九十錢以内

ト云フノガ、町村ニ依ッテ、ソレ程戸數割ガ

過重デナインニ拘ラズ三圓四圓ト云フ所ガ
アルノデアリマスガ、サウ云フコトハ全然
必要其ノ他カラ、必要ナ經費ヲ計上サレテ
居ルノデアリマスケレドモ、サウ云フ餘り
好マシクナイ傾向モ若干見受ケラレルト、
斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、念

ノ爲ニ申上ゲテ置キマス
○大和田健三郎君 地方ノ附加稅ノ制限ト
云フモノガアルノデアリマスガ、縣稅ニ對
スル町村稅ノ附加稅ト云フモノガ、其ノ制
限外ノ課稅ガドン／＼ト許サレテ居ルヤウ

デアリマス、或稅ノ如キモノハ、普通ノ所

定ノ制限ヨリ五倍ニモ七倍ニモ許サレテ居

ルヤウデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ内
務省ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマス
カ

○政府委員(坂千秋君) 制限外ノ課稅ヲ許
ス場合ニ於キマシテハ、其ノ事情ヲ十分ニ
審査致シマシテ、事情已ムヲ得ザルモノノ
外ハ許シテ居ラナイ筈デアリマス、御示シ
ニナリマシタヤウナ實例ハ、ドウ云フ場合
デアリマスカ能ク分リマセヌガ、審査ニ付
テハ相當嚴密ナ態度ヲ執ツテ居ルト云フコ
トハ事實デゴザイマス

○大和田健三郎君 地方局長ヘノ質問ハソ
レダケデゴザイマス

○委員長(子爵前田利定君) 其ノ他ノ部分

ノ御質問ハ、橋本君ノ後ニ願ヒタイト思ヒ
他日稅制改正ノ場合ニ於キマシテ、私ノ只
ニ述べマシタ趣旨ヲ取入レテ、適當ニ新タ
ガ、其ノ前ニチヨット、事務的ノコトデアリ
マスガ、御諳リヲ致シマス、昨日大河内子

爵カラ政府ニ要求ヲ致シマシタ「支那事變增
稅後ニ於ケル國債社債株式利廻リ調」是ハ

其ノ當時此ノ委員會ニ於キマシテ大河内子

爵ガ、其ノ表ヲ速記録ニ掲ゲルヤウニ委員

長ニ一任スルト云フヤウナ御話デアッタノ

デアリマス、併シ是ハ矢張リ委員會ニ御諮

カルコトハ委員長獨斷デハ出來ナイヤウデ

アリマス、御諳リヲ致シマスガ、大河内子

カルコトハ其ノ御許シヲ得ナイト、斯

リヲシテ、皆サンノ御許シヲ得ナイト、斯

テ執ツテ居リマスガ、若シサウ云フモノニ背

クモノガアリマシタナラバ、能ク取調ベマ

シテ、無論統一スル考デアリマス、又統一

シテ居ル積リゴザイマスガ、サウ云フモ

ノガアツタ場合ニハ、十分調べマシテヤツテ
行キタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 左様取計ヒマ
ス

モ制限外課稅ト云フコトハ、決シテ等閑ニ
ハヤツテ居リマセヌノデ、他ノ稅トノ均衡其

ノ他ヲ十分ニ考ヘマシテ、必要ナリト認メ
タモノ以外ハ認メテ居ラナイノデアリマ

カ、昨日ノ議事錄ノ後ニ宜シウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデ差支ゴザイマ
セヌ

○委員長(子爵前田利定君) 左様取計ヒマ
ス

○大和田健三郎君 地方局長ヘノ質問ハソ
レダケデゴザイマス

○橋本辰二郎君 先程ノ政務次官ノ御答辯

ニ付キマシテハ、非常ニ満足ヲ致シマス、
他日稅制改正ノ場合ニ於キマシテ、私ノ只

ニ制度ヲ御定メニナルコトニ付キマシテ、
次官ノ朝ニ在ルト野ニ在ルトヲ間ハズ御盡

力ヲ願ヒタイト思ヒマス、現下ノ問題ト致

シマシテハ、此ノ加算率ヲ適用スル範圍及

ビ其ノ限界標準ヲ定メテ、全國ノ稅務署ノ

取扱ヲ統一スルト云フ方法ヲ御執リニナル

コトガ出來マセウカ否ヤ、ト云フコトヲ確

カメテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 現在モ方針トシ

テ執ツテ居リマスガ、若シサウ云フモノニ背

クモノガアリマシタナラバ、能ク取調ベマ

シテ、無論統一スル考デアリマス、又統一

シテ居ル積リゴザイマスガ、サウ云フモ

ノガアツタ場合ニハ、十分調べマシテヤツテ
行キタイト思ヒマス

○政府委員(坂千秋君) 其ノ具體的ノ場合

ニ付キマシテハ、何トモ申上ゲ兼ネルノデ

アリマスガ、若シ特殊ナ事情ガアル場合ニ
付キマシテハ、サウ云フコトガアルカモ知

レマセヌガ、是ハチヨット假定的ニ御答致ス

付テ何カ御希望ガアリマスカ、大河内子

スル町村稅ノ附加稅ト云フモノガ、其ノ制

限外ノ課稅ガドン／＼ト許サレテ居ルヤウ

ス

ザイマスガ、サウ云フコトニシテ戴キマス、次ニ私ハ法人ノ繰越損金ノコトニ付キマシテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、法人ノ繰越損金ト云フモノハ、課税ノ上ニ於キマシテハ是ハ度外ニ附シテ、單ニ其ノ年度内ニ於ケリ利益ニノミ付テ課税ヲセラレテ居ルノデアリマスルガ、既ニ利益ノ多イモノニ對シテハ累進的ノ超過所得ヲ課シテ居リマスコトカラ考ヘマシタナラバ、此ノ繰越損金ト云フモノヲ控除スルト云フコトヲ許スノガ當然ノ取扱デハナイカト思ヒマスガ、之ヲ改是レ迄御許シニナツテ居リマセヌガ、之ヲ改メル御意思ハアリマスマイカ、又此ノ繰越損金ヲ控除スルコトハドウシテモ許サレナイト云フ根據ガアリマスルナラバ、ソレノ御示シヲ願ヒタイ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ税法ノ立テ方デゴザイマスガ、現行法ニ於キマシテハ第四條ニ於テ「法人ノ普通所得ハ各事業年度ノ總益金ヨリ總損金ヲ控除シタル金額ニ依ル」トシテアリマシテ、施行規則ノ第一條ニハ「法人ノ前事業年度ヨリ繰越シタル益金又ハ損金ハ其ノ事業年度ノ所得計算上益金又ハ損金ニ之ヲ算入セス」トスウアリマシテ、法人ノ益金ヲ見ル場合ニハ、各事業年度一ツ／＼切り離シテ見ルノデゴザ

イマス、從ヒマシテ前事業年度カラ繰越シテ來タ益金ヲ、其ノ事業年度ニ於テ益金ニ算入シテモ、税法上ハ之ヲ益金ト見ナイ、又其ノ半面ニハ前事業年度カラ繰越損金ガ墳シテモ、其ノ繰越損金ノ補填ハ経費ニ見ナイ、斯ウ云フ扱ニシテ、益金ニ付テモ損金ニ付テモ其ノ期ニ於テ生ジタモノダケヲ課税ノ對象ニシテ居ル、斯ウ云フコトニシテ居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 サウスルト是ハ税法ヲ改正シナケレバ行ヘナイコト考ヘマスルデスガ、他日税法改正ノ際ニ於キマスル御参考ニ一つ供シテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ償却ノコトニ付キマシテ御伺ヒ致シタイト思ヒマスルガ、法人ニ對シテハ相當是ハ考慮サレマシテ、實際ニ適スルヤハ、機械ノ償却ノ如キモノニ對シマシテモ相當是ハ考慮サレマシテ、實際ニ適スルヤナイト云フサウ云フ現狀ノ下ニ於キマシテス、此ノ御改メニナルト云フコトガ最モ必要ダスガ、老猶ニシテ其ノ要領ヲ得セシメザルヤウナレテ居リマスガ、其ノ答辯ハドウモ甚ダ不十分デアルカノヤウニ思ヒマスデ、之ニ付キマシテモ多少ノ緩和ヲ願ヒタイト思フ、是ハ税法デナクシテ、大藏省ノ御考ヘ次第ドウデモナルカノヤウニ思ヒマス、或ハ省令デアッカト思ヒマスガ、省令ハ何時デモ御改正ガ出來マセウシ、内規デアレバ又内規モ御改正モ出來ヤウト思ヒマスガ、過去ニ於キマシテ御定メニナリマシテモノハ今日ノ實情ニ適シナイト思ヒマス、此ノコトニ付キマシテハ、小倉議員力テ來タ益金ヲ、其ノ事業年度ニ於テ益金ニ算入シテモ、税法上ハ之ヲ益金ト見ナイ、又其ノ半面ニハ前事業年度カラ繰越損金ガ墳シテモ、其ノ繰越損金ノ補填ハ能ク知ツテルンデスヨ、ノミナラズ是迄七千人ノ收稅吏ニ、昨年ノ豫算ヲ何シマシテ五千人殖シテアリマス、是ガ其ノ要員全部ガ果シテ充タサレテ居ルカドウカハ分リマセヌガ、是迄スラモ行肩キ過ギテルノデス、其ノ上ニ澤山ノ收稅吏ヲ増サレタ結果トシテデスネ、殆ド是ハ餘ス所ナク塵ノ數迄殆ド知ツテルト言ツテモ可ナリト思フ位デアリマス、ソレデ個人ノ實際ノ營業狀態、其ノ他ノコトガ不明ダト言フノハ、ソレハ失禮ナ言ヒ事ダケレドモ、所謂老猶ナル遁辭ト言ツテモ宜イト思フンデス、モウ少シデスネ、税ヲ取ル場合ハ、單ニ取ルト云フコトノミヲ考ヘズシテ、其ノ人ノ擔稅力ニ相當スルヤウニ、且其ノ納稅者ヲ納得セシムルト云フ方法ヲ執ラナケレバナラスト思ヒマスルデスガ、今後は其ノ人ノ擔稅力ニ相當スルヤウニ、且其ノ納稅者ヲ納得セシムルト云フ方法ヲ執ラナケレバナラスト思ヒマスルデスガ、今後は迄ノ方針ヲ多少改メルト云フヨリモ、緩和シタモノハ今日ノ實情ニ適シナイト思ヒマス、此ノコトニ付キマシテモ相当帳簿ヲ備ヘテ居ルアル、斯ウ云フヤウナコトヲ言ハレマスガ、個人ニ於キマシテモ相當帳簿ヲ備ヘテ居ル個人ニ於キマシテモ相当帳簿ヲ備ヘテ居ルセラレマシテ、個人ニ對シマシテモ減價償

却ヲ御認ミニナルト云フ御取計ヒガ願ヘマ
セウカ、如何デセウカ、此ノ點ニ付キマシ
テノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 減價償却ニ付キ
マシテハ、大藏大臣カラモ、又私カラモ申
上ガタコトデゴザイマスガ、其ノ法人ノ分
ニ關係致シマシテハ、今迄ノ建前ハ物的關
係ヲ、物理關係ヲ本ニシテ、何年是ガ持ツ
カト云フヤウナ建前カラ出來テ居ルノデゴ
ザイマス、無論其ノ間ニ經濟關係、今御示
シノ御強調ニナリマシタ經濟關係ノコトハ
入ッテ居ナイノデハゴザイマセヌデシタガ、
殊ニ時局ニ關係スルモノナドニ付テハ、其
ノ點ガ特ニ考ヘラレナケレバナリマセヌノ
デ、十分サウ云フ點ヲ考ヘマシテ、殊ニ時
局ノ遂行ニ付テ必要ナ生産擴充、其ノ他ノ
コトニ考慮致シマシテ、此ノ點ハ十分考ヘ
テ、直スペキモノハ直シテ行キタイ、斯ウ
考ヘテ居リマス、個人ノ分ニ對シマシテハ、
御言葉ノ通り衆議院デ大變議論ガアリマシ
タ、結局帳簿ガ完備シテナイト云フコトガ
問題ニナリマシタガ、帳簿ノ完備シ居ル、
シテ居ナイト云フコトモ、是ハ隨分ムヅカ
シイ議論デゴザイマスガ、今迄ノ日本ノ經
濟ノ進ンダ形カラ見ルト云フト、マダ隨分
無理ナ所ガアルヤウデゴザイマス、併シナ

ガラ片ツ方ニ於テ立派ナ帳簿ヲ整ヘテ居ル
ヤウナ者ガアリマシテ、之ヲ蔑ロニシ、之
ヲ無視スルト云フコトハ出來マセヌノデ、
立派ナ帳簿ガアリマシテ之ヲ示サレテ、サ
シテハ、工場、機械、器具等ニ付キマシテ
モ、法人ニ準ジテ減價償却ヲ認メテ行クコ
トニ取扱ツテ參リタイト存ジマス、尙稅務官
吏ガ殖エタニ付テ、隅カラ隅迄分ルト申サ
レマシタガ、私ハソレハ分ッテ宜イコトト
思ヒマス、分ッテ宜イコトト、又課ケルト云
フコトハ別デゴザイマシテ、實ハ私モズット
前ニ稅務ノコトニ、僅カナ期間デゴザイマ
シタガ關係シタコトガアリマス、昔貢取り
ト云タ殘酷ナ氣持ガ今モアルカト申シマ
スト云フト、租稅技術ノ進ミマシタ點デ隨
分苦勞致シマシテ、普通ノ役所ノ役人ト比
較スルコトハ或ハ惡イカモ知レマセヌガ、
私共是程迄勉強サレルカト云フ涙ノ出ルヤウ
ナ事實モ知ツテ居リマス、今迄徵稅費ヲ増シ
テ行キマスト云フト、ソレガ何ヤラ苛斂誅
求ノ元ニナルヤウニ考ヘラレタ時代モアリ
マスルガ、ドウカ此ノ點ハ良キ稅務官吏ニ
カト云フ觀念ニ驅ラレル外ニ何ノ望モナ
收入ヲ自分ノ力ニ依ツテ殖シタラ宜カラウ
カツタ、今日デハソレバカリダ、私ハ自分ノ
子供ヲ假令看守押丁ニナツテモ收稅吏ニハ
ナサヌ積リデ居リマスト言ツタ、ソレデ私ハ
遠カラズ署長ニナルカモ知レスガ、自分ノ

是ハ法律ノ眼目トスル所、法律其ノモノヲ
行フト云フヨリハ、法律ノ狙ヒガ合フヤウ
ニシテ行カナケレバナラヌ、私ハ新シイ稅
務行政ノ狙ヒト云フモノハソコニケレバ
ナラヌ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマシ
テ、大變御叱リヲ受ケマシタガ、ドウカ此
ノ點ニ付キマシテハ私共ノ希望モ十分御酌
取リヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 次官ノ御答辯ハ當リ前一
通リノ御答辯デアリマシテ、當局者トシテ
ハサウ仰シヤラナケレバナラヌコトト私ハ
思ヒマス、ソレ以上申上ゲルト云フコトハ
多少其ノ當ヲ失スルカト思ヒマスルガ、兎
ニ角納稅者ヲ總テ脫稅者ノ如ク取扱フト云
フ此ノ觀念、此ノ思想ガイケナイ、今日日本
ノ國民ノ納稅思想ト云フモノハ相當同上シ
テ居リマス、若シ是ガ悪化シテ居ルトスレ
バ、苛斂誅求ノ結果已ムヲ得ズ自衛的ニサウ
云フ手段ニ出デザルノ餘議ナキニ至ラシメ
タル、何ト申シマスルカ、マア過ト言ウテ置
キマセウ、ソレハ稅務當局ニアリト言ツテ
例ヘバ貸借對照表ヲ見テモ眼光紙背ニ徹ス
ルヤウナ意味デ、是ガハッキリ分ルヤウナ

モ私ハ可ナリト思ヒマス、ソコデ今後直接
ニ收稅ノ衝ニ當ル人ニ付キマシテハ、餘程
シテ不愉快ナル感ジヲ持タセナイヤウニ御
訓練ニナルト云フコトガ必要デアルト同時
ニ、私等モ收稅吏ガ如何ニ努力ヲシテ居ル
カ、他ノ官衙ノ役人ト比べテ、如何ニ其ノ
勤務ガ御氣ノ毒ナ程努力セラレテ居ルカト
云フコトハ認メマス、認メマスルガ、ドウ
モ長クヤツテ居リマスルト、ツイ矢張リ職
業意識ニ捉ヘレマシテ單ニ成績ヲ擧ゲタ
イ、成績ヲ擧ゲタイト云フコトハ所謂苛斂
誅求デス、サウシテ稅ヲ餘計取ラウ、取ラ
ウト云フヨリ外ニハ考ヘヌト云フコトニナ
ルノデアリマス、私ハ或收稅吏ト鄉里ヲ同
ジウシテ居ル關係ヨリシテ、其ノ人ノ
述懷ヲ聞キマシタガ、自分ハ二年三年稅務
署へ入ッテ見タ處ガ、事ニ携ツテ非常ニ廣イ
知識ヲ得タ、實ニ是ハ良イ學校ニ入ッタ
思ツタガ、ソレカラ先ハ如何ニシテ此ノ稅ノ
收入ヲ自分ノ力ニ依ツテ殖シタラ宜カラウ
カト云フ觀念ニ驅ラレル外ニ何ノ望モナ
カツタ、今日デハソレバカリダ、私ハ自分ノ
子供ヲ假令看守押丁ニナツテモ收稅吏ニハ
ナサヌ積リデ居リマスト言ツタ、ソレデ私ハ
遠カラズ署長ニナルカモ知レスガ、自分ノ

郷里ニダケハヤツテ下サラヌヤウニト云フ

コトヲ監督局ニ御願ヒシテ居ル、是ハ一般
收稅吏ノ一般ノ觀念デアラウトスウ思フノ
デス、一ツハ待遇ガ惡イ爲ニ良イ人ヲ得ラ
レナイ、待遇ノ惡イ關係デ生活ニ困ル、片
方ニ於テハ法ノ不備カ又ハ内規ノ不備カ知
ラヌ、其ノ人ノ裁量ニ依ッテ或ハ稅ヲ低クク
スル、高クスルト云フコトガ許サレテ居ル
關係ヨリシテ、納稅者ガツイ收稅吏ニ縋ラ
ナケレバナラスト云フヤウナコトガ出来
ル、大阪ヤ神戸地方ニ於テ、收稅吏ノ瀆職
事件ガ起リマシタガ、其ノ内容ハ大シタモ
ノデハナイデセウ、ホンノ僅カノモノデアッ
タヤウニ聞イテ居ル、是ハ詰リ收稅吏ノ待
遇ノ惡イノト、其ノヤリ方ガ餘リ辛辣ナル
ガ爲ニ、納稅者ノ方デ苦シ紛レニサウ云フ
途ヲ逃ラナケレバナラヌノデハナイカト思
ヒマシテ、稅務行政ニ付テハ十分一つ改善
ヲスル餘地ガアルト思ヒマス、是ハ意見ノ
ヤウデアリマスケレドモ、此ノ際苦言ヲ呈
シテ置キマス、サウスルト、只今ノ御答辯
ニ依リマシテ、個人ノ減價償却ニ付テモ、
信用スペキ帳簿ヲ備ヘタ者ニ對シテハ相當
ノ償却ヲシテヤル、斯ウ云フコトニ承知致
シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(太田正孝君) 先程稅務官吏ニ
對スル御忠告ガゴザイマシタガ、私ハ別ニ

コトヲ監督局ニ御願ヒシテ居ル、是ハ一般
收稅吏ノ一般ノ觀念デアラウトスウ思フノ
デス、一ツハ待遇ガ惡イ爲ニ良イ人ヲ得ラ
レナイ、待遇ノ惡イ關係デ生活ニ困ル、片
方ニ於テハ法ノ不備カ又ハ内規ノ不備カ知
ラヌ、其ノ人ノ裁量ニ依ッテ或ハ稅ヲ低クク
スル、高クスルト云フコトガ許サレテ居ル
關係ヨリシテ、納稅者ガツイ收稅吏ニ縋ラ
ナケレバナラスト云フヤウナコトガ出来
ル、大阪ヤ神戸地方ニ於テ、收稅吏ノ瀆職
事件ガ起リマシタガ、其ノ内容ハ大シタモ
ノデハナイデセウ、ホンノ僅カノモノデアッ
タヤウニ聞イテ居ル、是ハ詰リ收稅吏ノ待
遇ノ惡イノト、其ノヤリ方ガ餘リ辛辣ナル
ガ爲ニ、納稅者ノ方デ苦シ紛レニサウ云フ
途ヲ逃ラナケレバナラヌノデハナイカト思
ヒマシテ、稅務行政ニ付テハ十分一つ改善
ヲスル餘地ガアルト思ヒマス、是ハ意見ノ
ヤウデアリマスケレドモ、此ノ際苦言ヲ呈
シテ置キマス、サウスルト、只今ノ御答辯
ニ依リマシテ、個人ノ減價償却ニ付テモ、
信用スペキ帳簿ヲ備ヘタ者ニ對シテハ相當
ノ償却ヲシテヤル、斯ウ云フコトニ承知致
シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(太田正孝君) 全部ノ統轄上ニ
於キマシテ困ルノデアリマスガ、左様ナ意
味デナク、本當ノ御心持ガ良ク稅ヲ取ルヤ
ウニ、サウシテ社會狀態、經濟狀態ニシック
リ合フヤウニ、本當ニ良イ稅ヲ取ル稅務官
吏ニシヨウト云フ意味ガアッテノ御忠告ハ
謹シテ承ッテ置キマス、只今ノ個人ニ對スル
減價償却ニ付テハ、先程申上ダシタヤウ
ニ、立派ナ帳簿ガゴザイマシテ、サウシテ
之ヲ示シテ吳レルト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、工場、器具、機械等ニ付テハ、
法人ニ做ッテ減價儘却ヲ認メテ行クコトニ
シタイト思ヒマス

○政府委員(太矢半次郎君) 先程カラ色々
橋本サンノ御話ガゴザイマシタ、此ノ際
私カラモ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、
個人ニ付テ減價償却ヲ認メルカドウカト云
フ點ニ付テ、衆議院ノ委員會デ相當質疑應
答ガアッタガ、ドウモ政府委員ノ言フコトハ
不可解デ要領ヲ得テ居ナイト云フコトデア
ルノデゴザイマス、是ハ誠ニ遺憾デハゴザ
ヤイマスト、少シク私共モ……

○橋本辰二郎君 サウハ言ハナイデスヨ
○政府委員(太田正孝君) 全部ノ統轄上ニ
於キマシテ困ルノデアリマスガ、左様ナ意
味デナク、本當ノ御心持ガ良ク稅ヲ取ルヤ
ウニ、サウシテ社會狀態、經濟狀態ニシック
リ合フヤウニ、本當ニ良イ稅ヲ取ル稅務官
吏ニシヨウト云フ意味ガアッテノ御忠告ハ
謹シテ承ッテ置キマス、只今ノ個人ニ對スル
減價償却ニ付テハ、先程申上ダシタヤウ
ニ、立派ナ帳簿ガゴザイマシテ、サウシテ
之ヲ示シテ吳レルト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、工場、器具、機械等ニ付テハ、
法人ニ做ッテ減價儘却ヲ認メテ行クコトニ
シタイト思ヒマス

リマスカラ、此ノ機會ニ一ツ御諒解ヲ得テ
ハ能ク分ッテ居リマスガ、脱稅スル者ガアル
トスレバ、ソレハ稅務官吏ノ責任ダト仰シ
隅カラ隅迄、塵一ツ残サズ調査ヲシテ居ル、
斯ウ云フ御話デアリマシタ、ソレハ一面カ
ラ考ヘマスレバ非常ニ有難イ御言葉デゴザ
イマスガ、其ノ背後ニハ必ズシモ御褒美ノ
言葉デハナカラウト存ジマス、實ハ稅務官
吏ノ増員五千人ト仰セラレマシタケレド
モ、約一千人程増員ニナッテ居リマス、併シ
ナガラ東京、大阪ノ如キ大都市ニ於キマシ
テハ、第三種所得稅、營業收益稅ノ納稅者
ニ付テハ無理モナイコトデアリマスガ、
自體ガ誠ニ不完全デアル、是ハ中小營業者
ニ付テハ無理モナイコトデアリマスガ、
不完全ナモノモ澤山ゴザイマス、從ヒマシ
テ、稅務行政ノ實際ノ實情カラ申シマス
ルト云フト、營業收益稅ノ調査ニ於キマシ
テハ、以前ニ於テハ、誠實ニ帳簿ヲ見セ
タ者ニ對シマシテハ、二割トカ三割ヲ斟
酌シテ課稅スルト云フコト迄ヤッテ居ツタ時
代モアルノデアリマス、是ハ稅法ヲマトモ
ニ適用スル上カラ言ヘバ、或ハ違法カモ知
レマセヌ、併シナガラ誠實ニ帳簿ヲ見セ
タ者デ實際純益ガ是レノアル、ソレヲ其
ノ儘課稅シテ、他ノ見セナイ者ニハ類推シ
テ課稅スル場合ニ、ドウシテモ之ヲ其ノ儘
カト云フコトヲ惧レテ居ル次第アリマ
ス、簡單ナ例ヲ申上ゲテモ貸地、貸家ノ調
査ノ如キモ毎年々々詳細ナ調査ガ出來テ居
リマセヌ、從ラテ新築家屋ヲ貸シテ居ルト云
フヤウナ調査モ、相當拔ケテ居ル事實ガア
ルノデゴザイマス、是ハ誠ニ遺憾デハゴザ
カラ、將來逐次帳簿ヲ見セテ誠實ナ申告ヲ
獎勵スヤウニシタイト云フ、過渡的ノ措置

トシテヤッテ居タノデアリマス、若シモ橋本サンノ仰シタル通り營業者ガサウシタ帳簿ヲ備付ケテ、之ヲ誠實ニ見セルト云フヤウナコトガアリマスレバ、決シテ斯ウ云フコトハ行ハレル筈ガナインデアリマス、事實ハサウ云フヤウナ狀況デアリマス、從ツテ個人ノ固定資產ニ對スル減價償却ヲ認メヤウト致シマシテモ、ナカ／＼計算ノ根據自體ガハッキリシナイカラ、認ヌニクイノデゴザイマス、是ガ將來各自ガ帳簿ノ記載モ正確ニナリ、誠實ナ申告モスルト云フ風ニ致シマスレバ、進ンデ法人ト同様ニ取扱ツテ行キタイト思ッテ居リマス、決シテ老獣デ彼此レ言葉ヲ濁シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、其ノ點ハ一ツ十分御了承ヲ願ヒマテハ法人ト同ジヤウニ扱ヒマス、ハッキリ申上ゲテ置キマス

○橋本辰二郎君 私ノ質問ハマダ續キマス

ガ、時間デゴザイマスカラ……
○委員長(子爵前田利定君) ドウデセウカ、少シ御辛抱願ヒマシテ、續ケテ、質疑ヲ終ルヤウニ促進シタイト思ヒマスガ……
○橋本辰二郎君 左様デゴザイマスカ、ソレデハ只今私ノ申シマシタコトニ付テノ御答辯ガアリマシタガ、六大都市ニ於キマシ

テハ御話ノ通リニ、マダ行届カナイ點ガアルト云フ御話ハ聞イテ居リマス、併シナガラ田舎ニ至リマシテハ、是ハ實ニ能ク調査ガ行届イテ居リマシテ、アナタノ御心配ニ云フコトハ行ハレル筈ガナインデアリマス、事實ハサウ云フヤウナ狀況デアリマス、從ツテ個人ノ固定資產ニ對スル減價償却ヲ認メヤウト致シマシテモ、ナカ／＼計算ノ根據自體ガハッキリシナイカラ、認ヌニクイノデゴザイマス、是ガ將來各自ガ帳簿ノ記載モ正確ニナリ、誠實ナ申告モスルト云フ風ニ致シマスレバ、進ンデ法人ト同様ニ取扱ツテ行キタイト思ッテ居リマス、決シテ老獣デ彼此レ言葉ヲ濁シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、其ノ點ハ一ツ十分御了承ヲ願ヒマテハ法人ト同ジヤウニ扱ヒマス、ハッキリ申上ゲテ置キマス

○橋本辰二郎君 個人ニ備ヘ付ケシムル帳

ガ出来ルト云フヤウナ有様デアルノデアリマス、又個人ノ帳簿ガ不完全ニシテドウモ仕方ガナイト云フコトハ、是モ御尤ノ點モアルト思ヒマスルガ、先ヅ租稅ヲ心持ヨク納メサセル方法トシテ、斯クノ如キ帳簿ヲ備ヘテ、斯ウ云フ點ヲ注意シテヤッテ、我々ヲシテ無理ニ課稅ヲサセナイヤウニ、又脫ノ帳簿ノ様式、記載方法等ヲアナタノ方デ御示シニナツテ、當業者ニソレヲ實行セシメルト云フ方法ヲ御執リニナツタラ、非常ニ双方トモ助カラウト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ御ヤリニナルト云フ御考ハアリマセヌ

○政府委員(大矢半次郎君) ソレハ誠ニ御カ、少シ御辛抱願ヒマシテ、續ケテ、質疑ヲ終ルヤウニ促進シタイト思ヒマスガ……

○橋本辰二郎君 左様デゴザイマスカ、ソ

レデハ只今私ノ申シマシタコトニ付テノ御

答辯ガアリマシタガ、六大都市ニ於キマシ

テハ御話ノ通リニ、マダ行届カナイ點ガアルト云フ御話ハ聞イテ居リマス、併シナガラ田舎ニ至リマシテハ、是ハ實ニ能ク調査ガ行届イテ居リマシテ、アナタノ御心配ニ云フコトデアリマスガ、二割程度ノ斟酌ヲスル行キタイト存ジマス、帳簿ノ點ニ付キマシテハ、衆議院ノ委員會ニ於テモ相當御意見モゴザイマシタシ、將來十分考究シテ見タシテ、頭ニ入レテ居ルノデアリマシテ、是ハ所謂細鱗毛漏ラサズシテ之ヲ網スルコトガ出來ルト云フヤウナ有様デアルノデアリマス、又個人ノ帳簿ガ不完全ニシテドウモ仕方ガナイト云フコトハ、是モ御尤ノ點モアルト思ヒマスルガ、先ヅ租稅ヲ心持ヨク納メサセル方法トシテ、斯クノ如キ帳簿ヲ備ヘテ、斯ウ云フ點ヲ注意シテヤッテ、我々ヲシテ無理ニ課稅ヲサセナイヤウニ、又脱ノ帳簿ノ様式、記載方法等ヲアナタノ方デ御示シニナツテ、當業者ニソレヲ實行セシメルト云フ方法ヲ御執リニナツタラ、非常ニ双方トモ助カラウト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ御ヤリニナルト云フ御考ハアリマセヌ

○政府委員(大矢半次郎君) ソレハ誠ニ御カ、少シ御辛抱願ヒマシテ、續ケテ、質疑ヲ終ルヤウニ促進シタイト思ヒマスガ……

○橋本辰二郎君 左様デゴザイマスカ、ソ

レデハ只今私ノ申シマシタコトニ付テノ御

答辯ガアリマシタガ、六大都市ニ於キマシ

モノヲ示シテモ實行シ得ナイ者モ相當多力ラウト存ジマスノデ、斯ウ云フ方面ニ對シラ行届イテ居リマシテ、アナタノ御心配ニナルヤウナコトハアリマセヌ、皆收稅吏ハ其ノ町村内ノ者ノ財產狀態ハモウ能ク知悉シテ、頭ニ入レテ居ルノデアリマシテ、是ハ所謂細鱗毛漏ラサズシテ之ヲ網スルコトガ出來ルト云フヤウナ有様デアルノデアリマス、又個人ノ帳簿ガ不完全ニシテドウモ仕方ガナイト云フコトハ、是モ御尤ノ點モアルト思ヒマスルガ、先ヅ租稅ヲ心持ヨク納メサセル方法トシテ、斯クノ如キ帳簿ヲ備ヘテ、斯ウ云フ點ヲ注意シテヤッテ、我々ヲシテ無理ニ課稅ヲサセナイヤウニ、又脱ノ帳簿ノ様式、記載方法等ヲアナタノ方デ御示シニナツテ、當業者ニソレヲ實行セシメルト云フ方法ヲ御執リニナツタラ、非常ニ双方トモ助カラウト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ御ヤリニナルト云フ御考ハアリマセヌ

○政府委員(大矢半次郎君) ソレハ誠ニ御カ、少シ御辛抱願ヒマシテ、續ケテ、質疑ヲ終ルヤウニ促進シタイト思ヒマスガ……

○橋本辰二郎君 左様デゴザイマスカ、ソ

レデハ只今私ノ申シマシタコトニ付テノ御

答辯ガアリマシタガ、六大都市ニ於キマシ

テハ御話ノ通リニ、マダ行届カナイ點ガア

モノヲ示シテモ實行シ得ナイ者モ相當多力

ラウト存ジマスノデ、斯ウ云フ方面ニ對シ

ラ行届イテ居リマシテ、是ハ實ニ能ク調査

ガ行届イテ居リマシテ、アナタノ御心配ニ

ナルヤウナコトハアリマセヌ、皆收稅吏ハ

其ノ町村内ノ者ノ財產狀態ハモウ能ク知悉

シテ、頭ニ入レテ居ルノデアリマシテ、是

ハ所謂細鱗毛漏ラサズシテ之ヲ網スルコト

ガ出來ルト云フヤウナ有様デアルノデアリ

マス、又個人ノ帳簿ガ不完全ニシテドウモ

仕方ガナイト云フコトハ、是モ御尤ノ點モ

アルト思ヒマスルガ、先ヅ租稅ヲ心持ヨク

納メサセル方法トシテ、斯クノ如キ帳簿ヲ

備ヘテ、斯ウ云フ點ヲ注意シテヤッテ、我々

ヲシテ無理ニ課稅ヲサセナイヤウニ、又脱

ノ帳簿ノ様式、記載方法等ヲアナタノ方デ

御示シニナツテ、當業者ニソレヲ實行セシメ

ルト云フ方法ヲ御執リニナツタラ、非常ニ双

方トモ助カラウト思ヒマスガ、サウ云フコ

トヲ御ヤリニナルト云フ御考ハアリマセヌ

却ツテ缺損ガ行ク、併シナガラ償却ヲ認メヌ

却ニ付テハ特ニ一ツ御同情ノ御取計ヒヲ願

ケル、斯ウ云フ非常ナ其處ニ不均衡ナ不公

平ナ課稅ヲ受ケルト云フコトモアリマスノ

レ、實際利益皆無ナルニモ拘ラズ課稅ヲ受

減ヲシヨウト云フヤウナ有様デアリマシテ、

此ノ規定ノ如キモノモ多少御考ニナリマセ

ヌト非常ニ酷ニナリマスガ、能ク遞信當局

若シクハ海軍當局等ト御協議ニナリマシテ、

此ノ船齡ヲ適當ニ一ツ御定メニナルコトヲ

私ハ御願ヒ致シマスガ、サウ云フ意思ガア

リマスカ

<p>○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ昨年四月以降多少償却年限ヲ短縮致シタノデゴザイマスガ、専個々ノモノニ付キマシテハ十分ニ再検討ヲ致シマシテ、成ルベク其ノ適切ヲ期シタイト存ジテ居リマス</p> <p>○委員長(子爵前田利定君) 橋本サンニチヨコト御諸リ致シマスガ、アナタノ御質問ハ……決シテ急速ニ片付ケタイト云フ意味デハナイノデスガ、モウ正午ヲ過ギテ居リマスカラ、若シ長イヤウデゴザイマンタラ一旦休憩ヲ願ッタ方ガ宜イカト思ヒマスガ……</p> <p>○橋本辰二郎君 チヨコト引續キマシテ五分バカリ御許シ願ヒタイ、ソレカラ此ノ船舶ハ二十五年ト云フコトニ御定メニナッテ居ルガ、新造船ハ二十五年デ償却ト云フコトニナリマスガ、中古船ニ付キマシテヘドウ云フ御取扱ニナツテ居リマスカ、例ヘバデスネ、新造船ノ命數ガ二十五年トスレバ、十箇年經過シタ中古船ヲ捨ヘタ場合ニ於キマシテハは十五箇年ト御決メニナルノデアリマセウカ</p> <p>○政府委員(大矢半次郎君) 耐久年數ヲ差引イテ計算致シマス、過渡期ニ於キマシテ耐久年數ガ違ツテ來マスカラ、ソレヲ差引イテ計算シテ行キタイト思ヒマス</p>
<p>○橋本辰二郎君 サウ致シマスト、二十五箇年ト御定メニナツテ居リ、マス新造船ノ命數ヲ、サウスルト新造後十箇年ヲ經過シタ船デアレバ、ソレヲ十五箇年トシテ減價償却ヲ御認メニナルノデアリマスカ</p> <p>○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイマス</p> <p>○橋本辰二郎君 サウ致シマスト、假ニ二十年經過シタ船デアレバ、五箇年分ダケヲ残シテ、之ニ依ツテ償却率ヲ御認メニナリマスカ</p> <p>○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイマス</p> <p>○橋本辰二郎君 左様デゴザイマスカ、ソレカラ此ノ船舶ハ二十五年ト云フコトニ承認メニナリマス、近來船主ノ方デ税務署ニ非常ニ抗議ヲ致シマシタ結果トシテ、税務署ノ方ハ折レテ來マシテ多少讓歩シタト云フコトデアリマス、併シナガラ今尙局長ノ仰セニナリマシタヤウナコトデナクシテ、レハ非常ニ結構ナコトヲ承リマシタ、然ルニ神戸ニ於キマシテノ實例ヲ申上ダマスト、只今御答辯ニナリマシタヤウナ趣旨ニ依ツテ、今後船舶ノ償却率ヲ定メルト云フコトヲ此ノ船舶關係ノ各都市ニ御通知ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス</p> <p>○政府委員(大矢半次郎君) 原則ハ先程申上ダ通リデゴザイマス、具體的ノ事實ニ付キマシテハ尙詳細取調べテ適當ニ處置致シタイト思ヒマス</p> <p>○橋本辰二郎君 償却ニ關スル點ハ是デ終ソレデ神戸ノ方デシマシタ何ニ依リマスト</p>
<p>○橋本辰二郎君 私ハ繰越償却ノコトニ付キマシテ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス、御承知ノ通リ事業界ト云フモノハ非常ニ波ガ上ガマセヌガ、サウ云フコトガアルトスレバ非常ニ困リマス、近來船主ノ方デ税務署ニ非常ニ抗議ヲ致シマシタ結果トシテ、税務署ノ方ハ折レテ來マシテ多少讓歩シタト云フコトデアリマス、併シナガラ今尙局長ノ仰セニナリマシタヤウナコトデナクシテ、レハ非常ニ結構ナコトヲ承リマシタ、然ルニ神戸ニ於キマシテノ實例ヲ申上ダマスト、只今御答辯ニナリマシタヤウナ趣旨ニ依ツテ、今後船舶ノ償却率ヲ定メルト云フコトヲ此ノ船舶關係ノ各都市ニ御通知ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス</p> <p>○政府委員(大矢半次郎君) 原則ハ先程申上ダ通リデゴザイマス、具體的ノ事實ニ付キマシテハ尙詳細取調べテ適當ニ處置致シタイト思ヒマス</p> <p>○橋本辰二郎君 償却ニ關スル點ハ是デ終ソレデ神戸ノ方デシマシタ何ニ依リマスト</p>
<p>○橋本辰二郎君 一旦休憩致シマス、午後零時十五分休憩 午後一時四十分開會</p> <p>○委員長(子爵前田利定君) 是カラ會議ヲ開キマス</p> <p>○橋本辰二郎君 私ハ繰越償却ノコトニ付キマシテ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス、御承知ノ通リ事業界ト云フモノハ非常ニ波ガ上ガマセヌガ、サウ云フコトガアルトスレバ非常ニ困リマス、近來船主ノ方デ税務署ニ非常ニ抗議ヲ致シマシタ結果トシテ、税務署ノ方ハ折レテ來マシテ多少讓歩シタト云フコトデアリマス、併シナガラ今尙局長ノ仰セニナリマシタヤウナコトデナクシテ、レハ非常ニ結構ナコトヲ承リマシタ、然ルニ神戸ニ於キマシテノ實例ヲ申上ダマスト、只今御答辯ニナリマシタヤウナ趣旨ニ依ツテ、今後船舶ノ償却率ヲ定メルト云フコトヲ此ノ船舶關係ノ各都市ニ御通知ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス</p> <p>○政府委員(大矢半次郎君) 現在ノ扱ヒハ仰セノ通り過去ニ於ケル償却未濟額デアリルコトデゴザイマセウカ</p> <p>○政府委員(大矢半次郎君) 現在ノ扱ヒハ仰セノ通り過去ニ於ケル償却未濟額デアリマシテモ一定ノ制限範囲デゴザイマスレバ、此ノ後ニ於キマシテ利益ガ相當アツタ場合</p>

ニ償却シタ場合モ之ヲ認メルト云フコトニ
ナツテ居リマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御答辯ハソレハ普通ノ法人ニ於テモ亦ハ同族會社ニ於テモ、若シクハ帳簿ノ整頓シテ居ル個人ノ場合ニ於テモ適用セラレルモノデアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 原則トシテ總テノモノニ通ジテ認メラルベキモノデゴザイマス、唯同族會社等ニ於キマシテハ、所得稅法ニモ特別ノ規定ガアリマシテ、特ニ利益調節ノ爲ニ工作ヲ施シテ居ルト認メラ

レルヤウナ場合ニハ一般ノ會社ト違ッタ取扱ヲ受ケル場合ガナキニシモ非ズデアリマス、原則トシテハ總テノ會社ニ通ジテ適用ガアルノデアリマス、ソレカラ個人ニ付キマシテハ、從來減價ノ事實著シクシテ、而シテ帳簿ノ記載ニ依リテ減價償却ガハッキリシテ居ル場合ニ認メルト云フヤウナ扱ヒニナツテ居ル結果ト致シマシテ、多少法人トノ間ニ於テ實際ノ扱ヒガ違ッテ居ルカト存ジマス、是モ將來帳簿組織ノ完備等ニ依リマシテ、事實ガハッキリシテ參リマスレバ、同一ノ扱ヒヲシテ行キタイト考ヘマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御答辯中同族會社ニ對スル工作ト云フ御話ガアリマシタガ、モウドウモ私少シ了解致シ兼ネマスルガ、モウ

○橋本辰二郎君 繼越償却デアリマス

○政府委員(大矢半次郎君) 繼越損金ト云フヤウナ御話デゴザイマスガ……

少シ具體的ニ御説明ヲ御願ヒ致シタイモノト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 所得稅法ノ第七十三條ノ二、「同族會社ノ行爲又ハ計算ニシテ其ノ所得又ハ株主社員若ハ之ト親族、使用人等特殊ノ關係アル者ノ所得ニ付所得

稅逋脱ノ目的アリト認メラルモノアル場合ニ於テハ其ノ行爲又ハ計算ニ拘ラス政府ハ其ノ認ムル所ニ依リ此等ノ者ノ所得金額ヲ計算スルコトヲ得」ト云フ規定ガゴザイマスガ、從ヒマシテ一例ヲ申上ゲマスト、同

族會社ガ毎年一定ノ償却ヲヤッテ來テ居ルガ、或年ニ於キマシテ、特別ノ事由ニ依ッテ缺損ヲ生ジタト云フ場合ニ態々償却ヲ全然ゼズニ置ク、サウシテズット後ニナツテ特殊ノ事由ニ依ッテ巨額ノ利益ヲ擧ゲタ事業年度ニ一舉ニシテ償却ヲシヨウト云フヤウナ計算ヲヤッテ居ルヤウナ場合ニハ時トシテ否認セラレルコトガアルノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 ソレデハ繰越損金モ適度ノ償却ヲ爲シタ場合ニ於テハ是ハ御認メニナルト解シテ宜シイノデゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 繼越損金ト云フヤウナ御話デゴザイマスガ……

適度ノモノデアリマスレバ、同族會社ト雖モ之ヲ認メルノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 適度デアルカドウカト云フ判断ハ政府トシテハアリマスガ、事實稅務署デヤルコト思ハレマスガ、左様デゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ一般ノ法人ニ付テ實際認メテ居ル範圍ト同ジデゴザイマシテ、同族會社ニ付テ特別ノ償却是認範圍ト云フモノヲ設ケテ居ル譯デハゴザイマセヌ

○橋本辰二郎君 次ニ移リマスガ、稅金引當金トシテ積立ヲ行フ場合ガ多イノデゴザイマスガ、御承知ノ通リニ稅金ハ其ノ年ニ徴收セラレルノデナクシテ決算期ノ翌年ニ微收セラレルノデアリマスガ、營業狀態ニ付テハ盛衰ノアルコトハ先程申上ゲタ通りデアリマシテ、時ニハ非常ナ好況トカ若シクハ好イ影響ヲ受ケマシテ、多額ノ利益ヲ上御廢シニナリマシテ、稅金引當金ヨリ次ノ期ニ於テノ納稅ヲ其ノ中カラ支出スルト云フコトデアレバ是ハ何トカ一ツ御考ヲ願フコトハ出來マスマイカ

○政府委員(大矢半次郎君) 稅金ハ實際支出シタ時ノ損金ニ見ルノガ本則デゴザイマス、從テ例ヲ擧ゲマスレバ、昭和十二年ノ下期ニ於キマシテ昭和十二年上期以前ノ事業年度ノ所得ニ對スル所得稅、臨時利得稅ヲ支出致シマスレバ是ハ昭和十二年上期前

シテ稅金ノ引當金トシテ相當積立ツルト云フコトハ納稅義務ヲ果ス上ニ於テモ最モ望マシイコトト思ヒマスルガ、此ノ頃ノ御取扱方ニ於キマシテハ稅金引當金トシテ積立テタモノモ是ハ利益處分ナリトシテ課稅セラレルト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ少シク無理デハナカラウカト思ヒマス、此ノ稅金ノ引當トシテ積立テタルモノヲ翌年度ノ課稅ヲ受ケタ時ニ其ノ積立金ノ中カラ支出スルト云フコトト、若シクハ翌年度ノ利益ノ中ヨリ納入スルト云フコトト、結果ハ別ニ一年位ノ違ヒノナイコトデアッテ、サウンテ此ノ政府ノ方ノ收入モ確實ニナル、納稅者ニ於テモ非常ニ樂ニナルト云フ是ハ一舉兩得ノ方法デアルト思ヒマスルガ、之ヲ利益處分トシテ課稅ヲスルト云フコトハ御廢シニナリマシテ、稅金引當金ヨリ次ノ期ニ於テノ納稅ヲ其ノ中カラ支出スルト云フコトデアレバ是ハ何トカ一ツ御考ヲ願フコトハ出來マスマイカ

ノ經費ト見ナイデ、昭和十二年下期ノ經費ニ見ルノデゴザイマス、從ヒマシテ今御話ノ如ク昭和十二年下期ノ所得ニ對スル所得稅、臨時利得稅等ヲ昭和十二年下期ノ經費ニ見マスルト、一事業年度ニ於キマシテ、翌事業年度分ノ稅金ヲ損金ニ見ルト云フ結果ニモナルデハナカラウカト存ジマス、唯實際ノ扱ヒハ、翌事業年度ニ於テ實際稅ヲ納メナクトモ、適當ノ前期分ニ對スル稅金引當金ヲ積立テマスレバ、是ハ其ノ翌期ノ損金ニ見ルト、斯ウ云フ扱ヒニシテ居ルノデゴザイマス、元來法人ニ對スル稅ヲ經費ニ見ルカ、或ハ益金處分ニ見ルカト云フノハ、立法上色々違ツテ居ル例モアルノデゴザイマスガ、我ガ國ニ於キマシテハ、法人ノ損益ハ、其ノ期ニ入ツテ來タ總收入カラ其ノ期ニ出テ行ッタ總支出ヲ引イタ殘額ヲ益金ニ見ルト、斯ウ云フ方法ニ依ッテ居リマスルイマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御説明ハ現在行ッテ居ル手續、其ノ方法ニ付テノ御説明デアリマシテ、ソレハ其ノ通リデアリマスルガ、先程私ノ申上ゲタヤウニ、當年度ノ所得ノ決定額ハ翌年度ノ經費トシテ支出スルト云フコトニナリマシテ、翌年度ニ於テ支出シタダケ、ソレダケ利益ガ減ルノデアリマス、サウスルト、ソレガ又其ノ翌年度ニ見マスルト、一事業年度ニ於キマシテ、翌事業年度分ノ稅金ヲ損金ニ見ルト云フ結果ニモナルデハナカラウカト存ジマス、唯實際ノ扱ヒハ、翌事業年度ニ於テ實際稅ヲ納メナクトモ、適當ノ前期分ニ對スル稅金引當金ヲ積立テマスレバ、是ハ其ノ翌期ノ損金ニ見ルト、斯ウ云フ扱ヒニシテ居ルノデゴザイマス、元來法人ニ對スル稅ヲ經費ニ見ルカ、或ハ益金處分ニ見ルカト云フノハ、立法上色々違ツテ居ル例モアルノデゴザイマスガ、我ガ國ニ於キマシテハ、法人ノ損益ハ、其ノ期ニ入ツテ來タ總收入カラ其ノ期ニ出テ行ッタ總支出ヲ引イタ殘額ヲ益金ニ見ルト、斯ウ云フ方法ニ依ッテ居リマスルイマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御説明ハ現在行ッテ居ル手續、其ノ方法ニ付テノ御説明デアリマシテ、ソレハ其ノ通リデアリマスルガ、先程私ノ申上ゲタヤウニ、當年度ノ所得ノ決定額ハ翌年度ノ經費トシテ支出スルト云フコトニナリマシテ、翌年度ニ於テ支出シタダケ、ソレダケ利益ガ減ルノデアリマス、サウスルト、ソレガ又其ノ翌年度ニ見マスルト、一事業年度ニ於キマシテ、翌事業年度分ノ稅金ヲ損金ニ見ルト云フ結果ニモナルデハナカラウカト存ジマス、唯實際ノ扱ヒハ、翌事業年度ニ於テ實際稅ヲ納メナクトモ、適當ノ前期分ニ對スル稅金引當金ヲ積立テマスレバ、是ハ其ノ翌期ノ損金ニ見ルト、斯ウ云フ扱ヒニシテ居ルノデゴザイマス、元來法人ニ對スル稅ヲ經費ニ見ルカ、或ハ益金處分ニ見ルカト云フノハ、立法上色々違ツテ居ル例モアルノデゴザイマスガ、我ガ國ニ於キマシテハ、法人ノ損益ハ、其ノ期ニ入ツテ來タ總收入カラ其ノ期ニ出テ行ッタ總支出ヲ引イタ殘額ヲ益金ニ見ルト、斯ウ云フ方法ニ依ッテ居リマスルイマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御説明ハ現在行ッテ居ル手續、其ノ方法ニ付テノ御説明デアリマシテ、ソレハ其ノ通リデアリマスルガ、先程私ノ申上ゲタヤウニ、當年度ノ所得ノ決定額ハ翌年度ノ經費トシテ支出スルト云フコトニナリマシテ、翌年度ニ於テ支出シタダケ、ソレダケ利益ガ減ルノデアリマス、サウスルト、ソレガ又其ノ翌年度ニ見マスルト、一事業年度ニ於キマシテ、翌事業年度分ノ稅金ヲ損金ニ見ルト云フ結果ニモナルデハナカラウカト存ジマス、唯實際ノ扱ヒハ、翌事業年度ニ於テ實際稅ヲ納メナクトモ、適當ノ前期分ニ對スル稅金引當金ヲ積立テマスレバ、是ハ其ノ翌期ノ損金ニ見ルト、斯ウ云フ扱ヒニシテ居ルノデゴザイマス、元來法人ニ對スル稅ヲ經費ニ見ルカ、或ハ益金處分ニ見ルカト云フノハ、立法上色々違ツテ居ル例モアルノデゴザイマスガ、我ガ國ニ於キマシテハ、法人ノ損益ハ、其ノ期ニ入ツテ來タ總收入カラ其ノ期ニ出テ行ッタ總支出ヲ引イタ殘額ヲ益金ニ見ルト、斯ウ云フ方法ニ依ッテ居リマスルイマス

本人ニ能ク會得スルヤウニ深切ニ説明ヲシテ、納稅者ヲ納得セシムルト云フヤウナ方

度ハ非常ニドウモ横柄ニシテ、納稅者ニ對シマシテハ一種ノ反感ト脅威ヲ感ズルト云

フヤウナコトガアリマシテ、納稅觀念ヲ向

上スル上ニ於テ誠ニ遺憾ト思ヒマスノデ、此ノ點ニ付キマシテ特ニ御注意ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス、ソレカラチヨット是ハ政務次官ニ御尋ヲ致シテ置キマスガ、船舶ノ稅金ハ地方稅ニナツテ居リマシテ、各府縣トモ其

ノ稅率ガ異ツテ居リマス、是ハ今度觀覽稅ノ如キ地方稅ヲ國稅ニ移サレマシタノト同ジ

ヤウニ、國稅トシテ之ヲ全國的ニ統一セラ

レル方ガ大變宜クハナカラウカト斯ウ考ヘラレマスルガ、他日總括の稅法ノ改正ノアル場合ニ於キマシテハ、其ノ點ヲ考慮セ

テ、一ツ國稅ニ之ヲ移スト云フコトヲ私ハ希望致シテ居リマスルガ、政務次官ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 現在道府縣ノ雜

種稅ハ大變ニ多ウゴザイマシテ、昭和十二年度ニ於キマシテモ法定課目ガ十五アリマシテ、其ノ以外ニ特殊課目ガ十巴カリゴザ

イマス、今御示ノ船稅ニ付キマシテハ四十

七道府縣ニ行ハレテ居ルノデ、此ノ雜種稅

ノ整理ト云フコトハ先般ノ交付金ノ時ニモ問題ニナリマシタノデアリマスガ、一般的

法ヲ採ツテ貰ヒタイ、只今迄ノ稅務署ノ態度ハ非常ニドウモ横柄ニシテ、納稅者ニ對シマシテハ一種ノ反感ト脅威ヲ感ズルト云

フヤウナコトガアリマシテ、納稅觀念ヲ向

上スル上ニ於テ誠ニ遺憾ト思ヒマスノデ、此ノ點ニ付キマシテ特ニ御注意ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス、ソレカラチヨット是ハ政務次官ニ御尋ヲ致シテ置キマスガ、船舶ノ稅金ハ地方稅ニナツテ居リマシテ、各府縣トモ其

ノ稅率ガ異ツテ居リマス、是ハ今度觀覽稅ノ如キ地方稅ヲ國稅ニ移サレマシタノト同ジ

ヤウニ、國稅トシテ之ヲ全國的ニ統一セラ

レル方ガ大變宜クハナカラウカト斯ウ考ヘラレマスルガ、他日總括の稅法ノ改正ノアル場合ニ於キマシテハ、其ノ點ヲ考慮セ

テ、一ツ國稅ニ之ヲ移スト云フコトヲ私ハ希望致シテ居リマスルガ、政務次官ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 現在道府縣ノ雜

種稅ハ大變ニ多ウゴザイマシテ、昭和十二年度ニ於キマシテモ法定課目ガ十五アリマシテ、其ノ以外ニ特殊課目ガ十巴カリゴザ

イマス、今御示ノ船稅ニ付キマシテハ四十

七道府縣ニ行ハレテ居ルノデ、此ノ雜種稅

ノ窓口事務ト申シマスカ、第一線ニ立ツテ居ル者ハ、納稅者ニ對シテ出來ルダケ懇切ニシテ、サウシテ納稅ノ事務ニ對シテ十分御

了解ヲ得ルヤウニシナケレバナラヌト云フコトヲ、每々私共強ク之ヲ申シテ居ルノデ

ゴザイマス、唯第三種所得稅ノ決定時期等ニ於キマシテハ、一時ニ多數ノ納稅者ニ對

シテ決定通知ヲヤル、內容ガ能ク分ラナイ者ガ澤山窓口ニ來ラレル、サウ云フ場合ニ

ノデアリマスガ、極メテ稀ナ例デアリマスガ、私ノ方ニ斯ウ云フ事實ガアルノデアリ

マス、昭和五年ニ丁度火災ニ遭ッタノガ二軒、相當ノ吳服商ガアルノデアリマスガ、丁度

モノデ、ソレラ其ノ年ハ三分ノ一ニ減ラン

時トシテ、應對ニ稍、當ヲ得ナイト云フ場合ガナキニシモ非ズデゴザイマス、殊ニ昨年

臨時租稅增徵法等ノ施行ニ伴ヒマシテ、相

加シテ結局元ノ通リニナツタ、處ガソレガ丁

タケレドモ、次ノ年度カラ二割三割ヅ、増

度稅法ノ數字ニ嵌ツテ利得稅ヲ、何等事變ニ

等モゴザイマシテ、マダソレ等ノ者ガ十分

影響ガナイニモ拘ラズ納メテ居ル、而モ地

事員モアリマスルノデ、是等ノ者ノ指導養成ニ注意ヲ致シマシテ、成ルベク御趣旨ニ

副フヤウニ致シマシタノデアリマスガ、其ノ

成ニ注意ヲ致シマシテ、成ルベク御趣旨ニ

税制改革ヲスル時ニ於テハ、勿論研究問題

トシテ考ヘテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 稅務署ノ納稅者ニ對スル應對ニ付キマシテ色々御注意ヲ受ケマシタ、無論私ノ方ト致シマシテモ同

感ノ點ガ多々アルノデゴザイマス、稅務署

ノ窓口事務ト申シマスカ、第一線ニ立ツテ居

ル者ハ、納稅者ニ對シテ出來ルダケ懇切ニシテ、サウシテ納稅ノ事務ニ對シテ十分御

了解ヲ得ルヤウニシナケレバナラヌト云フコトヲ、每々私共強ク之ヲ申シテ居ルノデ

ゴザイマス、唯第三種所得稅ノ決定時期等ニ於キマシテハ、一時ニ多數ノ納稅者ニ對

シテ決定通知ヲヤル、內容ガ能ク分ラナイ者ガ澤山窓口ニ來ラレル、サウ云フ場合ニ

ノデアリマスガ、極メテ稀ナ例デアリマスガ、私ノ方ニ斯ウ云フ事實ガアルノデアリ

マス、昭和五年ニ丁度火災ニ遭ッタノガ二軒、相當ノ吳服商ガアルノデアリマスガ、丁度

テ御考ガナイモノデアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 之ハ臨時利得

稅立法ノ當初ニモ大分問題ニナツタ點デゴ

ザイマス、政府ノ原案ニ於キマシテハ、昭

和五年六年ノ二箇年ヲ基準年度ニ取りマシ

テ、課稅年度トノ差額ヲ見ルト云フ風ニナッ

テ居ルノデアリマスルガ、議會ニ於テ修正

セラレマシテ、昭和四年モ加ハリマシテ此

ノ三箇年ノ平均ヲ基準ニ取り、從ヒマシテ

其ノ年ノ特殊事情ハ之ニ依ツテ餘程緩和セ

ラレテアルノデゴザイマス、尙法人ニ於キ

ニ對シテ課稅スルノハ至極宜イコトト思フ

ノデアリマスガ、極メテ稀ナ例デアリマス

ガ、私ノ方ニ斯ウ云フ事實ガアルノデアリ

ニナリマシタ前ノ三箇年トハ其ノ基準ノ年

ノ立方ガ違ツテ居リ、從ツテ此ノ度ノ事變利得ニ於キマシテハ仰セノ點ハ救ヒ得ラレルコトカト存ジマス

○大和田健三郎君 モウ一ツ伺ヒタイノハ、

物品稅ノ第三種ノ酒デアリマスガ、此ノ酒ハ査定ヲ受ケル時ハ桶デ蒸溜ニ依ツテ概目ヲ出シ、實際販賣スル時ニハ殆ド看貫ニ依ツテ販賣シテ居ル、其ノ歩合ガ庫ニ依ツテ違フノデゴザイマス、是ガ取扱ニ付テハ非常ニ當業者モ迷惑シナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、元ノ馬場案ノ庫出稅ノ時ニハ査定石數ヲ以テ押ヘテ、當業者ノ申告ニ依ツテ課稅シテ行ツテ、最後ノ年度ノ終ヒニ残リヲ徵收スルト云フヤウニシタラ何等ノ手數モナク、都合好ク行クノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ度ノ酒稅ニ付キマシテモ、物品稅ノ一種トシテ課稅スルノデアリマスガ、是ハ所謂馬場增稅案ノ時トハ違ヒマシテ、總體ノ酒造稅ニ對スル割合ハ約一割程度ノモノデゴザイマス、施行期モ短期間ノモノデ臨時的ノモノデゴザイマスルシ、他ノ物品稅トノ權衡モゴザイマスルノデ、實際製造場ヲ出ル時ノ數量ニ依ルト、斯ウ云フコトニ致シタ次第デゴザイマス

○大和田健三郎君 サウシマスト、今後若シ酒造稅ニ異動ガアル場合ニハ、サウ云フ點ヲ一つ御考慮願ヒタイト思フ次第、ゴザ

イマス

○政府委員(大矢半次郎君) 御尋ネノ點ベ、將來酒造稅法ヲ改正致シマシテ、造石課稅ヲ廢メテ庫出シ課稅ニスル場合ニハ、馬場增稅案ノ時ト同様ノ趣旨ノコトヲ考慮シタナラバドウカト云フ點カト存ジマス、是ハ將來一般的稅制整理ヲ行ヒマスルニ當リマシテ造石課稅ヲ廢止シテ庫出課稅ニスルカドウカト云フコトハ、一ツノ研究問題デ、今遽ニ是ガ可否ヲ申上げ兼ネマスガ、假ニ若シモ將來庫出課稅ニ改メルト云フコトニナリマス場合ニハ、十分新シイ問題トシテ考究シタイト存ジマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ度ノ酒稅七十一條、此ノ衆議院ノ修正ハ、原案ヨリ付キマシテモ、物品稅ノ一種トシテ課稅スルノデアリマスガ、是ハ所謂馬場增稅案ノ時トハ違ヒマシテ、總體ノ酒造稅ニ對スル割合ハ約一割程度ノモノデゴザイマス、施行期モ短期間ノモノデ臨時的ノモノデゴザイマスルシ、他ノ物品稅トノ權衡モゴザイマスルノデ、實際製造場ヲ出ル時ノ數量ニ依ルト、斯ウ云フコトニ致シタ次第デゴザイマス

ラウト存ズルノデアリマスルガ、唯此ノ理論ヲ貫徹致シマスレバ、中小ノ小賣商店ノ持ツ點ヲ一つ御考慮願ヒタイト思フ次第、ゴザテ居ルモノニ付キマシテモ、一々調査ヲシテ課稅ヲシナケレバナラヌト云フコトニナ

イマス

○政府委員(大矢半次郎君) 御尋ネノ點ベ、アリマスルノデ、成ルベク中小ノ小賣商店ノ持ツテ居ルノニ對シテハ課稅ヲシナトイ併シナラバドウカト云フ點カト存ジマス、是ハ將來酒造稅法ヲ改正致シマシテ、造石課稅ヲ廢メテ庫出シ課稅ニスル場合ニハ、馬場增稅案ノ時ト同様ノ趣旨ノコトヲ考慮シタナラバドウカト云フ點カト存ジマス、是ハ將來一般的稅制整理ヲ行ヒマスルニ當リマシテ造石課稅ヲ廢止シテ庫出課稅ニスルカドウカト云フコトハ、一ツノ研究問題デ、今遽ニ是ガ可否ヲ申上げ兼ネマスガ、假ニ若シモ將來庫出課稅ニ改メルト云フコトニナリマス場合ニハ、十分新シイ問題トシテ考究シタイト存ジマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ度ノ酒稅七十一條、此ノ衆議院ノ修正ハ、原案ヨリ付キマシテモ、物品稅ノ一種トシテ課稅スルノデアリマスガ、是ハ所謂馬場增稅案ノ時トハ違ヒマシテ、總體ノ酒造稅ニ對スル割合ハ約一割程度ノモノデゴザイマス、施行期モ短期間ノモノデ臨時的ノモノデゴザイマスルシ、他ノ物品稅トノ權衡モゴザイマスルノデ、實際製造場ヲ出ル時ノ數量ニ依ルト、斯ウ云フコトニ致シタ次第デゴザイマス

○大和田健三郎君 此ノ修正ノ通リニスレバ、金額ノ如キモ、若シクハ本種國稅ニ付テモウ少シ下ゲヨウト云フ御考ハゴザイマセヌデセウカ

イマス

○政府委員(大矢半次郎君) 政府ニ於キマシテハ原案ガ良イト思ッテ居リマスルノデ、衆議院ノ修正ニ依ツテ更ニ此ノ免稅點ヲ引キ下ゲヨウト云フ考ハ、今ノ所持ツテ居リマセヌ

○政府委員(大矢半次郎君) 私ノ質問ハソレダケデ、小ノ當業者ニ對シテ聊カ酷ノ感モアリマスケレドモ、是ハ所得稅ノ免稅點ヲ設ケタノヤ、相續稅ノ免稅點ヲ設ケタノト全然性質ノ違フモノデアリマシテ、寧ロ中小ノ者ニ對シテモ課稅シテモ宜シイガ、マア其處迄行クノハ見合セヨウト云フノデ、或程度以

上ノ大キナ者ニ對シテハ原則ニ依ツテ總テ課稅シテヤルベシト、斯ウ考ヘタ次第デゴザイマス、併シ衆議院ニ於キマシテハ、ソレデハ二者ノ間ニ權衡ヲ得ナイ、一定金額迄ハ總テ控除主義ニ依ツテヤルベキダト云フ

○政府委員(大矢半次郎君) 稅務署ノ免許デゴザイマス

○森平兵衛君 稅務署ト申シマスルト、其ノ管轄區域ノ稅務署へ届ケ出マシテ、其ノ免許ヲ受ケルト、斯ウ云フ意味デゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイマス

○森平兵衛君 而シテ此ノ爲ニ一旦免許ヲ受ケマシタ者ガ相續ヲシタ場合、或ハ又他

ニ其ノ免許ノ權ト申シマスカ、之ヲ讓渡ス
ト云フコトガ出來ルノデアリマスカ、此ノ
二點ヲ伺ヒマス、詰リ相續人ノ權利ガ繼承
出來ルヤ否ヤ、又他人ニ此ノ販賣ノ免許權
ヲ讓渡スルコトガ出來ルカドウカト云フコ
トデアリマス

○政府委員(大矢半次郎君) 相續ノ場合ニ
ハ、申告ニ依ッテ認メテ行キタイト存ジテ居
リマス、ソレカラ他人ニ讓渡シタ場合ニハ、
新規免許ノ扱ヒヲシテ、免許ノ許否ハ新シ
イ見地ニ立ヅテ決メタイト存ジマス

○森平兵衛君 只今主税局長ノ御話デハ、
讓渡ト云フモノハ任意ニ出來ナイ、斯ウ云
フ解釋ノヤウニ思フノデアリマス、新シク
免許ヲ願ハナケレバナラヌト云フヤウナ御
話デゴザイマスガ、大體此ノ免許ノ標準ト
云フモノハ、ドウ云フ所ヲ標準トシテ免許
ヲ爲サルノデアルカ、或ハ地域トシテ免許
ヲ爲サルカ、其ノ場所、色々ナコトガアリ
マセウガ、大體ノ基準デスネ、基準ハ、一
町内ニ一軒トカ、或ハ煙草販賣業デモ一町
内ニ二軒三軒アル所モアリマス、大體ドウ
云フコトヲ基準トシテ稅務署デ御許シニナ
ル御方針デアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ昭和十二
年十一月一日ノ現在デ販賣業ヲ營ンデ居ル

者ハ、本法施行ノ後一箇月以内ニ申告ヲス
レバ、免許ヲ受ケタ者ト看做スト云フ扱ヒ
ニ致スノデ、既得權ト申シマスカ、全國ニ
於テ二十數萬ノ營業者ニ對シマシテハ、其
ノ儘ニ現在ノ營業ヲ認メテ行ク積リデゴザ
イマス、ソレカラ將來ノ新規免許ニ付キマ
シテハ、今御示ノ近傍ノ販賣業ヲ營ンデ居
ルモノノ距離ト云フモノモ一ツノ重要ナ資
料デゴザイマスルノデ、之モ其ノ周圍ノ情
況ニ依リマシテ、必ズシモ距離何十間以内
デナケレバナラヌト云フ制限モ畫一的ニハ
出來ナイカト存ジマスルガ、本法施行ノ實
際ノ情況ヲ能ク調査致シマシテ、各地ノ實
情ニ適スル標準ヲ立テ行キタイト存ジマ
ス、尙本制度ヲ設ケマス理由ハ酒稅確保ニ
アルノデゴザイマシテ、從ツテ之ニ抵觸スル
嫌ノアルモノニ對シテハ、免許ノ申請ヲシ
テ來テモ許サヌ積リデゴザイマス、例ヘバ
過去ニ於キマシテ酒稅ニ付テ色々反則ヲヤッ
タモノデアルトカ、資力薄弱ニシテ酒稅ノ
轉嫁其ノモノガ思フヤウニ行カナイト思ハ
ル、モノ、或ハ又何カノ事由ニ依リマシテ
販賣業ノ免許ヲ一旦取消サレタモノガ間モ
ナク免許ヲ申請シテ來タト云フヤウナ場合
ル御方針デアリマスカ

○森平兵衛君 斯ウ云フコトヲ例證ヲ舉ゲ
賣シテ幾分カラ得テ、ソレデ他ニ移轉致シタ
イト云フコトガ、隨分間々アルノデアリマ
ス、サウ云フ場合ニハ他ニ於テ大シタ差支
ガナカツタナラバ、之ヲ御認メニナルノデ
アリマスカドウカ、全然サウ云フモノハ認
メナイ、斯ウ云フ御方針デアリマスカ、周
圍ノ事情ニ依リマシテ認メテモ宜イト、斯
ウ云フ御考デアリマスカ、承リタイ

○政府委員(大矢半次郎君) 全ク新規ノ免
許ノ場合トハ多少趣ヲ異ニ致シマスカラ、
今仰セノアリマシタヤウナ場合ニハ免許ニ
付テ十分考慮スル餘地ガ一般ノ場合アルト
存ジマス、併シ其ノ場合デモ新規免許トシ
テ扱フ外ハナイノデゴザイマス

○森平兵衛君 従來酒ニ對シマシテモ、各
地ニ同業組合ト云フモノガアリマシテ、相
當ノ價格ノ統制トカ、色々ナコトヲヤッテ居
リマス、近頃ハ又商工省ノ御方針ニ依リマ
スカ

○政府委員(大矢半次郎君) 七十六條ニ
「本法ハ支那事變終了後其ノ翌年十二月三十
一日迄ニ之ヲ廢止スルモノトス」トゴザイ
マス、從ツテ一年限リデ廢止スル積リハゴザ
イマセヌ

○森平兵衛君	此ノ支那事變終了後ト云フ 支那事變ノ終了ト云フコトハ、ドウ云フコト トデ終了シタカト云フコトヲ認メルノデアリマスカ
○政府委員(大矢半次郎君)	是ハ既ニ昨年 御協賛ヲ得テ實施シテ居リマスル臨時資金 調整法、臨時輸出入品措置法等ニモアル字 句デゴザイマシテ、支那事變ガ終了スルト 云フコトニ付キマシテハ、閣議デ決定ヲ致 シ、上奏御裁可ヲ經テ發表スル筈ニナッテ居 リマス、ソレニ依ッテ事變ノ終了ガ明カニ ナルノデゴザイマス
○森平兵衛君	物品稅ノコトデ御伺フ申上 ゲタイト思フノデアリマスガ、此ノ七十一 條デアリマスガ、三千圓ト云フモノハ、原案 ニ依リマスルト、三千圓迄ハ免稅ダ、三千 圓以上ニナレバ、其ノ三千圓ヲ籠メテ、假 ニ三千五百圓ナラバ、三千五百圓ノ假ニ一 割ナラ一割、一割五分ナラ一割五分ト云フ コトヲ御取リニナルト云フ案デアッタモノ ヲ、衆議院ノ方デハ一千九百九十九圓迄免 稅スル、假ニ三千五百圓ナラバ、四百圓ナ リ五百圓、三千圓以上ノモノダケニ付テ課 稅ヲスル、謂ハバ此ノ四月一日ニ小賣商店 其ノ他ノ製造場ニ於テ保有シテ居ル現在ノ 額、斯ウ云フコトニ修正ニナッタト思フノデ
○森平兵衛君	アリマスガ、其ノ通サデアリマスカ 品(第一號乃至第五號ニ掲タル物品ヲ除ク) ト云フコトガアリマスガ、此ノ内容ヲ調べテ 見マスルト、寫真機トカ或ハ蓄音器、樂器 等一號カラ五號迄デアリマスガ、雙眼鏡ト カ銃トカ云フモノハ除イテアルノデアリマ ス、是ハドウ云フ譯デ五號迄ガ御除キニナッ テ、五號以下ノ物ニ付テハ課稅ヲナサルノ デアリマスカ
○政府委員(大矢半次郎君)	此ノ七十一條ニ「第二種ノ物 迄ノ物ハ北支事件特別稅ニ於キマシテ物品 特別稅トシテ課稅ヲ受ケテ居ルノデゴザイ マス、從ヒマシテ是等ノ物品ガ製造所以外 ニ出テ居ルモノニ對シテ更ニ課稅ヲスルト 重複ニナリマスカラ是ハ課稅シナイコトニ シタノデアリマス、第六號以下ハ今回新シ ク採入レマシタモノデゴザイマスカラシテ、 ○森平兵衛君 能ク了解ヲ致シマシタ、續 イテ御尋ラ致シマスガ、此ノ第三十八條ノ 十四號、要スルニ書畫、骨董デアリマス、 スル、サウ云フ御答辯デアリマスカ
○政府委員(大矢半次郎君)	アリマスガ、其ノ通サデアリマスカ 業者トシテ當該物品ヲ販賣スルモノト見做 ス」此ノ附記ノコトハドウ解釋致シマシテ 宜シイノデアリマスカ、札元ト云フト賣主 ニ百圓ナラ百圓上ツタモノニ百分ノ十ト云 フモノヲオカケニナルノデアリマスカ、其 ノ札元ト云フヨリハ賣主、道具ノ賣立ノ、 道具ノ本當ノ所有主ニ此ノ稅ト云フモノガ カ、ルノデアリマスカ、ドウナルノデアリ マスカ
○政府委員(大矢半次郎君)	此ノ物品稅ハ 納稅者ハ物品ヲ購入スル者デゴザイマス、 ソレデ普通小賣スル者ハ徵收義務者ニナッテ 居ルノデアリマスガ、此ノ四十二條ニ於キ マシテモ、札元ハ此ノ徵收義務者ニナル譯 デゴザイマス、納稅者ハ其ノ書畫、骨董ヲ 買フ人デゴザイマス
○森平兵衛君	義務者ハ札元デアッテ、本當 ニ納稅スル者ハ其ノ書畫ヲ買フ者ガ納稅 スル、サウ云フ御答辯デアリマスカ
○政府委員(大矢半次郎君)	チヨット只今ノ御答辯ガ分 セヌガ、要スルニ納稅ノ義務者ハ其ノ道具 ノ札元デアル、札元ガソレヲ支拂ハナケレ バナラヌト云フコトデアレバ、一割稅ガカ、 ルカラ百圓ノモノガ百十圓ニ賣レルヤラ 入札デスカラサウ云フ風ニ賣レルヤラ分ラ ヌノデスカラ、政府ノ建前トシテハ物品ノ 購入者ニカ、ルト云フ御意味デモ、或ハソ レガ十圓高ク賣レナカッタストレバ、賣主 ガソレダケノ一割ノモノヲ負擔シテ居ルカ 分リマセヌネ
○政府委員(大矢半次郎君)	立法ノ趣旨ハ 納稅義務者ト擔稅者トヲ別々ノモノニシヨ ウ、斯ウ云フノデゴザイマスガ、現實ニ於 キマシテハ時ニハ仰セノヤウナ場合モ出テ 來ルカト存ジマス
○森平兵衛君	續イテ御尋ネシマスガ、此 ノ十五號ノ室内裝飾用品、是ハ政府側ヨリ 御提出ニナッテ居リマス分ニ對シマシテハ 「置物、花器、香器、額縁及柱掛其ノ他ノ壁 面裝飾用品、人形、節句飾物等」ト云フ字ガ ゴザイマスカラ置物ガアッテ、何ト言ヒマ スカ、掛物、所謂繪畫トカ何トカ云フヤウ ナ軸デスネ、ア、云フモノニハ室内裝飾品

トシテハ課稅ニナラヌノデアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 掛物ノ中ニハ書

畫及寫眞ヲ含メナイ見込デ居リマス

○森平兵衛君 書畫及寫眞ヲ含メナイト申

シマスト油繪ニハカ、ル譯デスナ

○政府委員(大矢半次郎君) 油繪ハ書畫ノ

中ニ入りマス、(笑聲起ル)書畫ノ一部デゴザ

イマス、賣立ノ場合以外ニハ入リマセヌ

○森平兵衛君 書畫及寫眞ヲ含メナイト申

ト申シマスト、ドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 雲板トカソレカ

ラ壁掛、斯ウ云フヤウナモノデアリマス

○森平兵衛君 能ク銅トカ或ハ錫トカ、

「アルミニーム」見タヤウナモノデ色々浮

出シタリ何カシテ居ルモノガアルガ、ア、

云フモノニハ稅ガ將來ハカ、ルト看做スノ

デアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 壁面裝飾品ト認

メラレスモノデアレバ課稅範圍ニ入ルノ

デアリマス

○森平兵衛君 室内裝飾品トシテ書畫竝ニ

寫眞ト云フモノハ第一置カレルモノデアル、

ラ困ル、ソレガ第一ノ裝飾品デアルト思フ

ハデスガ、之ヲ御除キニナッタ理由ハドウ

云フ點ニアルノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 書畫ハ一般ノモノト同ジヤウニ總テ考慮スル場合ニ、課稅スルカドウカト云フノハ相當研究シテ見タノデゴザイマス、併シナガラ實際ノ取引ノ情況ヲ見マスルト、書畫ノ中ノ良イノハ寧ロ店舗等ニ於テ取引セラレナイ、個々ノ扱商ト需要者トノ間、取引セラレルト云フノガ多イノデゴザイマスルシ、又一面現存ノ畫家ノ生活ヲ多少脅威スル嫌ガアルデハト申シマスト、ドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 雲板トカソレカモノト區分シテ特ニ賣立ノ場合ニノミ課稅

スルノデアリマス

○森平兵衛君 其ノ點ハ其ノ位ニ止メテ置キマシテ、續イテ置物、花器、香器トシテ「一

個又ハ一組十圓」トアリマスガ、是ハ總テ置物トカ、花器トカ香器トカアツテ、香器ハ

香爐デアリマスガ、サウ云フモノハ總テ新シイモノ、斯ウ云フコトニ解釋シテ宜イノ

デアリマスカ、是ガ少シ古クナリマスト所謂骨董ト云フ方ノ部類ニ入ル譯ナンデ、何處迄ノ點ガ骨董デアツテ、何處迄ノ點ガ新シイモノト云フコトガ、ナカノ區別ガ付カ

ナ、サウスレバ死ンダモノガ贊澤品、亡クナッタモノハ骨董デアツテ、現在生キテ居ト云フ御答辯デアツタヤウニ思フノデアリマス、

私共ハ此ノ事變ニ從ヒマシテ「ニユース」映畫

申シマスカ、認識ヲ深マルト云フコトノ非

ルノデアリマスカ、斯ウ云フコトノ稅ノ取

常ニ私ハ銃後ノ國民ニ對シテ宜イコトダト

思フ、サウ云フモノガ十錢ノ入場料ヲ取ッテ居ル所モアレバ、或ハ二十錢取ッテ居ル所モ

アル、或ハソレダケデ御客ガ來ナイ所デハ三十錢ニシテ他ノ活動寫眞迄モ見セテ、其ノ序ニ露骨ニ申シマスト、此ノ事變ノ活動寫眞ヲ見セテ、國民銃後ノ護リハ斯ウセムケレバ

シマスト云フヤウニ、暗ニ此ノ事變ヲ周知セシメルト云フコトハ、政府トシテハ餘程入場稅デスカ、百分ノ十ヲ御カケニナツテ、

而モ是ガ十九錢ニ満タザル場合ノ入場料ガ衆議院ニ於テ二十三錢ニ引上げニナツタノ

デアリマス、其ノ十九錢ト二十三錢トノ差ニ於テ國庫ノ減收ハドノ位ノ金高ニナルノ

デアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 七十萬圓程デ

○森平兵衛君 先刻委員カラノ御質問ニ於

テ、十九錢ノ基準ニ付テ御尋ガアリマシタ

モノハ各都市町村ニ到ル迄ヤツテ居リマス

ガ、ソレハ世界大戰若シクハ日露戰爭ノ時

分ニハ斯ウ云フコトガ發達シテ居ラナカッタ、今日デハ「ラヂオ」デ相當戰況ヲ聽クコ

トガ出來ル、又「ニユース」ニ於テ實際ノ戰時ノ有様ヲ見マスト、如何ニモ出征、何ト申シマスカ、軍人將兵ノ多大ナ勞苦ニ對シ

テ我々ガ非常ニ敬意ヲ表セザルヲ得ナイト

思フ、斯ウ云フ點ニ付テ寧ロ二十三錢ヲ三

十錢ニ上ガタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フ
コトヲ考ヘルノデアリマス、主税局長ノ御
意見ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員（大矢半次郎君） 免税點ヲ十九
錢ニ致シマスト云フト、大體現在全國ノ活
動寫真館ノ入場者ノ四割以上、四割三分程
度が免稅ニナルノデゴザイマス、デ「ニュー
ス」映畫ヲ専門ニ致シテ居リマスモノヘ、
大體免稅ニナルカト存ジマス、二十錢以上
或ハ三十錢以上ノ入場料ヲ支拂ツテ戰況ノ
「ニュース」映畫ヲ見ラル、方ハ、ソレニ依ッ
テ皇軍將士ノ非常ニ勵ラカレテ居ルノヲ見
ラレ、一方ニ於テ一割程度ノ入場稅ヲ出シ
テ、戰費ノ一部ヲ負擔スルト云フコトガ、
寧ロ此ノ事變下ニ於テハ最モ適切ナコトデ
ハナカラウカト、斯ウ存ズル次第デゴザイ
マス

○森平兵衛君 午前ニ何ト申シマスカ、償
却ノコトニ付テ橋本委員カラモ御質問ガア
リマシテ、政府委員ニ於キマシテハ個人ニ
於テモ帳簿ノ完備シタモノニ付テハ相當減
價償却ヲ認メタ方ガ宜イト云フコトニ付キ
マシテハ、多大ノ敬意ヲ拂テ居ルノデゴザ
イマス、サウ云フ點カラ言ヒマシテ、成ベ
ク私法人ト個人トノ所得稅ト云フモノニ付
キマシテモ、均衡ヲ得ルヤウニスルト云フ

コトガ一番正當デハナイカ、今日デハ法人
ト個人ト云フ間ニ於テサウ差異ガナイノデ
アリマス、而モ同族會社ニナリマスレバ、
唯私ノ遺憾ニ思ヒマスノハ、帳簿ガ本當ニ
完備シテ居リマシタラ、先刻主税局長ノ言
ハレル通リ稅務官吏ハ認メマス、帳簿ノ不
完備ノ爲ニ營業收益稅ニシテモ或ハ所得稅
ニシテモ認メナイモノガ多イノデアリマス、
營業帳簿ナラ帳簿ヲハツキリシテ居リマシ
タナラ、減價償却ヲ認メルカ認メナイカハ、
私マダハツキリ認識致シマセヌガ、稅額ダケ
ヲ認メルコトハソレハ確カデアリマス、唯
悲シイコトニハ此ノ所謂稅金デス、翌年ニ
稅金ヲ引イテ吳レナイノハ困ル、法人デア
レバ假ニ昭和十二年度、一年度ノ年度ニ致
シマシテ、其ノ者ガ假ニ儲カツタ、デ十萬圓
稅金ヲ拂フ、スルト翌年ノ營業費ニ持タセ
ルノデアル、個人ハ如何ニ帳簿ガ完備シテ
居ツテモ、其ノ稅金ダケハドウシテモ引イテ
尋ネダト致シマスレバ、是ハ個人ニ於キマ
シテモ、必要ノ經費ハ總收入金カラ控除シ
テ純益ヲ計算スルコトニナツテ居リマシテ、
其ノ必要ナル經費ノ中ニ、減價償却ヲ見ル
行法ノ下ニ於テモ必要經費ニ見ルノダ、其
ノ結果ト致シマシテ法人ト同ジ扱ヒニナル
ト云フダケデ、必ズ法人ト一緒ニシナケレ
バ、今御話ノヤウニ、營業收益稅ダケハ所
得稅カラ引イテ貰ヘルノデアリマスガ、其

○政府委員（大矢半次郎君） 营業者ニ對シ
無論殆ド個人トハ變リナインデアリマス、
唯私ノ遺憾ニ思ヒマスノハ、帳簿ガ本當ニ
完備シテ居リマシタラ、先刻主税局長ノ言
ハレル通リ稅務官吏ハ認メマス、帳簿ノ不
完備ノ爲ニ營業收益稅ニシテモ或ハ所得稅
ニシテモ認メナイモノガ多イノデアリマス、
得稅ノ如キハ經費ニ見テ居ルノデゴザイマ
ス、法人ノ方ハ總テ有ラユル稅ハ之ヲ經費
ニ見テ居ル、此ノ點ハ個人ノ場合ト違フノ
デゴザイマス、唯法人ト個人トハ其ノ組織
モ違ヒ、稅率モ違ヒ、ソレカラ總收入金ヲ
見ル範圍モ違ヒ、又經費ヲ見ル範圍モ違
ヒ、稅率モ違ヒ、ソレカラ總收入金ヲ
見ル範圍モ違ヒ、又經費ヲ見ル範圍モ違
ヒ、稅率モ違ヒ、ソレカラ總收入金ヲ

○森平兵衛君 私ハ今日ノ場合法人ノ課稅
ガ重イカ、個人ノ矢張リ商賣シテ居リマス
ル營業ノ課稅ガ重イカト云フコトハ、是ハ
餘程御考ヲ願ハナケレバナラヌノデ、隨分
法人ニハ、個人ニナイ……法人ニハ資本稅
ト云フヤウナモノモアリマスルガ、個人ノ
税金ヲ引イテ吳レナイノハ困ル、法人デア
レバ假ニ昭和十二年度、一年度ノ年度ニ致
シマシテ、其ノ者ガ假ニ儲カツタ、デ十萬圓
稅金ヲ拂フ、スルト翌年ノ營業費ニ持タセ
ルノデアル、個人ハ如何ニ帳簿ガ完備シテ
居ツテモ、其ノ稅金ダケハドウシテモ引イテ
尋ネダト致シマスレバ、是ハ個人ニ於キマ
シテモ、必要ノ經費ハ總收入金カラ控除シ
テ純益ヲ計算スルコトニナツテ居リマシテ、
其ノ必要ナル經費ノ中ニ、減價償却ヲ見ル
行法ノ下ニ於テモ必要經費ニ見ルノダ、其
ノ結果ト致シマシテ法人ト同ジ扱ヒニナル
ト云フダケデ、必ズ法人ト一緒ニシナケレ
バ、今御話ノヤウニ、營業收益稅ダケハ所
得稅カラ引イテ貰ヘルノデアリマスガ、其

○森平兵衛君 私ハ今日ノ場合法人ノ課稅
ガ重イカ、個人ノ矢張リ商賣シテ居リマス
ル營業ノ課稅ガ重イカト云フコトハ、是ハ
餘程御考ヲ願ハナケレバナラヌノデ、隨分
法人ニハ、個人ニナイ……法人ニハ資本稅
ト云フヤウナモノモアリマスルガ、個人ノ
税金ヲ引イテ吳レナイノハ困ル、法人デア
レバ假ニ昭和十二年度、一年度ノ年度ニ致
シマシテ、其ノ者ガ假ニ儲カツタ、デ十萬圓
稅金ヲ拂フ、スルト翌年ノ營業費ニ持タセ
ルノデアル、個人ハ如何ニ帳簿ガ完備シテ
居ツテモ、其ノ稅金ダケハドウシテモ引イテ
尋ネダト致シマスレバ、是ハ個人ニ於キマ
シテモ、必要ノ經費ハ總收入金カラ控除シ
テ純益ヲ計算スルコトニナツテ居リマシテ、
其ノ必要ナル經費ノ中ニ、減價償却ヲ見ル
行法ノ下ニ於テモ必要經費ニ見ルノダ、其
ノ結果ト致シマシテ法人ト同ジ扱ヒニナル
ト云フダケデ、必ズ法人ト一緒ニシナケレ
バ、今御話ノヤウニ、營業收益稅ダケハ所
得稅カラ引イテ貰ヘルノデアリマスガ、其

ノ他ノ所得ニ關係致シマスル稅ハ一切引イテ貰ヘナイ、ソレガ法人ト個人トノ不均衡ヲ來スモノデハナイカト考ヘマスノデ、私ハ稅金トカ、或ハ公益ニ關スル寄附金ト云フヤウナモノデ、帳簿ガ明カデアレバ、引イテヤッテモ宜ノダ、今日ハ銃後ノ何トカ申シマシテ、相當公益團體ニ寄附スルモノガ法人ニハアル、無論公益ニ關係致シマスルモノハ、法人關係ダケハ稅務署ノ手心デ引イテ吳レルガ、唯オ祭リガアルトカ、オ寺ニ上ゲタヤウナモノハナカノ御引キ下サイマセヌガ、個人トシテハ公益團體ニ寄贈シタト云フコトガ明瞭ニナレバ、是ハ收益カラ引イテ貰ヘルコトニナル筈デアリマス、サウ云フ點ニ付テ十分稅制ノ御改革ガアル場合ニ御考慮下サツテ宜イモノデナイカト思ヒマスノデ、御尋ネシタ譯デアリマス、其ノ點如何デセウ

○政府委員(大矢半次郎君) 法人ニ對スル

課稅ト個人ニ對スル課稅ニ於キマシテ、課稅標準ノ取り方ラドウスルカト云フコトハ、根本ノ問題デゴザイマス、英國ノ如キニ於キマシテハ法人ト個人トノ計算ヲ大體同様ニシテ居ル點ガゴザイマス、尤モ一國ニ於キマシテモ附加所得稅ノ方ハ個人ノミニゴザイマスガ、「ドイツ」ノ如キハ全ク別

ニシテ居ルト云フ情況デアリマシテ、ソレハ稅制ノ立方如何ニ依ル根本問題デアリマシテ、稅制整理ノ場合ニハ勿論十分考究シナケレバナラヌ問題ダト存ジマス

○森平兵衛君 近頃中小ノ商工業者トカ、或ハ農村ニ於テ臨時事變ノ爲ニ其ノ恩澤ヲ受ケズニ減收ラスル者ニ對シテ、稅ノ幾ラカ減少ヲ爲サルト云フヤウナ意味ニ於テハ今度臨時租稅措置法案ト云フモノヲ御提案ニナリマシタガ、私ハ斯ウ云フ點ニ對シテ政府ガ御便宜ヲ下サツタ點ハ大變敬意ヲ表ノ唯第十二條ノ第三項ニ於テ、「法人ノ資本金額二十萬圓以上ナルトキ」ト云フコトガアリマスガ、ドウカ私ハ法人ノ資本ガ二十萬圓以上ト云フノハ少シ少キニ失シナイカト思フ、民間ノ金ノ值打カラ言ヘバ、法人ノ資本金額ガ五十萬以下ノモノニ十分適應シテオヤリニナツテ宜イノデハナイカ、五十萬圓ト云フヤウナモノガ、會社ノ數ニ於キマシテモ一番多イノデアリマス、二十萬圓以下ト云フヤウナコトニナルト大分減ッテ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ中小商工

業者ガ、此ノ事變下ニ於テ相當打擊ヲ被ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカラシテ、之ニ對シテ課稅ノ輕減ヲシヨウト云フ趣旨カラ出テ居リマスノデ、法人ニ付キマシテハ大體資本金デ二十萬圓程度ヲ抑ヘタラカ減少ヲ爲サルト云フヤウナ意味ニ於テハノハ是ハ拂込資本金バカリデナク、積立金モ入ッテ居リマスガ、チヨット其ノ調べラ今ノハ是ハ拂込資本金バカリデナク、積立金モ入ッテ居リマスガ、チヨット其ノ調べラ今手許ニ持合セテ居リマセヌ

○森平兵衛君 今回所得稅ノ免稅點ガ一千二百圓ヲ一千圓ニ御引下ゲニナリマシタ、是ト營業收益稅ノ、所謂商業者ノ四百圓トノ睨合ヒニ付テハ均衡ガ取レテ居リマスデスカ、私ハ所得稅ノ免稅點ヲ、千二百圓ヲ

○森平兵衛君 一千圓ニ御引下ゲニナルナレバ、營業收益稅ニ於テモ、多少此ノ免稅點ノ御引下ゲヲ爲サラヌト、均衡ガ取レヌヤウナコトニナリハセヌカトスウ思ヒマスガ、政府ハ營業除點ノ均衡ニ付テハ、餘り深ク考ヘナカツタトスウ云フ意味ニ取ツテ宜シウゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 諸君、營業收益稅、地租、資本利子稅バ、所得稅ノ補完稅デアリマシテ、所得稅ノ免稅點ヲ引下ゲレバ必ず此ノ補完稅ノ免稅點ヲ引下ゲナケレバナラストカ引上ゲナケレバナラストカ云フ風ニハ考ヘテ居ラナイ次第デアリマス

○森平兵衛君 其ノ點ハソレ迄ニ致シテ置キマス、續イテ御尋ネラニカッタノデアリモ斯ウ云フ點ニ付テ質問ガアツタノデアリマスガ、大藏大臣カラ少シ御答辯ガアツタ、私ノ質問ノ要點ハ要スルニ此ノ產業資本ト、金融資本トノ負擔ノ均衡ヲ得テ居ラ

<p>又、斯ウ云フコトハ衆議院ニ於テモ大分問題ニナッタノデアリマス、而シテマア其ノ結果ト申シマスカ、何カ分リマセヌガ、要スルニ所得税率ノ改正ガ二割五分ガ二割二分五厘ト云フコトニ納ッタヤウニモ思フノデアリマス、私共ハ將來此ノ税制ヲ御改正ナサル上ニ於テ……必ズシモ株式バカリガ産業資金デハアリマセヌ、一昨日デアリマスガ大藏大臣モ言ハレマシタ通り、増資ヲセズニ、社債デモ賄ヘヌコトハナイノデアリマス、種及第三種ガ二割二分五厘ノ増徴ニナッテレテ居ル、所謂餘り増徴ナサラズニ、第一ラレルコトト、株式ノ増資が容易デアルト云フヤウナコトハ、經濟界ノ其ノ時ノ實情ニ依ツテ餘程違フノデアリマス、必ズシモ産業資本ト云フモノハ、社債デ賄ヘルト云フコトハ言ヒ得ラレヌノデアリマス、譬テ見マスレバ、五百萬圓トカ一千萬圓トカ云フヤウナ、相當大キナ會社デアレバ、社債ヲ募ルコトハ樂デアリマス、處ガ百萬圓ヤ二百萬圓ノモノデアルト、増資ナラバ或ハ喜ンデ株ノ應募者ガアルカモ知レマセヌガ、併シ此ノ比較的小資本ノ會社、殊ニ商事會社カ何カデ、工場財團モ何モナイ會社ガ社</p>
<p>債ヲ募ラウト思ツテモ、ナカヽ、容易ニ募レルモノデハアリマセヌ、又假リニソレヲ引受ケル人ガアリマシテモ、非常ナ高率ノ何ト申シマスカ、利息ヲ付ケナケレバナラヌ、必ズシモ昨日大藏大臣ノ御答辯ノアッタヤウニ、産業資金ハ社債デ賄タラ宜イチテスノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、今回ハ已ムヲ得マセヌガ、將來此ノ事變ガ濟ムト同時ニ御改正ニナル場合ハ、矢張リ或程度迄ハ産業資本ヲ優遇シテ御ヤリニナラスト、矢張リ經濟界ガ潤ヒマセネバ、從ツテ國庫ノ收入モソレニ從ツテ減少シテ來ルヤウニ思フノデアリマス、私共ハ必ズシモ今回ノ御企テガ惡イト申上ゲルノデハナイガ、今日迄ノ「パーセンティード」カラ行ケバ、幾ラカ均衡ヲ失シテ居ルヤウナ感ジガ致シマスノデ、將來斯ウ云フコトニ付テ、唯社債ノ途サヘ開ケテ置イテヤレバ、產業資金ト云フモノハ必ズ利廻ガ三</p>
<p>公債ハ、現在ノ基準條件カラシマシテ色々ナ關係ヲ見テ見マスト、應募者ノ利廻ガ三分ノ何ガシニナッテ居リマスガ、預金ノ「コスト」ハ可ナリ高クナッテ居リマス、一般ノ預金利廻ガ惡クナッテ參リマス、申ス迄モナク此ノ第二種ノ税率ヲ引上げマスト投資家ノ利廻ガ惡クナッテ參リマス、申ス迄モナク此ノ第一種ノ利廻ヲ減少シテ來ルヤウニ思フノデアリマス、私共ハ必ズシモ今回ノ御企テガ惡イト申上ゲルノデハナイガ、今日迄ノ「パーセンティード」カラ行ケバ、幾ラカ均衡ヲ失シテ居ルヤウナ感ジガ致シマスノデ、將來斯ウ云フコトニ付テ、唯社債ノ途サヘ開ケテ置イテヤレバ、產業資金ト云フモノハ必ズ利廻ヲ比較シテ見マスト、御話ノ通リ株式ノ利廻ハ例ヘバ勸業銀行ノ標準ニ依ル五分五厘ヲ見マシテモ惡クナッテ居リマス、併シ惡イ程度ハ、十萬圓ノ所得者ニ取リマシテ一厘何ガシノ差デゴザイマシテ、悪イニハ惡イノデゴザイマスガ、サウヒドイ差ヘナインデゴザイマス、併シ是モ時局關係上、金融政策ト云フモノニ相當重キヲ置イタ關係デ、第二種ノ引上げ輕微ニナッテ居ルノデアリマスガ、將來落著キマシタ場</p>
<p>○政府委員(太田正孝君) 産業資本、金融資本ガ今回ノ税制ノ上ニ於テ偏頗ニナッテ資本ガ今回ノ税制ノ上ニ於テ偏頗ニナッテ、ト願ヒタイト思ヒマス、率ノ引下ハ今ノ所ナカヽ、ムツカシカラウト思ヒマス、デ、社債ノ發行ニ付キマシテ、ハ發行者へ課税ガ轉嫁サレルト云フコトモ居ルノデアリマスガ、將來落著キマシタ場</p>

合ニ於キマシテハ無論御話ノ通り産業資本ガドン～伸ビテ行カナケレバナリマセヌノデ、其ノ點ハ十分考慮シテ行カナケレバナラヌト思フノデゴザイマス。

○森平兵衛君 斯ウ云フコトヲ御尋ネシタ

イト思ヒマスガ、此ノ何ト申シマスカ、辯護士トカ醫者トカ云フヤウナ者、他ニモアルカモ存ジマセヌガ、學術ヲ以テ収益ヲ擧

ゲテ、所謂生活ヲ營ンデ居ル者、是ハ御承知ノ通リ營業稅ハカ、ラナイ、是ト新聞社ハカカッテ居リマセヌ、所得稅ハカカッテ居

ルンデアリマス、私共カラ見レバ斯ウ云フモノハ、モウ殆ド公然ノ一つノ營業デアルト思フ、唯學術ヲ以テ商賣シテ居ルカ否クト云フコトダケデアリマスノデスガ、斯ウ

云フ點ニ付テ、稅金ハドノ位上ルカ、減ルカ分リマセヌガ、斯ウ云フモノニ付テハ營業稅ヲ御課シニナルト云フヤウナコトノ御意見ハナカツタモノデアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 各種ノ特別所得稅ヲ起ス、所謂分類所得稅ノ如キモノヲ起ス場合ニハ、一つノ重要ナル研究問題ニナルト思フノデゴザイマス、現在ノ營業收益ノ課稅範圍ニ取入レルニハ、是等ノ自由職業ニ對シマシテハ如何カト存ジテ居リ

マス

○森平兵衛君 モウ一ツ主稅局長ニ御伺フ致シタイノデアリマスガ、此ノ法人ノハ半期計算モアリマスレバ、一年度ヲ一期トシテ計算ヲシテ稅務署ヘ御届ケスル分モアルノデアリマス、近來非常ニ稅務ノ方ガ御多忙ノ爲デアリマスルガ、假ニ昭和十一年度ノ一箇年ノ營業年度ノ終リニ於テ御届ケシテモ所謂昭和十二年度ニ於テ一箇年ノ間御取調ニ御出デニナラヌコトガアル、ソレデ昭和十二年モ共ニ願ツタ場合ニ御取調ニ御出デニナツテ、二箇年ノ稅金ヲ一遍ニ納メヌナラヌヤウナコトガアルサウデアリマス、殊ニ半期ノ事業年度ニ於テ設定ヲセラレヌト云フヤウナ會社ガ、往々私共ノ關係シテ居リマス所ニ耳ニスルノデアリマスガ、ナク御多忙ニハ違ヒナイノデアリマスガ、要スルニ此ノ稅金引當金ト云フモノヲ設ケマシテ、矢張リ其ノ翌期ニ御納メシテシマハナイト、帳簿モ片付キマセズ、又二期ノ稅金引當金ヲ創設スルト云フコトハナカムツカシイノデアリマス、デソレハ不足ヲ申上ゲルノデアリマセヌガ、先刻來斯ウ云フ書類ニ付テハ千人バカリノ官吏モ殖シタ

ト云フコトデアリマスルガ、相當此ノ繁激ナル所ニハモウ少シク増員デモシテ下サルカ、何カヲシテ、成ルベク申告者カラ届ケテ參リマスレバ、其ノ翌期ノ期間内ニ於テ、半期ナラ半期ノ期間内ニ於テ納稅シ得ラレシテ計算ヲシテ稅務署ヘ御届ケスル分モアルヤウナ方法ガ採レナイモノデアリマスカ、是ハ獨リ大阪ダケデアリマセヌ、東京ノ事業會社ニモアルト思フノデアリマスガ、如シテモ昭和十二年モ共ニ願ツタ場合ニ御取調ニ御出デニナツテ、二箇年ノ稅金ヲ一遍ニ納メヌナラヌヤウナコトガアルサウデアリマス、殊ニ半期ノ事業年度ニ於テ設定ヲセラレヌト云フヤウナ會社ガ、往々私共ノ關係シテ居リマス、是ハ全國一齊ニ參ッテ居ルノデゴザイマスガ、法人ニ對スル課稅ハ、私共ノ方デハ隨時課稅ト申シテ居リマシテ、納期ト云フモノハ別ニ定ツテ居ナイ、サウ云フ關係シテ居リマスガ、法人事務ノ處理促進ニ邁進致シマシテ、今仰セノ趣旨ニ副フヤウニ致シタイト存ジマス

○森平兵衛君 最後ニ所得稅額ノ制限ニ付テノ説明ト云フ書類ヲ戴イテ居リマスガ、要スルニ法人同族會社及ビ個人ノ所謂最高ノ制限ヲ書イテアルノデアリマス、此ノ説明ニ少シ私共不敏ニシテ疑問ガアリマスノデ、簡潔ニ御説明願ヘレバ結構デアリマス、要スルニ普通ノ法人デアレバ、最高ガ全部ノ稅金ヲ合ハシテ百分ノ五十トカ、或ハ同族會社デアレバ、百分ノ七十トカ、第三種ノ個人デアレバ、百分ノ幾ラデスカ、五十五デハナカツタカ、何カ此ノ六割六分ニ當ルガ、總テ斯ウ云フコトヘチヨツト是ダケ

デハ私分リ兼ネマスノデ、是ハ質問デアリ
マセヌガ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、
制限額ノ説明ヲ……他ノ政府委員カラデモ
結構デアリマス。

○政府委員(大矢半次郎君)

是ハ簡単ニ要
約致シマスレバ、法人ニ於キマシテハ、或
事業年度ノ所得ニ對シテ各種ノ國稅附加稅
ガ綜合シテ參ッテ來マシテモ、其ノ最高ハ所
得金額ノ七割ヲ超エナイヤウニスル、ソレ
カラ同族會社ニ於キマシテハ、モウ一割増
加致シマシテ八割ヲ最高限ニ致サウト云フ
趣旨デゴザイマス、ソレカラ第三種所得稅
ニ於キマシテモ、所得稅ト附加稅トヲ合計
致シマシテ、最高ハ所得金額ノ七割ニ抑ヘ
ヨウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○森平兵衛君 附加稅ト申シマスト、地方
ノ附加稅モ合計致シマシテデアリマスカ
○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイ
マス

○内田重成君 私ハ極ク簡單ナコトヲ御尋
テ致シマス、此ノ支那事變特別稅法案ノ五
十一條以下ニ於キマシテ、人民ノ義務、收
稅官吏ノ權限、及ビ違反ノ制裁等、相當詳
細ノ規定ガアリマスルガ、此ノ法案ニハ間
接國稅犯則者處分法ガ被ル如クモ又被ラザ
ル如クモ見得ルノデアリマスガ、是ハ間接
國稅違反處分法ハ適用ガナイモノト解スベ
キデアリマスカ否ヤヲ一ツ伺ヒタ

○政府委員(大矢半次郎君)

間接國稅犯則
者處分法ヲ適用スル稅種ハ勅令デ指定スル
コトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ法案
ガ御協贊ヲ得マスレバ、物品稅ニ付キマシ
テハ其ノ指定ヲ致シタイト存ジテ居リマス
○内田重成君 サウシマスルト物品稅ニ付
テ、勅令ノ規定デ此ノ間接國稅犯則者處分
法ヲ適用スルト云フ風ノ手續ヲ執ルト云フ
御話デアリマスルガ、ソレハ何カサウ云フ
コトガ出來ル立法ニナツテ居リマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 間接國稅犯則者
處分法ノ施行規則ノ第一條ニ於テ「間接國稅
犯則者處分法ニ於テ間接國稅ト稱スルハ左
ノ國稅トス」ト云フコトニ依リマシテ、勅令デ
以テ間接國稅トシテ取扱フ稅目ノ品目ヲ指定
スルコトニナツテ居リマス、從ヒマシテ此ノ
勅令ニ改正致シマシテ之ニ物品稅ヲ追加致
シマスレバ、物品稅ニ付テハ間接國稅犯則者
處分法ヲ適用シ得ルト云フコトニナル次第
デアリマス

○内田重成君 シマスレバ、物品稅ヲ矢張
リ間接國稅ト見ル譯ニナリマスルカ

○内田重成君 左様デアリマスル
ス、北支事件特別稅法ニ於キマシテモ、物
品特別稅ト云フモノガゴザイマス、是ハ矢
張リ勅令デ指定シテ居リマシテ、間接國稅
犯則者處分法ヲ適用スルコトニ致シテ居リ
マス

○政府委員(大矢半次郎君)

左様デアリマ
ス、北支事件特別稅法ニ於キマシテモ、物
品特別稅ト云フモノガゴザイマス、是ハ矢
張リ勅令デ指定シテ居リマシテ、間接國稅
犯則者處分法ヲ適用スルコトニ致シテ居リ
マス

○内田重成君 賣買ニ付テ詳細ナ帳簿ヲ備ヘ記帳ヲシ、又
申告ヲシナイト云フヤウナコトノ爲ニ斯ク
ノ如キ制裁ヲ受クルト云フコトハ、是ハ隨
分取扱ノ上デモ煩雜デアリマスルガ、又實

○

○内田重成君 其ノ點ニ付キマシテハ私ハ
少シ申上ゲテ見タイト思フノデアリマスル
ケレドモ、時間モアリマセヌカラ略シテ置
キマス、此ノ法案ニ依リマスレバ物品稅ト云
合、又ハ帳簿ノ記載ヲ怠ッタ場合、所謂、其ノ
新シイ稅目ニ付テ當事者ガ申告ヲ怠ッタ場
合所ニ於キマシテ處罰サレテ居ルノデアリ
マス、小賣業者ノ多數ガ、今度ノ物品稅ノ
法案ニ依テ此ノ相手ニナル譯ニアリマス、
是等ノ中ニハ相當無學ノ者モ、又少サイ商
賣ヲ爲ス者ナドガアラウト思ハレル、例ヘ
バ靴屋ノ如キ、履物屋ノ如キ者、左様ナモ
ノヲ一例ニ致シマシテ大方想像スルコトガ
出來ルノデアリマス、ソレ等ノ者ニ帳簿ヲ
作レ、記帳ヲ必ズセヨト云フヤウナコトヲ
明示セラレマシテモ、是迄ノ小賣業者ノ狀
態ヲ見マスレバ、一々賣品及賣高、賣人ト
云フヤウナモノヲ記帳ヲ致シテ居ラナイ
態デアルト思フ、ソレハ其ノ各個ノ商品ノ
ニ賣捌イタ物等ニ付テ、チヨット家内ガ帳面
ヲ付ケルコトヲ忘レタ又小僧ガ帳面ヲ付ケ

ルコトヲ忘レタト云フモノ迄々是ガ取上
ゲラレルト云フニ至ッテハ、是ハ實情ニ適シ
ナイ法律デハナイカト云フコトヲ私ハ虞レル、
カト思フ、先程政務次官カラ御話ニナリマシタ
ガ、東京其ノ他ノ大都市ニ於テノ收稅官吏ノ
眼ガ行届カヌト云フコトノ御話デアリマシ
タガ、私モ恐クハ此ノ大都市ニ於テハ收稅
官吏ノ眼ノ行届カヌ所モ多カラウト思ヒマ
ス、併シナガラ此ノ戴イタ所ノ資料ニ依ツテ
見マスレバ、年々犯則者ト云フ者ハ殖エテ
居ル、デ其ノ增加率ハ東京アタリニ於テモ
相當餘計ニ増加シテ居ル、各府縣ノ方デハ
自ラ年ニ依ツテ增減モアリマスルガ、東京又
ハ横濱方面ノ方ハ毎年殖エテ參ツテ居ル狀
態デアリマス、此ノ一般ノ民情ヲ觀察シテ
斯クノ如キ怠慢者ニ迄、所謂普通ノ過失ト
怠慢トノ區分ハ分リマセヌ、サウ云フ者迄
ニ此ノ制裁ヲ施シ、而モソレガ下級ノ收稅
官吏ガ觀察ヲサレタ其ノ結果ガ一々罰金、
過料等ノ制裁デ現レテ參ル、ドウモ先程橋
本委員カラ御話ニナリマシタ點ニモ矢張リ
觸レル譯ニモナリマスルガ、先程橋本委員
モ御話ニナリマシタガ、大都市ト地方トハ、
收稅官吏ノ觀察力ハ非常ニ違フノデアリマ
ス、デ、是ハ收稅官吏トシテハ職務ニ忠實

ノ結果、誠ニ已ムヲ得ヌコトデアツテ、又收稅官吏トシテハ當然ニアリマスルガ、地方ノ方デハ極ク微細ナル點ニ迄觀察力ガ行届キ、從ツテ少シモ餘ス所ガナイ、デ、是ガ地方ニ居ル人間ガ都會ニ住フノト、田舎ニ住フノトハ、稅金ノ上ニ於テ大ナル負擔ノ相違ガアルト云フコトヲ常ニ申シテ居ル譯デアリマス、自分等ノ實驗ニ微シテ見マシテモ、都會ノ方ニ於ケル稅務ノ觀察ト、地方ニ於ケル觀察ト違フノデアリマス、デアリマスカラ、唯今申上ダマシタ怠慢ノ場合ノ制裁規定ニ於テモ、地方ニ於テハ一層ソレガヒドクアラウト云フ感ジガ起ルノデアリマス、餘リ長ク申上ゲテ相濟ミマセヌガ、ソレデ此ノ實情ヲ私モウ少シ申上ゲタイトと思ヒマス、ガ、大抵モウ御分リト考ヘル、是ハ如何ナモノデゴザイマセウカ、ドウシテモ斯ウ云フ怠リト云フヤウナ文字迄入レナケレバナラヌ、又之ニ對シテヘ、ドノ位ノ程度ノ手心ヲ加ヘラレルモノデアルカト云フコトノ一ツ御話ヲ承ハリタイト思ヒマス

ノアリマシテ、酒造税法ニ於キマシテモ其ノ第二十九條ニ「酒類ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者酒類ノ製造出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ヘ怠リタルトキ」云々ト云フ制裁規定ガアルノデゴザイマス、又清涼飲料稅法ニ於キマシテモ第六條ニ於キマシテ「清涼飲料ノ製造者又ハ販賣者清涼飲料ノ製造出入ニ關スル帳簿書類又ハ原料ヲ隠匿シ又ハ帳簿ノ記載若ヘ第十一條ノ規定ニ依ル申告ヲ怠リ若ヘ詐リタルトキハ」云々ト、斯ウ云フ風ニナッテ居リマシテ、是ハ間接稅ニ關スル一般ノ例ニナッテ居ルノデアリマシテ、此ノ度臨時稅トシテデハアリマスケレドモ、間接稅ヲ起ス以上、大體ソレニ見習ッテ然ルベキデナイカト存ジテ、此ノ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス、唯仰セノ通り、全ク申告ヲ怠リタル者ノ申ニハ、色々各種ノ事情ニ因ツテ事實上申告ノ出來ナカッタ、致サウトシテモ、出來ナカッタ、或ハ何カ特別ノ事情ガアッテ、或場合ニ出來ナカッタ云フ者モ居ラウト存ジマシテ、實際此ノ規定ノ運用ニ當リマシテハ、十分ニ留意致シマシテ、色々御注意ノアリマシタ御趣旨ノヤウニ、決シテ苛酷ノ扱ヒハ致サヌ積リデゴザイマス、尙近時

間接國稅反則處分ノ件數が非常ニ増加シ
テ居ル、殊ニ大都市ニ増加シテ居ルト云フ
御話デゴザイマスガ、是ハ主トシテ印紙稅
デゴザイマス、ココ數年間兎角大都市ニ於
キマシテハ印紙稅ノ取締ハ稍、十分デナイト
云フ憾ミガアルト云フノデ、多少此ノ方面
ニ力ヲ用ヒマシタ結果、大都市ニ於キマシ
テ相當ソレハ一件數ガ多クナッテ居ルノデ
アリマシテ、其ノ他ノ間接稅ニ付キマシテ
ハ、特ニ顯著ナモノハナイノデゴザイマス、
重ネテ申上ゲマスガ、此ノ施行ニ當リマシ
テハ、十分ニ注意致シタイト思ヒマス
○内田重成君 分リマシタ、私モ御示シノ
サウ云フ所カラ此ノ規定ガ出タモノデヤラ
ウト云フコトヲ察シテ居リマシタ、私ハ是
ハ意見ヲ申ス譯デヤアリマセヌ、反駁スル譯
デモアリマセヌガ、酒屋デアルトカ、酒造家、
清涼飲料等ノ製造家デアルトカ云フ……ム
ツカシイ法規ニ依ッテ平生カラ訓練セラレ、
律セラレテ居ル製造業者ノ如キモノハ、大
抵一ツノ製造業者兼販賣業者デアル、サウ
云フ者ハ平生カラ帳簿ノ整頓其ノ他十分ニ
訓練サレテ居ル、デ、サウ云フ者ト一般ノ
物品販賣業者、殊ニ小サイ、之ニ書イテア
リマスヤウナ販賣業者ノ中ニハ極ク小サナ
モノガ大部分ト思フ、サウ云フ小店ト是ヲ

同一規シテ規定スルト云フコトハ當ヲ得ナ
イト考ヘマスケレドモ、併シ此ノ點ヲ強ヒ
テ申セバ、是ハ一ツノ改正ニナリマスノ
デ、私ハ強ヒテ申上ゲナイ、唯此ノ結果ニ
付テ政府ニ於テハ十分ニ取扱振ニ對シテ注
意スルト云フコトデアリマシタノデ、私ハ
其ノ收稅官吏ガ職務ニ熱心ノ餘リ、人民ノ
怨嗟ヲ招カザル如ク、十二分ニ收稅官吏ガ
注意サル、ヤウニ、政府ガ指導ヲサル、ト
云フコトヲ期待致シマシテ、私ノ御尋ヲ終
リマス

○政府委員(大矢半次郎君) チヨット一言
申添ヘテ置キマスガ、酒造税ニ於キマスル
制裁規定モ、單リ酒造家バカリデナク、販賣
業者ニ對シテモ適用ガアルノデゴザイマス
ノデ、從ツテ地方ノ中小ノ販賣業者、夏季ニ
於テチヨット清涼飲料ヲ造ルト云フヤウナ
者ニ付キマシテモ矢張リ此ノ制裁規定ノ適
用ガアルノデゴザイマス、是等トノ權衡上
此ノ度物品税ニ於キマシテモ、此ノ程度ノ
制裁規定ヲ設クルノハ、マア權衡上已ムヲ
得ナイグラウト存ズル次第アリマス、尙
最後ノ重ネテノ御注意ノ點ハ十分體シマシ
テ、施行上遺憾ナキヲ期シタイト存ジマス
○橋本辰二郎君 此ノ所得稅法ノ第十四條
ノ規定ニ「前年中ノ總收入金額ヨリ必要ノ

経費ヲ控除シタル金額」、斯ウ云フコトニ
ナツテ居リス、之ニ依リマスルト、例ヘバ家
財ノ不納、若シクハ小作料ノ取立ノ未済ト
云フヤウナモノノアツタ場合ニハ、實收額ダ
セウカ、又家賃ノ不納ナリ、小作料ノ不納
等ニ付キマシテハ、是ハ請求シ得ベキ權利
ガアルカラ、是ガ假令事實ニ於テ未納デ
アツテモ、當然總收入ト看做スト云フ御見解
デアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ現實ノ收
入ニ基礎ヲ置イテ計算スルノモ一つノ行キ
方カト存ジマスルケレドモ、現行法ニ於キ
マシテハ、現實ノ收入如何ニ拘ラズ、權利
發生ニ依ツテ見ルコトニナツテ居ル次第デゴ
ザイマス

○橋本辰二郎君 場合ニ依リマスルト、小
作爭議ナドノ場合ニハ、殆ド收入ノ皆無ノ
コトモアリマセウシ、又借家人等ニ於テ不
良ナル連中ハ、家賃不納同盟ヲ結ブト云フ
ヤウナコトガナイトモ限リマセヌ、サウ云
モノハ殆ド無能不德ノ連中バカリデアツテ、
凡ソ自己ニ關スルモノハ熱心ニヤルカ知レ
マセヌガ、他人ノモノニ對シテハ殆ド風馬
牛ノ態度ニ皆出テ居ル、是ハ事實ナシニア
リマス、ソレデ資料ノナイモノデモ、稅務
署ニ一人位ハ配置シテ置イテ、無理ナコ
トノ出來ナイヤウニ御取計ヲ私ハ願ヒタ
イ、ソレカラ次ニ相續稅ノコトニ付キマシ
テ御尋シタイガ、相續稅ノコトニ付キマシ
テハモウ度々問題トナリマシテ、機會ノア
ル毎ニ是ハ質問モ續出シタノデアラウト思
ハレマスルガ、私モ自分デ經驗ハアリマセ
ヌガ、友人ノ死亡後、其ノ遺産相續、家督
相續等ニ付テ相當相談ニ與ツタコトガアリ
マスガ、イツモ相續財產ノ評價ト云フモノ
ハ、實ニドウモ酷ナヤリ方ヲ稅務署ハ始終
ヤリマス、例ヘバ是ハ最近ノ例デアリマス

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ個々ノ場
合ニ實際ヲ認定スルコトニナルノデゴザイ
マスルガ、事實認定ニ依リマシテ、權利ハ
云フヤウナ考ヘ、少シ間違デアル、要ス
トニ扱ツテ居ル次第デゴザイマス
一應發生シタガ、實際ハ入ツテ來ナイト云フ
コトガ明カナル場合ニハ、收入ニ見ナイコ
トニ付キマシテハ、是ハ請求シ得ベキ權利
ガアルカラ、是ガ假令事實ニ於テ未納デ
アツテモ、當然總收入ト看做スト云フ御見解
デアリマセウカ

○橋本辰二郎君 其ノ認定ナルモノハ、所
謂稅務署ノ下級官吏ニ於テ可否ヲ決スルノ
トニ付キマシテハ、是ハ請求シ得ベキ權利
ガアルカラ、是ガ假令事實ニ於テ未納デ
アツテモ、當然總收入ト看做スト云フ御見解
デアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 第三種所得稅
ニ於キマシテハ、稅務署ニ於テ調査致シマ
シテ、所得調査委員會ノ議ヲ得テ、稅務署
長が決定スルト、斯ウ云フコトニナツテ居
テ、唯下級官吏ガ隨意ニ決メルト云フ譯テ
ハゴザイマセヌ

○橋本辰二郎君 現在ノ所得調査委員ナル
モノハ殆ド無能不德ノ連中バカリデアツテ、
リマスカラ、斯ウ云フコトニ付キマシテ
モ、相當常識ヲ備ヘタル收稅吏ヲ一つノ稅
務署ニ一人位ハ配置シテ置イテ、無理ナコ
トノ出來ナイヤウニ御取計ヲ私ハ願ヒタ
イ、ソレカラ次ニ相續稅ノコトニ付キマシ
テ御尋シタイガ、相續稅ノコトニ付キマシ
テハモウ度々問題トナリマシテ、機會ノア
ル毎ニ是ハ質問モ續出シタノデアラウト思
ハレマスルガ、私モ自分デ經驗ハアリマセ
ヌガ、友人ノ死亡後、其ノ遺産相續、家督
相續等ニ付テ相當相談ニ與ツタコトガアリ
マスガ、イツモ相續財產ノ評價ト云フモノ
ハ、實ニドウモ酷ナヤリ方ヲ稅務署ハ始終
ヤリマス、例ヘバ是ハ最近ノ例デアリマス

ルガ、不動産ノ評價ノ如キモノモ、稅務署
ノ査定ト云フモノハ非常ニ高イノデアリマ
ス、之ヲ勸業銀行若シクハ土地賣買ヲ營業
トシテ居ル者、殊ニ登記所ノ鑑定人等ノ鑑
定價格ニ比ベテ見マスレバ、三割、五割ト
云フヤウニ高イ何ヲシテ、ソレデナケレバ
無理ニ押付ケルト云フヤウナコトガアル、
御承知ノ通リニ、不動産ノ如キモノ、若シ
クハ有價證券ニシマシテモ、之ヲ換價スル、
換金スルト云フコトニナリマスルト云フ
ト、時價ハ假令百圓デアリマシテモ、七十
圓カ、六十圓デナイト賣レナイ、有價證券
ノ如キモノハ幾ラデモ捌ケルヤウニアナタ
方ハ御考カ存ジマセヌガ、是ハ所謂主力
株、例ヘバ取引所ノ株トカ、鐘紡トカ云フ
モノハ幾ラデモ賣レマセウガ、普通ノ株ヲ
千株ナラ千株今賣ラウトスレバ、ナカカ
消化ハ困難デアリマス、是ガ爲ニ市場ノ價
格ヲ引下ゲルト云フコトガアリマシテ、金
ニ換ヘルト云フコトハナカカノ、困難デゴザ
イマス、ソレデ此ノ相續稅ノ概算ノ評價ニ
付キマシテハ、不動產ノ如キニ於キマシテ
ハ、他ニ相當ノ評價委員ヲ擁ヘテ、其ノ評
價格ヲ御採用ニナルカ、若シクハ是ハ百
圓ノ價值アルケレドモ、二割位ノ「マージン」

ヲ與ヘテヤラウトカ、若シクハ有價證券
處分スル場合ニ、ソレヲ考慮シテ幾ラ位ノ
差益ヲ付ケテヤラウ、斯ウ云フヤウナ工合
ニヤッテ戴クト、結構ト思ヒマスガ、今日ノ
ヤリ方デハ一文デモ税ノ多カラムコトヲ希
望スルガ爲ニ非常ニ評價ニ無理ガアルノデ
アリマス、ソレデ納稅者ニ於キマシテハ非
常ナ苦痛ヲ感ジテ居リマシテ、若シ是ガ不
動産ノミニ付テ其ノ財產ヲ繼承スル人ハ、
是ガ二回モ相續税ヲ納メルト云フコトニナ
リマシタナラバ、爲ニ其ノ家ハ滅亡スルト
云フヤウナコトガ現レヌニモ拘ハリマセヌ
ノデゴザイマス、例ヘバ之ヲ賣ルト云フコ
トハ困難デアルトスレバ、金ヲ借リマス其
ノ利子ト云フモノヘ、相當ナ金利ヲ拂ヘナ
ケレバナラヌガ、不動産ヨリ生ズル利益ト
云フモノヘ公債ノ半分ニモ當ラナイト云フ
實況デアリマス、爲ニ利子モ支拂フコトガ
出來ズニ、段々利子ニ利子ガ重ナツテ、元金ガ
大キクナリマシテ、遂ニ家産ノ大部分ヲ失
フト云フヤウナコトモ度々耳ニ致シマス、是
ハドウモ多少誇張的ノ話モ混ツテ居ルト思
ヒマスルケレドモ、萬更形ノナイコトデハナ
カラウカト思ヒマス、ソレデ此ノ相續財產
ノ評價ニ付キマシテハ、今後特ニ御注意下

サリマシテ、殊ニ今回ハ税率モ非常ニ高メ
ラレタ折柄デアリマスルカラ、相當ナソコ
ニ餘裕位ハ置クト云フコトニ御取計ヲ願ヒ
タイト思ヒマスルガ、飽ク迄税務署ノ評價
ヲ正シイモノトシテ、之ニ依ッテ課税ヲ強ヒ
ルト云フ御意嚮デセウカ

○橋本辰二郎君　此ノ相續稅ニ付キマシテ
物納ト云フコトヘ近來各所ニ於テ其ノ聲モ
高クナツテ居リマスガ、昨日某委員カラモ其
ノ御話ガアリマシタガ、外國ニ於テハ物納
ヲ認メテ居ル國モアルヤウニ聞イテ居リマ
シタガ、日本ニ於テハドウシテモ此ノ物納
ト云フコトヲ認メル譯ニハ行カナイデゴザ
イマセウカ、實ハ物納ト云フコトニナリマ
スレバ、如何ニ其ノ評價ガ高クナリマシテ
モ、其ノ評價シタ價額ヲ以テ物デ納ムルト
云フコトニ致シマスレバ、其ノ納メタ殘リ
ガ矢張リ純財產トナリマシテ、其ノ家ハ永
續スルト云フコトニナラウト思ヒマスケレ
ドモ、今日物納ト云フコトニ付キマシテ、
大藏省デ此ノ相續稅ノ改正ノ場合ニ於テ何
カ問題ニ上ッタコトハアリマスマイカ

○政府委員(大矢半次郎君)　相續稅ニ於ケ
ル物納ニ付キマシテハ、從來トモ私共度々
研究ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、マダ
之ヲ採用スル迄ノ結論ハ得テ居ナイノデゴ
ザイマス、外國ノコトニ付テ御話ガゴザイ
マシタガ、世界各國ノ中現在制度トシテア
リマスノハ英國ダケデゴザイマス、而モ英
國ノ相續稅ハ御承知ノ通り非常ニ重クナツ
マス

テ居リマシテ、最高ハ相續財産ノ半分迄モ
課稅スルト云フ風ニナツテ居ルノデゴザイ
マス、千九百十年ニ此ノ物納制度ヲ設ケマ
シテ、租稅委員ガ適當ト認メル場合ニハ、
相續財產ノ一部又ハ全部ヲ物納トシテ納ム
ルコトヲ認ムルコトガ出來ルト云フ規定ガ
設ケラマシタケレドモ、今日迄殆ド之ガ
實行ヲ見ナイ、僅カニ一「エーカー」ダケノ
土地ガ適用ヲ受ケテ居ルト云フ狀況ナサウ
デアリマス、確カ千九百三十年頃ニ議員提
出法律案ト致シマシテ廣ク納稅者ノ申請ニ
依ッテ、此ノ土地等ノ物納制度ヲ認メタラド
ウカト云フコトガ提案サレタノデゴザイマス
ケレドモ、議會ノ容認スル所トナラナイデ、
之ガ實現ヲ見ナカタノデゴザイマス、其
ノ他ニ於テハ何處デモ此ノ不動產ノ物納ト
云フコトハゴザイマセヌ、國債等ノ有價證
券ニ付テハアリマスケレドモ、不動產ニ付
テハ實行セラレデナインデアリマス、唯我
ガ國ニ於キマシテモ不動產殊ニ山林ガ相續
財產ノ大部分ヲ占メテ居ルト云フヤウナ場
トハ、納稅上非常ニ困難ガアルト云フコ
トハ、是ハモウ周知ノ事實デゴザイマスノ
デ、此ノ點ニ關シマシテハ、昨年臨時租稅
增徵法ノ實施ニ當リマシテ、不動產ガ相續
財產ノ半分以上ヲ占メテ居ル場合ニハ、從

來年賦ノ七箇年ヲ認メテ居ツタノヲ十箇年
ニ延長スルト云フコトニ致シマシテ、多少
モ稅トシテ收納スル場合ニ、物デ納メマス
ト云フト、之ヲ換金シナケレバナラヌト云
フコトガアルノデアリマシテ、租稅其ノモ
ノノ性質上ナカニ實行困難ナ點ガアルノ
デアリマスガ、尚是ハ今後トモ十分研究シ
テ見タイト存ジテ居ル次第デゴザイマス
○橋本辰二郎君 稅ヲ物デ取ル場合ニハ之
ヲ金ニ換ヘルニ非常ニ困難ダト云フコト
デスガ、ソレハ其ノ通りニ違ヒアリマスマ
イ、所謂金ニ換ヘルコトノ困難ト云フコト
ハ、現ニ相続稅ヲ納メタ者ガ具ニ嘗メテ居
ル所ノ苦イ經驗デアルノデゴザイマス、政
府ニ於テ御困難ト同時ニ、納稅者ニ於テモ
其ノ困難ヲ同ジク感ジテ居ルノデスカラ、
此ノ點ニ於キマシテ餘程御考慮ヲ願ヒマシ
テ、要スルニ評價ニ於キマシテ、相當ナ手
加減ヲ施サレムコトヲ希望致シマス、ソレ
カラ是ハ私ハ要ラヌ差出ナヤウデアリマス
ガ、先程書畫ノ賣立稅ニ付テノ御説明ハ、
モウ少シ御訂正ニナル必要ガナイカ知ラヌ
ト思ヒマスガ、アナタノ御説明ニハ書畫ノ
賣上稅ナルモノハ、書畫ヲ買フ者が負擔ヲ
スルノデアル、札元ナルモノガ其ノ義務者

デアル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、ソ
レハ其ノ通リデアリマセウカ、買フ人ガ負
担ヲスルト云フノハ當然デアリマスケレド
モ、實際ハサウ云フ 說明デハ大變惑ヒ
モ雲骨董ヲ買フ者デアル、納稅義務者ハ
ノ札元トスル、斯ウ云フ趣旨デ申上ゲ
ガ生ズルカノヤウニ思ヒマスノデス、
買フ人ハ千圓ノ物ヲ千圓ニ入札ヲ致シ
マス、其ノ上一割ノ百圓ヲ付ケテ拂フ
ノデハナインデアリマシテ、千圓デ入札
ヲシマシタノハ、千圓以上ハ拂ハナイノデ
アリマス、事實ハ此ノ札元ナルモノガ一割
ヲ金ニ換ヘルニ非常ニ困難ダト云フコト
ハ、現ニ相続稅ヲ納メタ者ガ具ニ嘗メテ居
ル所ノ苦イ經驗デアルノデゴザイマス、政
ノ稅ヲ拂ヒ、而シテ之ヲ荷主即チ品物ノ持
主ニ轉嫁スル、負擔ヲシテ貰フ、斯ウ云フ
コトニナルト思ヒマスガ、先程ノ御説明デ
ハ、何トナクドウモ惑ヒラ生ズルヤウニ考
ヘラマシタノデ、モウ一遍明カニ其ノ點
ヲナサツテハ如何デゴザイマセウカ
○政府委員(大矢半次郎君) 要スルニ此ノ
入札スル場合ニ、稅込ノ價格デ入札スルカ、
稅引ノ價格デ入札スルカト云フコトニ歸著
スルカト思ヒマス、ソレデ是ハ獨リ書畫骨
董ノ賣立バカリデナク、其ノ他ノ物品ニ付
キマシテモ、小賣價格ハ一體稅込ノモノナ
リヤ、稅引ノモノナリヤト云フ問題ガアル
ノデゴザイマス、課稅標準トシテ計算スル
場合ニハ、稅引ノ價格ヲ見テ居ルノデゴザ
イマス、併シ實際賣ル場合ニハ、稅引ノ價

格ハ是レーデ、稅ハ是レーダト云フ風
ニ表示スル場合モアルカモ知レマセヌシ、
又稅込デ價格ハ幾ラ、サウ云フ風ニシテ賣
テ居ル場合モアルカトモ存ジマス、私ノ
先程申上ゲマシタノハ、事實上ノ擔稅者ハ
其ノ書畫骨董ヲ買フ者デアル、納稅義務者
ハノ札元トスル、斯ウ云フ趣旨デ申上ゲ
タ次第デゴザイマス
○橋本辰二郎君 サウスルト、アナタハ曾
テ歐洲戰亂中ニ「アメリカ」デ行ツテ居ツタ
ニ、物ヲ一圓デ買ヘバ、其ノ上モウ十錢
ノ稅ヲ拂ヒ、而シテ之ヲ荷主即チ品物ノ持
主ニ轉嫁スル、負擔ヲシテ貰フ、斯ウ云フ
コトニナルト思ヒマスガ、先程ノ御説明デ
ハ、何トナクドウモ惑ヒラ生ズルヤウニ考
ヘラマシタノデ、モウ一遍明カニ其ノ點
ヲナサツテハ如何デゴザイマセウカ
○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ現在施行
セラレテ居リマスル北支事變特別稅ノ物品
特別稅ニ於キマシテモ、稅込ノ價格デ賣ツテ
居ル場合ニハ、稅務署ニ對スル課稅價格ノ
申告ハ、其ノ稅ヲ差引イタ價格デ賣上高ヲ
申告サセテ居ル次第デゴザイマス、要スル
ニ是ハ小賣業者ノ價格ノ表示ノ仕方、記帳
ノ仕方如何ニ依ルコトデアリマシテ、實質
的ニハ常ニ違ヒガナイノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 ドウモ分リ兼ネマスガ、ソ

レヨリモ此ノ物品稅へ販賣人ニカケルノダ、

斯ウ云フコトノ方ガ早分リデハアリマセヌカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイ

マス、其ノ通リデゴザイマス

○橋本辰二郎君 イヤ、ソレナラバ、能ク

分リマシタ、ドウモ御説明ガコンガラガッテ

居ルヤウデアリマシテ、ドウモ分リ兼ネマ

ス、事實アナタノ仰シヤル通リニ、實質的

ニ此ノ稅ノ負擔ヲスルト云フ者ハ需要者、

即チ買手デアリマスルケレドモ、此ノ稅ヲ

納メル者ハ販賣人デアリ、札元デアル、是

デ實際其ノ理論上デハ需要家ガ負擔スルヤ

ウニ見ラレマスケレドモデスネ、本當ハ販

賣人ナリ札元ガ持ツト云フコトニナルノデ

アリマスカラ、ソレダケヲ御心得ノ爲ニ申

上ゲテ置キマス

○三浦新七君 委員長

○委員長(子爵前田利定君) 何カ御質疑デ

スカ
問題デスカラ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマ
離レルカモ知レナイノデアリマスガ、短イ

スカ
問題デスカラ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、今農村問題デヤカマシクナッテ居リマス

不在地主ノ課稅問題デアリマス、是ハ此ノ
間カラ御配付ニナリマシタ資料等ニ付テ此

ノ實際負擔シテ居ル各個ノ個人ノ稅負擔ハ

其ノ都會ニ比ベテ、大シテ違ヒガナイ、段々

ソレガ平均シテ來ル傾キヲ持ツ、サウ云

フヤウナコトヲ承ッテ居ル譯デアリマス、併

シ誠ニ農村自體ガサウ云フ資力ノアル者ガ

少イノデゴザイマス、從テ其ノ村ト村ノ會

計ト申シマスカ、役場ノ會計トシテハ非常ニ

苦シイ、同ジコトヲスルニ、ドウセ金ノア

ル村モ金ノナイ村モ同ジヤウニ仕事ヲシナ

ケレバナラナイノデアリマスカラ、非常ニ

苦シクナル狀態ニナッテ居ル譯ナンデアリマ

ス、其ノ場合ニマア不在地主ノ多イ場合ハ、

地租ノ附加稅ハカケルコトガ出來ルノデア

リマスガ、今ノ規則ニ依リマスルト、村ノ

村稅トシテハ所得稅ノ附加稅ヲ課スルコト

ハ出來ナイコトニナッテ居リマス爲ニ、詰リ

市ト市トノ間ナラバ、今ノ附加稅ヲカケタ

時ニ其ノ稅ノ出所ニ從ツテ、ソレヲ適當ニ按

分シテ、配賦スルト云フコトハ出來ルノデ

ゴザイマスガ、村ノ場合デヘ、詰リソコニ

ネ、ソレカラ發生スル收益ニ對シテ附加稅

ヲ課スルコトハ出來ナイ狀態ニアル譯デア

リマス、之ヲ何トカスル、サレバト云ツテ、

致シマシテ、ドウモ左様ニハ行キ兼ネル點

ガアルト思フノデアリマス、併シナガラ一面

ニ於テ其ノ不在地主ノ多イ町村ノ財政カラ

不所在地主ト雖モ其ノ住所地ニ於テカケラレ

又他ノ村ニ於テカケラレルト云フコトニナ

ルト、大變ナ負擔ニナル譯デアリマス、其

ノ所得稅ノ附加ト云フモノヲ其ノ所得ノ發

其ノ不在地主ノ住所地ニ於テモ戶數割若シ

クハ附加稅ヲ取ルシ、ソレカラ收益ノ發生ス

ル農村ニ於テ尙又戶數割ヲ取ル、若シクハ

ハサウ云フヤウナ方法ハナイモノデゴザイ

マセウカ、其ノ點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ地方稅ノ

コトデ、正確ナコトハ申上ゲラレナイカト

思ヒマスガ、現在市町村ニ於テ戶數割ヲ課

税シテ居ル所ニ對シテハ、所得稅ノ附加稅

ヲ認メテ居ナイ、其ノ結果御示シノヤウナ

コトガ起ツテ來ルト思フノデゴザイマス、

一方ニ於テ其ノ不在地主ハ自分ノ住所地ニ

於テ戶數割ノ課稅ヲ受ケル、其ノ場合ニ於

テハ、他町村ニ於テ持ツテ居ル資產ノ分ニ

對シテモ課稅ヲ受ケルト云フコトニナリマ

スカラシテ、此ノ他町村ニ於テ其ノ土地ナ

ニナルノデ、是ハ戶數割ノ課稅ノ建前カラ

ノ發生シタ場所ニ分ケテ配分シテ居ルノデ

アリマス、其ノ制度ヲ村迄適用シテオヤリ

ニナリマスト、詰リ其ノ不在地主ノ住シテ

アリマス、其ノ制度ヲ村迄適用シテオヤリ

ニナリマスト、詰リ其ノ收入ノ發

生スル村ノ收入ガ增加スル、斯ウ云フコト

ニナッテ、農村ノ負擔ヲ輕クスルト云フコト

ニナリハシナイカ、斯ウ云フコトナンデア

リマス

○政府委員(大矢半次郎君) 市ト市トノ間

ニ於テドチラモ所得稅ノ附加稅ヲ賦課シテ

居ル場合ニハ、全ク御說ノ通り非常ニ合理

的ニ參ルノデゴザイマスルガ、一方戶數割

ナルノハ、早クテ來年ノ四月以降ノコトト思ヒマスカラ、其ノ間ニ相當御考究ニナツテ、然ルベキコトデヤナイカト思ヒマス、リ先刻氏家政府委員ノ御答ガハツキリシテ居リマシタノデ、御考究ノ結果御變更ガシニク、ナツテハナラヌト考ヘルノデ、御考究ノ結果御考慮ノ餘地ガアリハセヌカト思ヒマスカラ、篤ト考究セラレムコトヲ願ヒマス、ソレダケデアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 他ニ御發議ゴザイマセヌカ

○森平兵衛君 私モ只今大河内子爵竝ニ河田委員ノ御希望ガアリマシタ通リニ、此ノ稅法ガ非常ニ多岐複雜ニ至ツテ居リマス、殊ニ物品稅ノ如キハ、昨年初メテ北支事變費デ、或種類ノ物品稅ガ課稅セラマシタコトダケデアリマス、本年ハ其ノ品種ヲ更ニ擴大シテ課稅ヲセラレルノデアリマスルノデ、納稅者ニ於キマシテモ、マダ其ノ徵稅事務ニ慣レテ居ラヌコトガ多カラウト思フ者デ納稅センナラヌモノト、製造業者ガ代ツテ納稅センナラヌモノト、色々煩瑣ナ手數ヲ要スルモノト思フノデアリマス、從ツテ前

刻内田委員ノ御注意ニアリマシタ通り、惡意デナクテモ、自然手落ガナイトモ思ヘヌノデアリマスカラ、此ノ物品稅ノ徵稅ヲ御取調ニ當リマシテハ、餘リ苛酷ニ失スルコトナキヤウ御取扱ヲ願ヒタイ、又餘リ此ノ點ニ付テ苛酷ニ失シテ御取扱ガ嚴重ニナリマスト、自然何ト申シマスカ、產業ノ進展ヲ阻害スルト云フヤウナ結果ニ至ルカモ圖リ難イノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ十分一ツ御留意ヲ下サッテ、マダマダ新ラシキ稅デアリマスカラ、取扱ニ於キマシテモ、稅務官吏ハ勿論ノコト、當業者ニ於テモ、中ニハ隨分小サイ化粧品トカ云フヤウナ、誠ニ小資本デ營業シテ居ルモノモアルノデアリマスカラ、十分之ニモノ會得ノ行クヤウニ御注意ヲ下サッテ、本法案ヲ施行サレムコトヲ切ニ私ハ希望シマシテ、衆議院ノ修正案ニ賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス

メマス、次ニ此ノ二案ヲ除キマシタ臨時租稅増徵法中改正法律案外十件、此ノ法案モ御異議ガナケレバ、一括シテ議題ニ供シタ
イト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長（子爵前田利定君） 御異議ナイモ
ノト認メマス、仍テ支那事變特別稅法案外
十二件、全部衆議院ノ修正案其ノ儘ヲ可決
ニ相成ツタコトト認メマス、是デ特別委員ニ
付託サレマシタ議案ハ全部議了シ盡サレマ
シタ、是デ特別委員會ヲ閉デルコトニ致シ
マス、散會致シマス

午後四時十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長	子爵前田	利定君
副委員長	男爵松岡	均平君
委員	公爵岩倉	具榮君
侯爵大隈	信常君	
伯爵酒井	忠正君	
子爵西尾	忠方君	

子爵裏松	友光君	內田	重成君
男爵赤松	範一君	男爵北島	貴孝君
男爵深尾隆太郎君	三浦 新七君	男爵松平外與麿君	西野 元君
河田 烈君	西野 元君	河田 烈君	烈君
各務 錦吉君	加藤政之助君	各務 錦吉君	加藤政之助君
小倉 正恒君	森 平兵衛君	小倉 正恒君	森 平兵衛君
橋本辰二郎君	田中德兵衛君	橋本辰二郎君	田中德兵衛君
大和田健三郎君	大藏大臣 賀屋 興宣君	大和田健三郎君	大藏大臣 賀屋 興宣君
同 松隈 秀雄君	同 豊君	同 松隈 秀雄君	同 豊君
政府委員	國務大臣	政府委員	國務大臣
内務省地方局長 坂 千秋君	大藏政務次官 太田 正孝君	内務省地方局長 坂 千秋君	大藏政務次官 太田 正孝君
大藏省主稅局長 大矢半次郎君	大藏書記官 氏家 武君	大藏省主稅局長 大矢半次郎君	大藏書記官 氏家 武君

〔参照〕

質疑資料（子爵大河内輝耕君ノ演説ニ關スルモノ）

支那事變増稅後ニ於ケル國債、社債、株式利廻調

二、附加稅ハ四割二分トス

三、株式ハ配當一割トシ利益配當特別稅ヲ計算ス

第四部第二九類支那事變ニ際シ召集集中ノ者ノ選舉權及被選舉權等ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第一號ハ第三號又欄外第二九類ハ第二一類ノ誤

貴族院恩給金庫法案特別委員會議事速記録第五號正誤

貢一段行誤正

三分三厘
セヌノデ

三分二厘
セヌガ

金庫
銀行

少々
二十有四年

二千圓
四百四十四萬一千圓

低ク
二十有餘年

限度トシテ居
リマスガ、其

ノ點ニ
借リタ者

借リタモノ

長時八、
三萬圓

ノハ、其ノ延
タ時八、

ニハ、延長
五萬圓

全般
五億圓

備考
一、表面利廻ハ國債三・六六、社債四・三〇、株式五・五〇トス

頁段行誤
貴族院支那事變特別稅法案特別委員會議事速記録第一號正誤

第四部第二九類
支那事變特別稅法案特別委員會議事速記錄第四號

昭和十三年三月二十四日

貴族院

昭和十三年三月二十七日印刷

昭和十三年三月二十八日發行

貴族院事務司

印刷者 内閣印刷局